参考資料 5

米に関するマンスリーレポート

（平成26年11月7日公表）

農林水産省

【お知らせ】

○　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）を掲載しています。【P.34】
○　平成26年産水稲における青死米等の発生状況を掲載しています。【P.41】
○　資料「最近の米をめぐる状況について」を更新しました。このため、本レポートでもいくつかのページを抜粋し掲載しています。【P.51】

○　農林水産省では、米に関する各種情報を皆さまにお伝えできるよう「米に関するメールマガジン」を発刊しております。
　当該メールマガジンにご登録いただくことにより、農林水産省が毎月公表している「相対取引価格・数量」「契約・販売状況」「民間在庫の推移」などの情報に加え、米に係る各種資料について、公表後、直ちにメールでお知らせいたします。
　当該メールマガジンの配信につきましては、農林水産省ホームページからご登録ください。
【メールマガジン配信登録】
　農林水産省ホーム＞報道広報＞メールマガジン
　（ＵＲＬ）http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html

【本資料の目的】

本レポートは、米に関する価格動向や需給動向に係るデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1．本レポートは、原則として公表２営業日前までの公表資料を反映しています。

2．本レポートは、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあり得ます。

（本資料に関する問合せ先）
生産局農産部農産企画課
担当者：企画班　加藤
　　　　米穀需給班　佐々木、吉岡、川口
　　　　代表：03-3502-8111（内線4975）
　　　　ダイヤルイン：03-6738-8973
　　　　FAX：03-6738-8976

目　次

Ⅰ　米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成26年10月）　・・・・・・・・・1

Ⅱ　集出荷・卸段階の動向
　１　価格情報
　（１）相対取引価格・数量（速報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
　　①　相対取引価格・数量（平成26年産米、産地品種銘柄別、平成26年９月分）
　　②　相対取引価格の推移（平成26年産米、主な産地品種銘柄）
　　③　相対取引価格（年産別）
　（２）米の先物取引価格の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
　（３）業者間取引の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
　　①　日本コメ市場（随時取引の結果）
　　②　日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）
　（４）㈱加工用米取引センターの取引結果・・・・・・・・・・・・・・・・１２
　（５）㈱日本農産情報の取引結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
　２　契約・販売情報
　（１）産地別契約・販売状況（速報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
　（２）産地別事前契約数量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
　３　在庫情報
　（１）全国段階の民間在庫の推移
　　　　　　　　　　　　（うるち米、平成20年７月末～平成26年９月末）（速報）・１７
　（２）産地別民間在庫の推移（うるち米、平成26年９月末）（速報）・・・・・２０
　（３）　　〃　　　　　　　（　〃　　平成26年６月末）（速報）・・・・・２２

Ⅲ　小売・消費段階の動向
　（１）消費者物価指数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
　（２）小売物価統計の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７
　（３）小売価格の推移（ＰＯＳデータ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
　（４）購入数量の推移（家計調査）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
　（５）米の消費動向（米穀機構による調査）・・・・・・・・・・・・・・・・３１

Ⅳ　生産段階の動向
　（１）平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在）　・・・・・・３４
　（２）国産米（水稲）の作況・収穫量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
　（３）水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量及び10ａ当たり収量・・・３９
　（４）平成26年産水稲における青死米等の発生状況について・・・・・・・・・４１
　（５）加工用米及び新規需要米の取組状況等・・・・・・・・・・・・・・・・４３
　　①　加工用米の生産量
　　②　新規需要米の用途別認定状況
　　③　非主食用米の取組状況（平成25年産）
　（６）水稲うるち玄米の検査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５

Ⅴ　主食用米等の需給見通し（平成26年７月の米の基本指針）
（１）民間流通における６月末在庫の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
（２）主食用米等の需要実績の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
（３）平成26年７月から平成27年６月の主食用米等の需給見通し・・・・・・・・４７
（４）政府備蓄米の在庫状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７

Ⅵ　備蓄米及びMA米の動向
（１）国内産備蓄米の落札結果（平成23～26年産）・・・・・・・・・・・・・・・・４８
（２）ＭＡ米（一般・ＳＢＳ）の動向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４９
① ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）
② 加工原材料用に係る政府所有ＭＡ米の見積合わせ結果(平成26年度)
③ ＳＢＳ輸入米の見積合わせ結果(平成26年度)

（参考１）最近の米をめぐる状況（資料「米をめぐる状況について」（抜粋）・・５１

（参考２）ナラシ対策の情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５３

・　主食用米の需給動向に関するDI調査ついては、向こう３ヶ月の見通し判断は、（将来）締まるという見方が強くなりました。（１-①-イ）
・　また、米価水準については、向こう３ヶ月の見通し判断は、米価水準が高くなるという見方が強くなりました。（１-②-イ）

Ⅰ　米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成26年10月)

○　米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をＤＩとして算出したものである（詳細はＰ５）を参照）。

１．国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

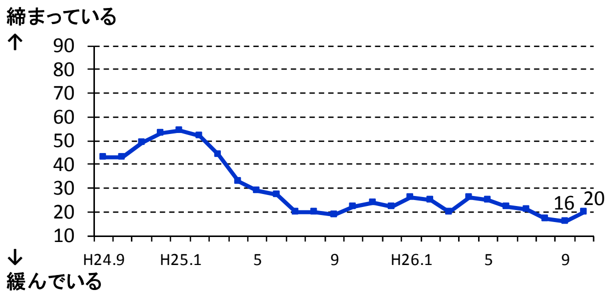
①主食用米の需給動向

（ア）現状判断ＤＩ
前月からの増減　＋４　（今月の数値　２０）

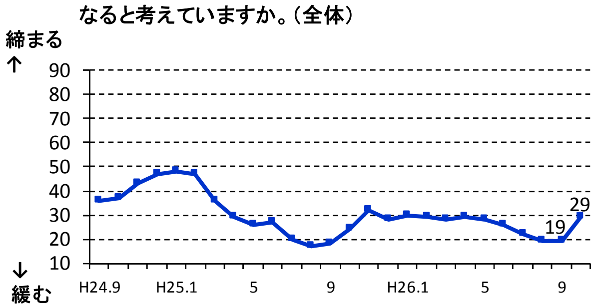
（イ）見通し判断ＤＩ（向こう３ヶ月）
前月からの増減　＋１０（今月の数値　２９）

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の"現在の需給動向"について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の"向こう3ヶ月の需給動向"について、どうなると考えていますか。(全体)



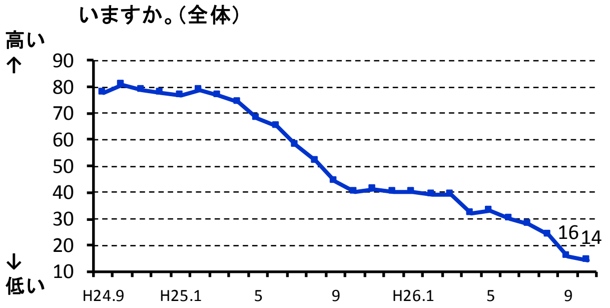
②主食用米の米価水準

（ア）現状判断ＤＩ
前月からの増減　－２　（今月の数値　１４）

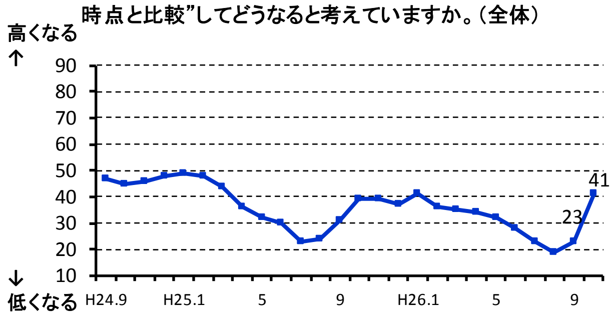
（イ）見通し判断ＤＩ（向こう３ヶ月）
前月からの増減　＋１８（今月の数値　４１）

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の"現在の米価水準"について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の"向こう3ヶ月の米価水準"について、"現時点と比較"してどうなると考えていますか。(全体)



③　取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H25.11	2%	30%	6%	36%	17%	7%	2%
H25.12	3%	33%	6%	39%	8%	9%	3%
H26.1	2%	32%	5%	42%	9%	9%	2%
H26.2	1%	33%	3%	39%	16%	7%	2%
H26.3	2%	36%	4%	36%	10%	8%	4%
H26.4	2%	33%	2%	37%	14%	10%	3%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H26.5	1%	36%	2%	35%	8%	13%	5%
H26.6	3%	34%	1%	37%	9%	14%	3%
H26.7	13%	38%	0%	34%	8%	6%	2%
H26.8	9%	35%	2%	38%	11%	3%	2%
H26.9	9%	34%	2%	35%	9%	10%	2%
H26.10	8%	29%	3%	39%	6%	12%	3%

2．自社の取引状況に関する判断（業態ごと）

①主食用米の販売数量

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「（将来）増える」 という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「減った」/「（将来）減る」 という見方が前月より強くなった傾向を示します。

（ア）今月の販売数量に関する現状判断ＤＩ

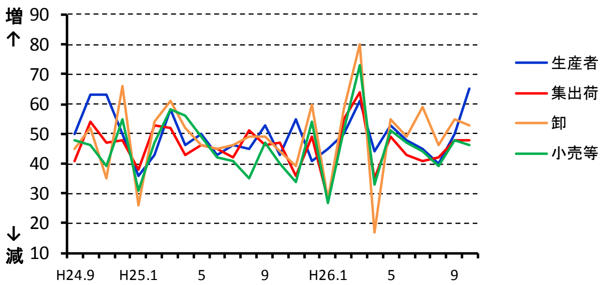
ａ．先月との比較

生産者：前月からの増減　＋15（今月の数値　６５）
集出荷：前月からの増減　±０（今月の数値　４８）
卸　　：前月からの増減　－２（今月の数値　５３）
小売等：前月からの増減　－２（今月の数値　４６）

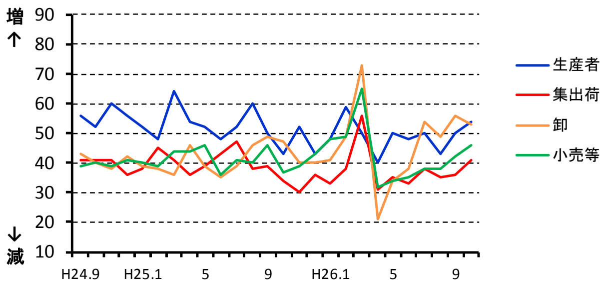
ｂ．前年同月との比較

生産者：前月からの増減　＋４（今月の数値　５４）
集出荷：前月からの増減　＋５（今月の数値　４１）
卸　　：前月からの増減　－３（今月の数値　５３）
小売等：前月からの増減　＋４（今月の数値　４６）

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



（イ）来月の販売数量に関する見通しＤＩ

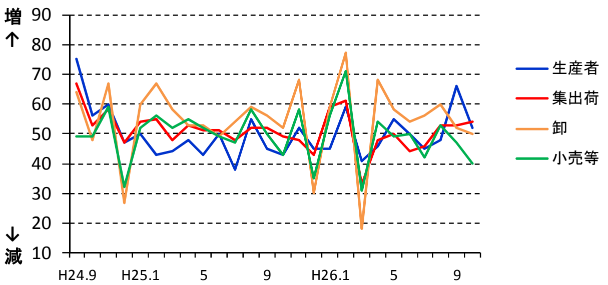
ａ．今月との比較

生産者：前月からの増減　－14（今月の数値　５２）
集出荷：前月からの増減　＋１（今月の数値　５４）
卸　　：前月からの増減　－２（今月の数値　５０）
小売等：前月からの増減　－７（今月の数値　４０）

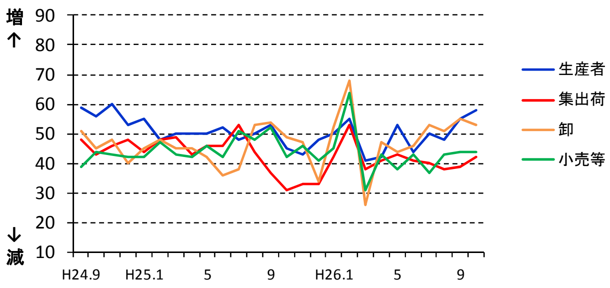
ｂ．前年同月との比較

生産者：前月からの増減　＋３（今月の数値　５８）
集出荷：前月からの増減　＋３（今月の数値　４２）
卸　　：前月からの増減　－２（今月の数値　５３）
小売等：前月からの増減　±０（今月の数値　４４）

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年 同月と 比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

（ア）今月の価格に関する現状判断ＤＩ

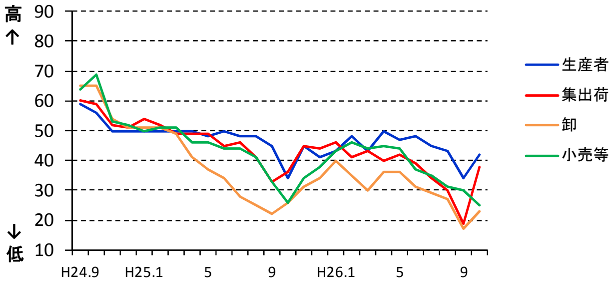
ａ.先月との比較

生産者：前月からの増減　＋８（今月の数値　４２）
集出荷：前月からの増減　＋19（今月の数値　３８）
卸　　：前月からの増減　＋６（今月の数値　２３）
小売等：前月からの増減　－５（今月の数値　２５）

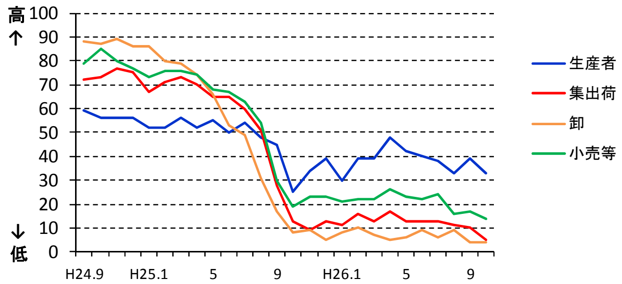
ｂ.前年同月との比較

生産者：前月からの増減　－６（今月の数値　３３）
集出荷：前月からの増減　－５（今月の数値　　５）
卸　　：前月からの増減　±０（今月の数値　　４）
小売等：前月からの増減　－３（今月の数値　１４）

②-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、”先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”価格”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



（イ）来月の価格に関する見通しＤＩ

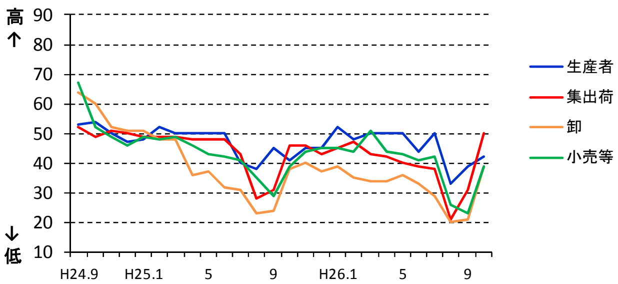
ａ.今月との比較

生産者：前月からの増減　＋３（今月の数値　４２）
集出荷：前月からの増減　＋19（今月の数値　５０）
卸　　：前月からの増減　＋18（今月の数値　３９）
小売等：前月からの増減　＋16（今月の数値　３９）

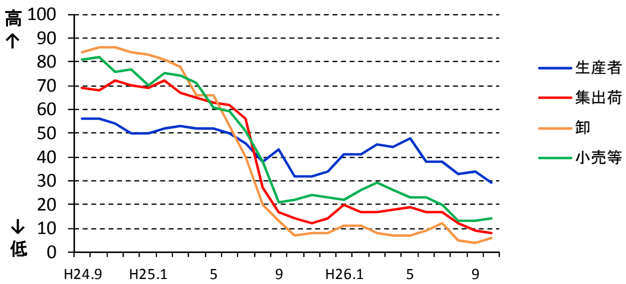
ｂ.前年同月との比較

生産者：前月からの増減　－５（今月の数値　２９）
集出荷：前月からの増減　－１（今月の数値　　８）
卸　　：前月からの増減　＋２（今月の数値　　６）
小売等：前月からの増減　＋１（今月の数値　１４）

②-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の"価格"について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”価格”について、”前年同月”と比較してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※　当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」／「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に０に近づけば、「少なくなった」／「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

（ア）今月の在庫量に関する現状判断ＤＩ

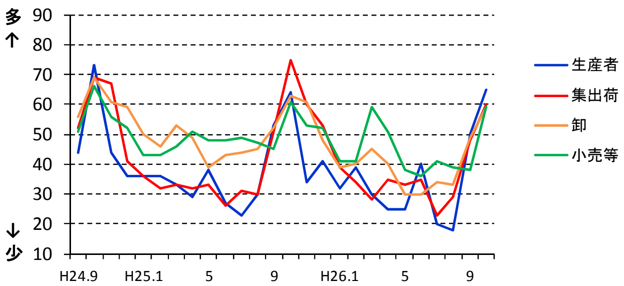
ａ. 先月との比較

生産者：前月からの増減　＋15（今月の数値　６５）
集出荷：前月からの増減　＋12（今月の数値　６０）
卸　　：前月からの増減　＋10（今月の数値　５９）
小売等：前月からの増減　＋21（今月の数値　５９）

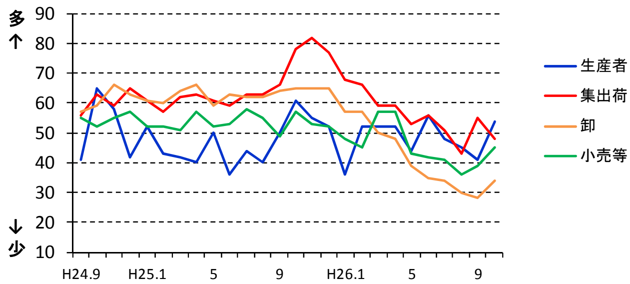
ｂ. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減　＋13（今月の数値　５４）
集出荷：前月からの増減　－７（今月の数値　４８）
卸　　：前月からの増減　＋６（今月の数値　３４）
小売等：前月からの増減　＋６（今月の数値　４５）

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



（イ）来月の在庫量に関する見通しＤＩ

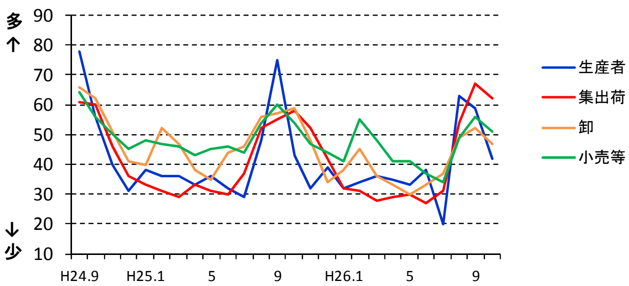
ａ. 今月との比較

生産者：前月からの増減　－17（今月の数値　４２）
集出荷：前月からの増減　－５（今月の数値　６２）
卸　　：前月からの増減　－５（今月の数値　４７）
小売等：前月からの増減　－５（今月の数値　５１）

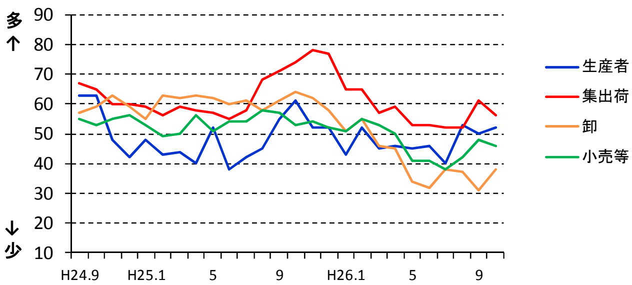
ｂ. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減　＋２（今月の数値　５２）
集出荷：前月からの増減　－５（今月の数値　５６）
卸　　：前月からの増減　＋７（今月の数値　３８）
小売等：前月からの増減　－２（今月の数値　４６）

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

〇調査期間：毎月１日から２５日までの取引状況を踏まえて回答

〇調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

〇調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の１４５客体

〇有効回答数：１１６客体

生産者・・・・・・・・・・・・・・１２
集出荷業者／団体・・・・・・・・・２７
卸売業者（主に主食用米）・・・・２７
小売業者／中食・外食業者・・・・３１
その他・・・・・・・・・・・・・・１９

※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

〇　表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《ＤＩの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する５段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてＤＩを算出します。

ただし、ＤＩの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じＤＩが観測されることに注意が必要です。

（ＤＩの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう３ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	＋1	＋0. 75	＋0. 5	＋0. 25	0
構成比(B)	17. 8	20. 0	20. 0	22. 2	20. 0
各DI(C＝A×B)	17. 8	15	10	5. 6	0
DI(合計)	48. 4				

・　今月号から、平成２６年産米の相対取引価格・数量を掲載します。
・　平成２６年９月分の全銘柄平均価格は、平成２５年産米の全銘柄平均価格（年産平均）より1,９00円程度低くなっています。
・　なお、９月分の相対取引は、年間販売量の１割以下というまだ限られた数量の取引状況であり、今後その動向を注視していくことが重要です。

Ⅱ　集出荷・卸段階の動向

１　価格情報

（注意）消費税率は、平成26年4月分以降8%を適用。

（１）相対取引価格・数量（速報）

①　相対取引価格・数量（平成26年産米、産地品種銘柄別、平成26年9月分）

相対取引価格・数量（北海道から栃木まで）　（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 26年産米（26年9月） ①	数量 26年産米（26年9月） ②	参考 価格 26年産米（26年8月） ③	対前月比 ①/③	25年産米（25年9月） ④	対前年比 ①/④	参考 数量 26年産米（26年8月） ⑤	対前月比 ②/⑤	25年産米（25年9月） ⑥	対前年比 ②/⑥
北海道	ななつぼし	13,422	18,461	-	-	15,527	86%	-	-	23,374	79%
北海道	きらら397	12,307	3,002	-	-	14,658	84%	-	-	11,632	26%
北海道	ゆめぴりか	16,868	5,001	-	-	18,043	93%	-	-	7,989	63%
青森	まっしぐら	10,149	374	-	-	13,310	76%	-	-	374	100%
青森	つがるロマン	11,898	1,074	-	-	13,250	90%	-	-	472	228%
岩手	ひとめぼれ	12,271	1,623	-	-	14,360	85%	-	-	1,901	85%
岩手	あきたこまち	11,650	319	-	-	14,337	81%	-	-	191	167%
岩手	いわてっこ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城	ひとめぼれ	12,072	5,965	-	-	14,717	82%	-	-	1,925	310%
宮城	ササニシキ	12,771	289	-	-	15,005	85%	-	-	265	109%
宮城	まなむすめ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田	あきたこまち	12,216	7,025	-	-	14,481	84%	-	-	3,497	201%
秋田	ひとめぼれ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田	めんこいな	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	はえぬき	12,176	646	-	-	13,968	87%	-	-	695	93%
山形	つや姫	16,827	854	-	-	17,361	97%	-	-	398	215%
山形	ひとめぼれ	11,737	469	-	-	13,799	85%	-	-	439	107%
福島	コシヒカリ（中通り）	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	コシヒカリ（会津）	13,882	240	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	コシヒカリ（浜通り）	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	ひとめぼれ	11,222	323	-	-	13,657	82%	-	-	416	78%
福島	あきたこまち	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城	コシヒカリ	11,344	4,252	-	-	14,555	78%	-	-	4,418	96%
茨城	あきたこまち	10,572	1,121	-	-	13,177	80%	-	-	1,164	96%
茨城	ゆめひたち	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	コシヒカリ	11,477	2,712	-	-	14,660	78%	-	-	2,301	118%
栃木	あさひの夢	7,901	134	-	-	12,075	65%	-	-	112	120%
栃木	なすひかり	10,885	590	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：１　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
２　産地品種銘柄ごとの価格（①）は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格（運賃、包装代、消費税相当額を含む１等米の価格）を加重平均したものであり、数量（②）は、同契約の数量の合計である。
３　価格に含む消費税相当額は、平成26年3月分までは5%、同4月分以降は8%で算定している。
４　加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東（東日本）の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西（西日本）の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。
５　相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整（等級及び付加価値等（栽培方法等））が行われることがある。
６　全銘柄平均価格（次々頁）は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。
７　④及び⑥は前年産の価格、数量である。
８　次々頁にある「25年産米の全銘柄平均価格（年産平均）」は、25年産米の出回りから平成26年9月までの通年での平均価格。
９　「－」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

（注意）消費税率は、平成26年4月分以降8%を適用。

相対取引価格・数量（群馬から兵庫まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	価格 26年産米 (26年9月) ①	数量 26年産米 (26年9月) ②	参考 価格 26年産米 (26年8月) ③	対前月比 ①/③	25年産米 (25年9月) ④	対前年比 ①/④	参考 数量 26年産米 (26年8月) ⑤	対前月比 ②/⑤	25年産米 (25年9月) ⑥	対前年比 ②/⑥
群馬	あさひの夢	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	ゴロピカリ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	彩のかがやき	10,318	135	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉	コシヒカリ	12,168	178	-	-	15,395	79%	-	-	151	118%
埼玉	キヌヒカリ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	コシヒカリ	11,225	8,106	-	-	14,019	80%	-	-	5,994	135%
千葉	ふさこがね	9,525	2,342	-	-	13,022	73%	-	-	1,415	166%
千葉	ふさおとめ	10,139	3,012	-	-	13,234	77%	-	-	2,282	132%
山梨	コシヒカリ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	あさひの夢	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	コシヒカリ	13,035	4,064	-	-	15,155	86%	-	-	4,729	86%
長野	あきたこまち	11,639	1,302	-	-	14,781	79%	-	-	393	331%
静岡	コシヒカリ	13,309	577	-	-	15,795	84%	-	-	384	150%
静岡	あいちのかおり	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡	キヌヒカリ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ（一般）	15,523	12,100	-	-	16,646	93%	-	-	8,140	149%
新潟	コシヒカリ（魚沼）	19,508	2,797	-	-	21,335	91%	-	-	2,277	123%
新潟	コシヒカリ（岩船）	15,926	1,449	-	-	17,031	94%	-	-	885	164%
新潟	コシヒカリ（佐渡）	15,922	1,812	-	-	17,013	94%	-	-	1,494	121%
新潟	こしいぶき	11,698	3,708	-	-	14,199	82%	-	-	3,947	94%
富山	コシヒカリ	13,409	8,399	-	-	15,368	87%	-	-	6,539	128%
富山	てんたかく	11,924	1,232	-	-	14,366	83%	-	-	623	198%
石川	コシヒカリ	13,702	1,204	-	-	15,278	90%	-	-	1,169	103%
石川	ゆめみづほ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
福井	コシヒカリ	13,218	3,044	-	-	15,609	85%	-	-	1,928	158%
福井	ハナエチゼン	11,643	1,343	-	-	14,394	81%	-	-	765	176%
岐阜	ハツシモ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	コシヒカリ	12,096	1,084	-	-	15,326	79%	-	-	316	343%
岐阜	あきたこまち	11,779	415	-	-	14,586	81%	-	-	489	85%
愛知	あいちのかおり	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知	コシヒカリ	12,189	236	-	-	14,936	82%	-	-	520	45%
愛知	大地の風	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
三重	コシヒカリ（一般）	12,746	1,331	-	-	15,054	85%	-	-	1,646	81%
三重	コシヒカリ（伊賀）	13,199	360	-	-	15,121	87%	-	-	593	61%
三重	キヌヒカリ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀	コシヒカリ	12,439	4,628	-	-	15,236	82%	-	-	3,692	125%
滋賀	キヌヒカリ	11,054	2,951	-	-	14,028	79%	-	-	2,393	123%
滋賀	日本晴	10,401	1,012	-	-	13,782	75%	-	-	696	145%
京都	コシヒカリ	13,291	2,296	-	-	15,329	87%	-	-	873	263%
京都	キヌヒカリ	11,839	260	-	-	14,223	83%	-	-	163	160%
兵庫	コシヒカリ	13,684	1,349	-	-	15,476	88%	-	-	1,428	94%
兵庫	キヌヒカリ	－	－	-	-	13,795	-	-	-	136	-
兵庫	ヒノヒカリ	－	－	-	-	-	-	-	-	-	-

注：本表の注意点は前頁の脚注を参照

（注意）消費税率は、平成26年4月分以降8%を適用。

相対取引価格・数量（奈良から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

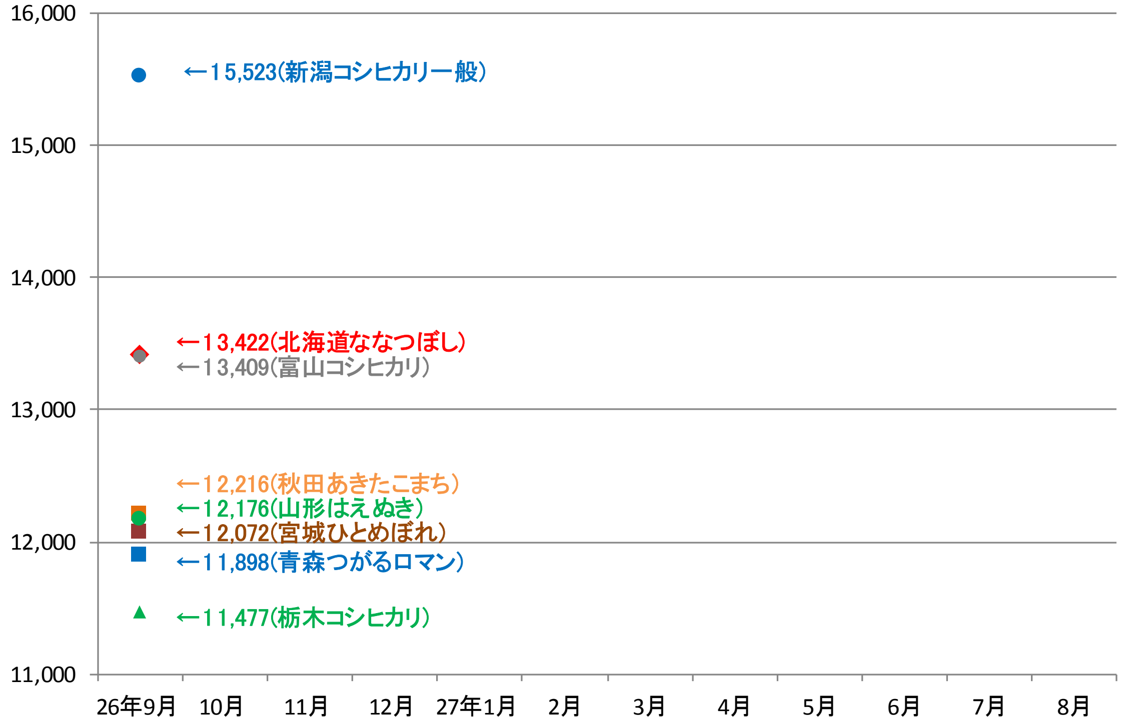
産地	品種銘柄	価格 26年産米（26年9月）①	数量 26年産米（26年9月）②	参考 価格 26年産米（26年8月）③	対前月比 ①/③	25年産米（25年9月）④	対前年比 ①/④	参考 数量 26年産米（26年8月）⑤	対前月比 ②/⑤	25年産米（25年9月）⑥	対前年比 ②/⑥
奈良	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良	コシヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	コシヒカリ	12,802	255	-	-	15,301	84%	-	-	408	63%
鳥取	ひとめぼれ	11,567	566	-	-	14,296	81%	-	-	733	77%
島根	コシヒカリ	12,216	3,606	-	-	15,814	77%	-	-	919	392%
島根	きぬむすめ	11,180	1,956	-	-	14,484	77%	-	-	460	425%
島根	ハナエチゼン	10,844	471	-	-	14,601	74%	-	-	298	158%
岡山	アケボノ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	あきたこまち	11,604	278	-	-	14,279	81%	-	-	161	173%
岡山	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	コシヒカリ	12,546	1,547	-	-	14,964	84%	-	-	909	170%
広島	あきろまん	−	−	-	-	13,605	-	-	-	143	-
広島	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
山口	コシヒカリ	12,994	947	-	-	15,053	86%	-	-	1,082	88%
山口	ひとめぼれ	12,149	308	-	-	14,301	85%	-	-	254	121%
山口	ヒノヒカリ	12,298	104	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	コシヒカリ	11,214	973	-	-	13,157	85%	-	-	3,111	31%
徳島	キヌヒカリ	9,873	314	-	-	12,966	76%	-	-	512	61%
香川	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
香川	コシヒカリ	12,861	576	-	-	14,281	90%	-	-	587	98%
愛媛	コシヒカリ	12,566	507	-	-	15,721	80%	-	-	391	130%
愛媛	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛	あきたこまち	11,939	277	-	-	15,056	79%	-	-	267	104%
高知	コシヒカリ	11,459	1,590	-	-	14,498	79%	-	-	1,196	133%
高知	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	夢つくし	14,970	730	-	-	16,832	89%	-	-	1,435	51%
佐賀	夢しずく	12,821	161	-	-	14,897	86%	-	-	310	52%
佐賀	さがびより	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	にこまる	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎	コシヒカリ	14,296	261	-	-	15,804	90%	-	-	254	103%
熊本	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	森のくまさん	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本	コシヒカリ	12,946	886	-	-	14,702	88%	-	-	941	94%
大分	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
大分	ひとめぼれ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	コシヒカリ	12,830	443	-	-	15,174	85%	-	-	830	53%
宮崎	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	ヒノヒカリ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	コシヒカリ	−	−	-	-	15,195	-	-	-	171	-
鹿児島	あきほなみ	−	−	-	-	-	-	-	-	-	-
全銘柄平均価格、合計数量		12,481	144,766	-	-	14,871	83.9%	-	-	133,647	108.3%

全銘柄平均価格	12,481	25年産米の全銘柄平均価格(年産平均)	14,395	86.7%

注：本表の注意点は前々頁の脚注を参照

② 相対取引価格の推移（平成26年産米、主な産地品種銘柄）

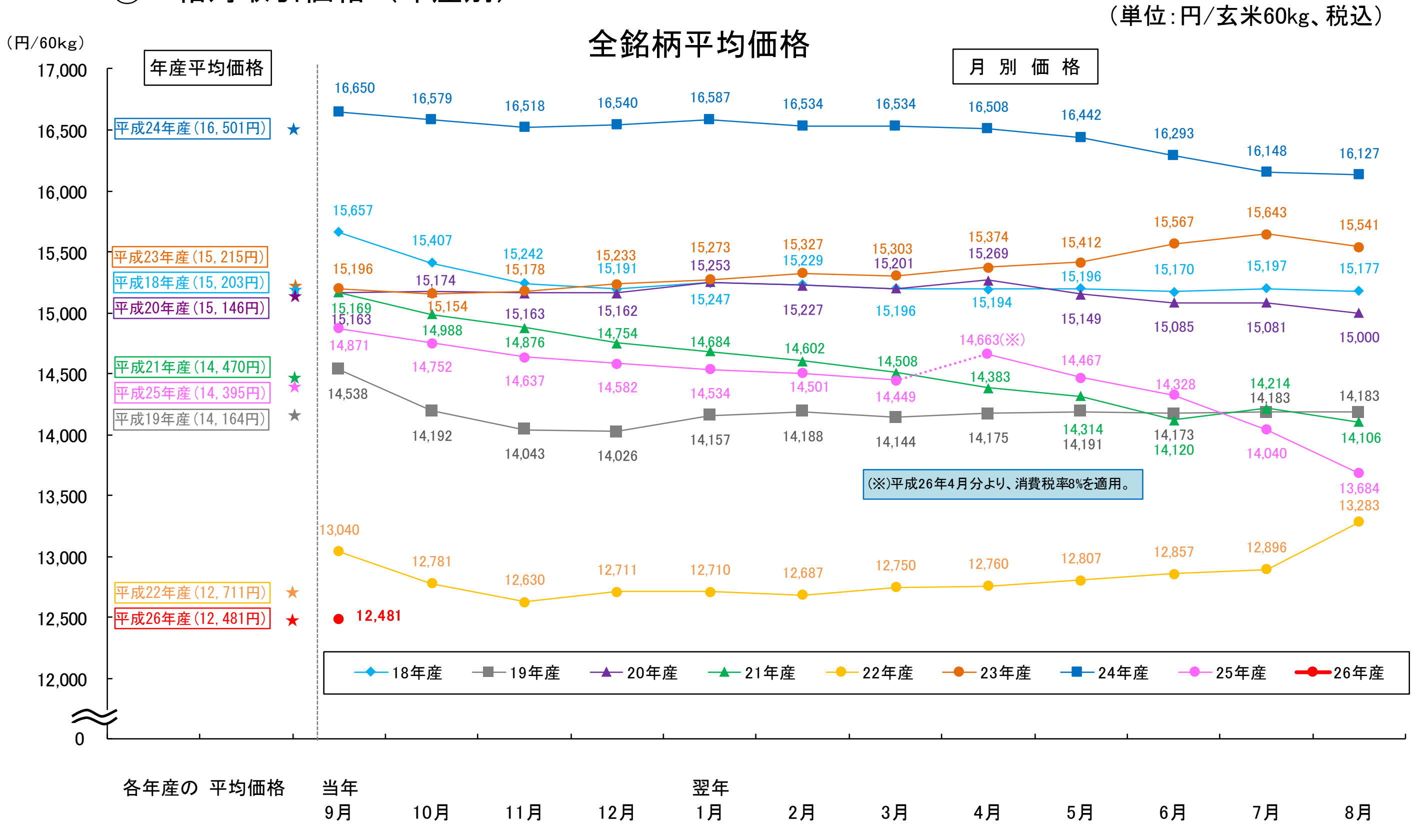
（単位：円/玄米60kg、税込）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注　：相対取引価格に関する留意点については、6頁①表の脚注を参照。

③ 相対取引価格（年産別）

（単位：円/玄米60kg、税込）

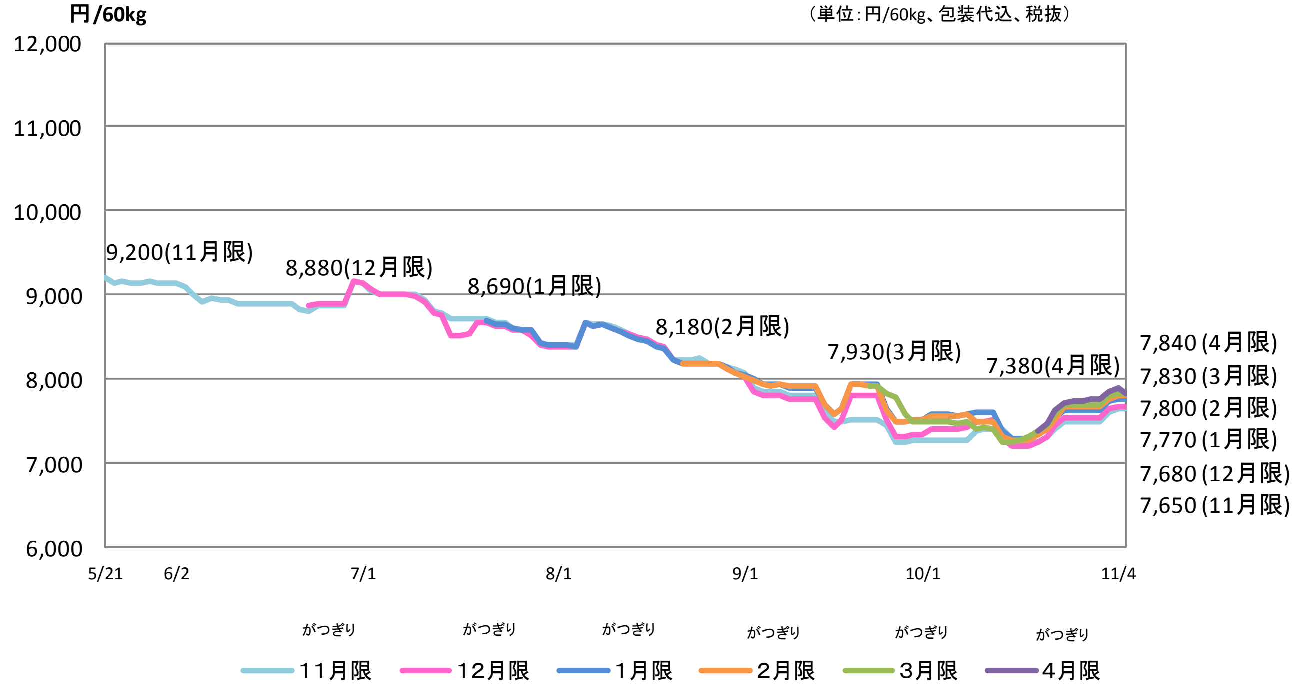


資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注１：価格には、運賃、包装代、消費税相当額（５%。ただし、25年産の26年４月分以降は８%）が含まれている。
　２：グラフの左側は各年産の平均価格（注３）、右側は月ごとの価格の推移。
　３：平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（25年産は出回りから翌年9月、26年産は当年9月の価格）までの通年平均。
　４：これ以外の留意点については、6頁①表の脚注を参照。

（２）米の先物取引価格の推移

税抜価格

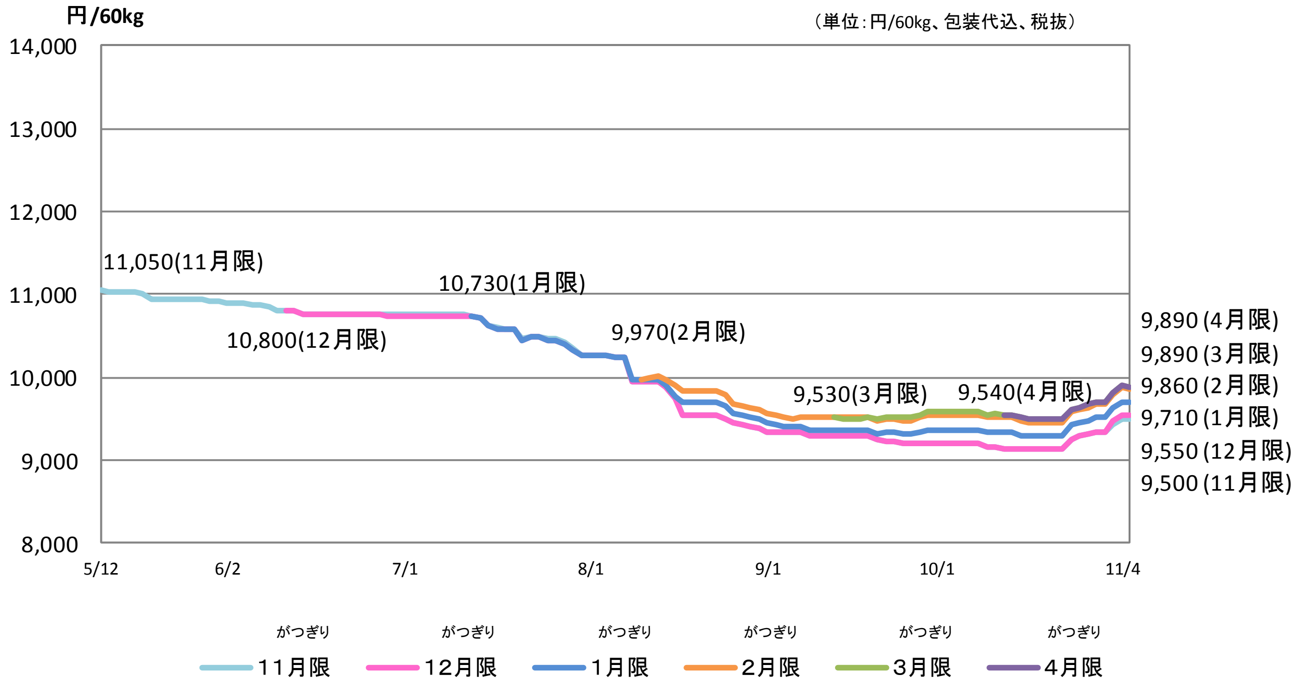
①東京コメ



出典：大阪堂島商品取引所
注：取引開始から本レポート公表日の２日前の後場第３節までの価格の推移である。

②大阪コメ

税抜価格



出典：大阪堂島商品取引所
注 ：取引開始から本レポート公表日の２日前の後場第３節までの価格の推移である。

（３）業者間取引の状況

税抜価格

①　日本コメ市場（随時取引の結果）

○　価格は、主にスポット取引の価格であり、相当期間にわたり安定的に行う取引の価格とは性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

年産・産地銘柄		9月下期	10月上期	10月下期
26年産	秋田あきたこまち	－	10,699	10,564
26年産	福島中通コシヒカリ	－	8,931	－
26年産	栃木コシヒカリ	－	9,838	－
26年産	茨城コシヒカリ	9,353	9,732	9,693
26年産	新潟一般コシヒカリ	－	14,693	14,000

出典：　日本コメ市場株式会社ＨＰ
注：１　随時取引とは、取引日を限定せずに、ファックス、電話、ＩＴ等によって行う取引である。
　　２　上記価格は、日本コメ市場㈱の取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
　　３　上期は、１日から15日まで、下期は、16日から月末までを示す。
　　４　「－」に関しては、成約数量が日本コメ市場の内部規程で定める基準を満たさなかったため非公表。

②　日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）
（主たる銘柄の成約状況）

税抜価格

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg、トン）

年産・産地銘柄		平成26年度									
		第1回 5月20日		第2回 7月17日		第3回 8月21日		第4回 9月18日		第5回 10月22日	
		成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量	成約価格	成約数量
25年産	北海道ななつぼし	13,383	211	－	－	－	－	－	－	－	－
25年産	青森まっしぐら	10,600	89	9,800	36	－	－	－	－	－	－
25年産	宮城ひとめぼれ	－	－	11,657	42	－	－	－	－	－	－
25年産	秋田あきたこまち	13,154	30	12,108	48	11,809	27	－	－	－	－
25年産	山形はえぬき	－	－	－	－	9,900	119	－	－	－	－
25年産	茨城コシヒカリ	－	－	10,376	25	－	－	－	－	－	－
25年産	栃木コシヒカリ	11,975	24	－	－	－	－	－	－	－	－
25年産	新潟一般コシヒカリ	15,820	60	－	－	－	－	－	－	－	－
25年産	新潟佐渡コシヒカリ	－	－	16,213	30	－	－	－	－	－	－
26年産	秋田あきたこまち	－	－	－	－	－	－	11,283	73	10,510	62
26年産	茨城コシヒカリ	－	－	－	－	10,019	78	9,309	32	10,020	180
26年産	千葉あきたこまち	－	－	－	－	9,300	24	－	－	－	－
26年産	千葉ふさおとめ	－	－	－	－	9,167	40	8,914	102	8,950	36
26年産	新潟一般コシヒカリ	－	－	－	－	－	－	14,578	30	13,900	24
成約米穀の平均価格（加重平均）		12,650	724	11,903	394	10,732	658	10,839	515	9,970	955

出典：　日本コメ市場株式会社ＨＰ
注：１　取引会における取引は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において開催される取引会において入札により行われるものである。
　　２　価格は、取引における成約価格を取引数量により加重平均したものである。
　　３　「－」は、同社のホームページにおいて非公表を示す。

（４）（株）加工用米取引センターの取引結果

税抜価格

【平成26年産】

（単位：成約数量・トン、成約価格・円/60kg（包装代込み・税抜き））

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
平成26年 8月4日	宮崎コシヒカリ（主食用）	1等	22	12,750
8月4日	宮崎コシヒカリ（主食用）	1等	43	13,050
8月27日	三重コシヒカリ（主食用）	1等	8	10,800
8月27日	三重コシヒカリ（主食用）	2等	4	10,200
9月30日	北海道きらら397（主食用）	1等	5	10,920
10月1日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	5	15,150
10月1日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	9	14,850
10月1日	新潟コシヒカリ（主食用）	2等	2	14,250
10月1日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	1等	5	18,650
10月1日	千葉コシヒカリ（主食用）	1等	12	10,350

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
10月2日	茨城あきたこまち（主食用）	1等	24	10,050
10月2日	茨城ひとめぼれ（主食用）	1等	24	9,850
10月3日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	1等	5	18,450
10月3日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	5	15,150
10月3日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	13,150
10月30日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	11	16,150
11月4日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	11	16,150
11月5日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	11	16,250

【平成25年産】

（単位：成約数量・トン、成約価格・円/60kg（包装代込み・税抜き））

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
平成25年 9月3日	茨城コシヒカリ（主食用）	1等	13	12,900
9月24日	茨城コシヒカリ（主食用）	1等	26	12,900
9月24日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	12	15,500
10月11日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	12	14,950
10月11日	北海道きらら397（主食用）	1等	5	13,920
10月11日	山形ササニシキ（主食用）	1等	5	14,350
10月18日	島根きぬむすめ（主食用）	1等	12	13,550
10月22日	茨城コシヒカリ（主食用）	1等	26	12,900
10月23日	千葉ひとめぼれ（主食用）	1等	7	12,200
11月6日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	12	13,650
11月6日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	24	13,550
11月15日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	11	13,650
11月15日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	15,000
11月22日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	5	13,650
11月22日	熊本ヒヨクモチ（主食用）	2等	5	13,600
11月25日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	1等	4	19,850
11月25日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	2等	2	19,250
11月25日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	15,000
11月25日	秋田あきたこまち（主食用）	1等	5	13,900
11月25日	新潟コシヒカリ（佐渡）（特栽）（主食用）	1等	5	18,050
11月25日	新潟コシヒカリ（佐渡）（特栽）（主食用）	2等	1	17,450
11月26日	鳥取コシヒカリ（主食用）	2等	12	13,250
11月26日	岡山コシヒカリ（主食用）	1等	12	13,700
11月26日	広島コシヒカリ（主食用）	2等	12	13,350
11月26日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	5	15,150
12月2日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	14,950
12月3日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	1等	4	19,850
12月3日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	2等	2	19,250
12月3日	秋田あきたこまち（主食用）	1等	11	13,900
12月3日	山形つや姫（主食用）	1等	60	16,500
12月6日	栃木コシヒカリ（主食用）	1等	13	12,810
12月9日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	3	15,000
12月9日	富山コシヒカリ（主食用）	2等	3	14,400
平成26年 1月6日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	48	15,850
1月6日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	48	15,800
1月6日	新潟コシヒカリ（岩船）（主食用）	1等	6	15,700
1月9日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	12	15,600
1月9日	山形つや姫（主食用）	1等	13	16,800
1月10日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	8	16,400
1月10日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	2等	4	15,800
1月23日	山形つや姫（主食用）	1等	13	16,800
1月27日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	6	16,400

取引日	産地、銘柄	等級	成約数量	成約価格
平成26年 1月27日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	2等	6	15,800
1月31日	山形つや姫（主食用）	1等	13	16,800
2月6日	山形つや姫（主食用）	1等	13	16,800
2月12日	新潟コシヒカリ（佐渡）（特栽）（主食用）	1等	5	18,050
2月12日	新潟コシヒカリ（佐渡）（特栽）（主食用）	2等	1	17,450
2月20日	岡山コシヒカリ（主食用）	1等	3	13,700
2月20日	岡山コシヒカリ（主食用）	2等	12	13,450
2月20日	岡山コシヒカリ（主食用）	2等	9	13,400
2月20日	山形つや姫（主食用）	1等	13	16,800
2月28日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	6	16,400
2月28日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	2等	6	15,800
2月28日	山形つや姫（主食用）	1等	50	16,800
3月10日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	14,350
3月10日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	1等	11	19,050
3月17日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	6	16,400
3月17日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	2等	6	15,800
3月19日	新潟コシヒカリ（特栽）（主食用）	1等	12	16,500
3月19日	三重コシヒカリ（主食用）	2等	12	12,500
4月3日	新潟コシヒカリ（佐渡）（特栽）（主食用）	1等	4	18,150
4月3日	新潟コシヒカリ（佐渡）（特栽）（主食用）	2等	1	17,550
4月3日	新潟コシヒカリ（岩船）（主食用）	1等	12	16,100
4月3日	茨城あきだわら（主食用）	1等	9	11,500
4月3日	茨城あきだわら（主食用）	2等	5	11,000
4月17日	山形はえぬき（庄内）（主食用）	1等	12	12,900
4月17日	福井ハナエチゼン（主食用）	1等	13	13,100
4月22日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	14,350
4月28日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	1等	6	16,400
4月28日	新潟コシヒカリ（佐渡）（主食用）	2等	6	15,800
6月17日	北海道きらら397（主食用）	1等	5	12,150
7月2日	富山コシヒカリ（主食用）	1等	5	13,450
7月2日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	5	15,950
7月2日	新潟コシヒカリ（主食用）	2等	5	15,350
7月2日	新潟コシヒカリ（魚沼）（主食用）	1等	5	20,150
7月4日	北海道ななつぼし（主食用）	1等	20	13,350
7月8日	新潟コシヒカリ（主食用）	1等	11	15,950
7月11日	青森まっしぐら（主食用）	1等	13	10,550
7月18日	北海道ななつぼし（主食用）	1等	10	13,350
7月28日	北海道ななつぼし（主食用）	1等	10	13,350
7月31日	栃木あさひの夢（主食用）	1等	26	9,000
8月4日	群馬あさひの夢（主食用）	1等	2	8,600
8月4日	群馬あさひの夢（主食用）	2等	8	8,100

資料：　㈱加工用米取引センターＨＰ
注：１　すべて玄米60ｋｇ当たりの価格。
　　２　商品形態は、玄米30ｋｇ紙袋である。ただし、売側・買側の合意があった場合には、フレコンも可とされている。
　　３　成約価格は、着地持込価格。

（５）（株）日本農産情報の取引結果

税抜価格

【平成26年産】

（成約価格・円/60kg、包装代込み、税抜き）

産地、銘柄	平成26年 7月末	8月末	9月末	10月末
北海道ななつぼし			11,600	11,000
北海道ゆめぴりか			14,000	13,700
青森まっしぐら				8,300
青森つがるロマン				8,600
岩手ひとめぼれ				9,600
岩手あきたこまち				9,600
宮城ひとめぼれ				10,000
秋田あきたこまち			10,800	10,400
山形はえぬき			9,500	9,300
山形ヒメノモチ			16,000	16,400
福島中通コシヒカリ				8,900
福島中通ひとめぼれ				8,600
茨城コシヒカリ		10,000	9,450	9,600
茨城あきたこまち		9,200	9,400	9,600
栃木あさひの夢			7,700	7,900
埼玉彩のかがやき				7,900
千葉コシヒカリ		10,000	9,500	
千葉ふさこがね		8,600	8,300	
千葉ふさおとめ		8,700	8,800	8,900
千葉あきたこまち		9,200	9,500	
千葉ヒメノモチ		14,800	16,200	16,400
新潟コシヒカリ			13,900	
新潟コシヒカリ（一般）				13,900
新潟コシヒカリ（魚沼）				17,800
新潟こしいぶき			10,400	10,200
富山コシヒカリ（近畿着）			12,400	12,200
福井ハナエチゼン（近畿着）			10,000	
徳島コシヒカリ（近畿着）		10,700	10,200	
徳島ハナエチゼン（近畿着）		10,500		
高知コシヒカリ（近畿着）		10,700	10,600	
熊本2等ヒノヒカリ（福岡着）				9,900
熊本2等ヒヨクモチ（近畿着）				16,400
宮崎コシヒカリ（近畿着）	12,700	11,700	11,700	
鹿児島コシヒカリ（近畿着）（JA）		12,800		

【平成25年産】

（成約価格・円/60kg、包装代込み、税抜き）

産地、銘柄	平成25年 8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	平成26年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末
北海道ななつぼし			13,300	13,000	12,900	12,900	13,000	13,200	13,100	13,300	13,500	13,500	13,000
青森まっしぐら		12,000	12,300	12,300	12,300	12,200	12,000	10,500	10,500	10,300	10,000	10,000	9,300
宮城ひとめぼれ			13,000	13,000	13,000	13,100	13,100	13,000	13,000	12,800	12,000	11,500	11,500
秋田あきたこまち		13,200	13,100	13,200	13,300	13,500	13,500	13,500	13,500	13,300	12,600	12,400	12,000
山形はえぬき			12,600	12,600	12,600	13,000	12,900	12,700	12,600	12,200	11,700	11,200	10,300
山形ヒメノモチ		13,500											
福島中通コシヒカリ						12,100	12,000	11,900	11,900	11,700	11,600	11,500	11,400
福島中通ひとめぼれ		12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	11,700	11,600	11,100	11,100
茨城コシヒカリ	12,600	12,500	12,500	12,500	12,300	12,500	12,100	11,900	11,600	11,300	11,100	10,100	8,700
茨城あきたこまち	11,900	12,200	12,400	12,500	12,500	12,800	12,600	12,400	12,600	12,700	12,000	11,200	
栃木あさひの夢			11,800	11,800	11,700	11,700	11,500	10,700	10,400	10,300	9,900	9,200	8,200
千葉ふさこがね	12,000												
千葉ふさおとめ	12,100	12,100											
千葉あきたこまち	12,100												
千葉ヒメノモチ		13,300											
新潟コシヒカリ		15,200	15,000	14,900	15,000	15,800	15,600	15,600	15,700	15,800	15,400	15,000	15,000
新潟こしいぶき		12,900											
富山コシヒカリ（近畿着）		14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200	14,100	13,700	13,700	13,600	13,200	13,200
三重コシヒカリ	13,200												
三重コシヒカリ（近畿着）			13,100	13,100	13,100	13,300	13,300	13,100	13,100	12,100	11,800	11,400	11,400
高知コシヒカリ2等（近畿着）	12,700												
福岡2等夢つくし（福岡着）			14,700	14,700	14,700	14,700	14,400	14,300	14,100	13,500	13,500	13,300	
熊本2等ヒノヒカリ（福岡着）		13,000	12,900	12,900	12,900	13,100	12,700	12,700	12,400	11,800	11,800	11,800	
宮崎コシヒカリ（近畿着）	14,500												
鹿児島コシヒカリ（近畿着）	13,800												

資料：（株）日本農産情報ＨＰ
注　：特にことわりの無い場合は、価格は１口10トン以上の１等東京着値基準で、消費税抜き中卸価格。

- 今月号から、平成26年産米の契約・販売状況を掲載します。
- 集荷数量は104万トン程度であり、今後、本格的な集荷が行われます。
- 契約数量は、事前契約分を含むこと等から集荷量よりも多い107万トン程度となっています。
- 販売数量は、14万トン程度となっています。

2　契約・販売情報

（１）産地別契約・販売状況（速報）

平成26年産米の産地別契約・販売状況（累計、うるち米、平成26年9月末現在）

26年産米については、これから本格的に集荷されることから、「契約比率」及び「販売比率」（集荷数量に対する進捗状況）については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

集荷・契約・販売数量（北海道から静岡まで）

	集荷数量 ① (玄米千トン)	契約数量 ② (玄米千トン)	販売数量 ③ (玄米千トン)
北海道	75.1	204.4	9.9
ななつぼし	34.5	105.0	4.7
きらら397	7.0	46.8	0.9
ゆめぴりか	23.8	30.0	2.5
青　森	21.0	26.9	0.5
まっしぐら	9.5	20.8	0.2
つがるロマン	11.0	5.8	0.3
岩　手	13.6	47.8	4.0
ひとめぼれ	11.7	41.6	2.9
あきたこまち	1.1	5.3	0.6
いわてっこ	0.3	0.5	0.2
宮　城	46.7	112.5	1.7
ひとめぼれ	40.8	94.6	1.5
ササニシキ	3.0	6.5	0.1
まなむすめ	2.1	4.6	0.0
秋　田	61.5	67.0	3.8
あきたこまち	60.2	59.7	3.7
めんこいな	0.4	0.3	0.0
ひとめぼれ	0.3	5.2	0.0
山　形	34.4	26.9	0.8
はえぬき	20.9	4.7	0.4
つや姫	0.7	10.4	0.2
ひとめぼれ	5.7	8.8	0.1
福　島	11.7	23.1	0.4
コシヒカリ中通り	0.8	0.1	0.0
コシヒカリ会津	2.4	20.7	0.0
コシヒカリ浜通り	0.3	0.0	0.0
ひとめぼれ	6.6	0.7	0.2
あきたこまち	0.1	0.0	0.0

	集荷数量 ① (玄米千トン)	契約数量 ② (玄米千トン)	販売数量 ③ (玄米千トン)
茨　城	67.1	42.2	6.8
コシヒカリ	48.8	31.4	3.0
あきたこまち	12.4	9.3	3.3
ゆめひたち	0.6	0.0	0.0
栃　木	82.1	21.9	8.5
コシヒカリ	73.2	17.5	6.6
あさひの夢	0.9	0.4	0.1
なすひかり	6.2	2.7	1.5
群　馬	0.3	0.1	0.1
あさひの夢	0.1	0.0	0.0
ゴロピカリ	–	–	–
埼　玉	6.1	3.5	0.1
彩のかがやき	0.0	1.9	0.0
コシヒカリ	5.2	1.3	0.1
キヌヒカリ	0.2	0.1	0.0
千　葉	109.3	26.1	15.4
コシヒカリ	54.0	10.7	6.6
ふさこがね	25.8	3.7	1.5
ふさおとめ	23.1	8.6	5.6
東　京	–	–	–
神奈川	0.2	0.0	0.0
山　梨	0.6	0.0	0.0
コシヒカリ	0.6	0.0	0.0
あさひの夢	–	–	–
長　野	14.7	26.2	1.3
コシヒカリ	11.1	20.2	0.7
あきたこまち	1.4	2.0	0.2
静　岡	6.6	6.6	1.1
コシヒカリ	5.8	5.8	1.0
あいちのかおり	–	–	–
キヌヒカリ	0.4	0.4	0.0

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2　報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。
3　集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。
4　契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）した数量である。
5　販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。
6　銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。
7　全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。
8　「－」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないもの。

集荷・契約・販売数量（新潟から沖縄まで）

	集荷数量 ①	契約数量 ②	販売数量 ③
	（玄米千トン）	（玄米千トン）	（玄米千トン）
新　潟	159.6	137.9	14.1
コシヒカリ一般	86.0	76.0	7.0
コシヒカリ魚沼	12.0	8.1	1.5
コシヒカリ岩船	2.7	7.2	0.2
コシヒカリ佐渡	4.6	11.3	0.5
こしいぶき	39.9	23.1	3.2
富　山	68.1	34.7	6.9
コシヒカリ	56.1	28.1	5.8
てんたかく	8.2	3.5	1.0
石　川	26.8	13.9	0.4
コシヒカリ	17.0	7.6	0.3
ゆめみづほ	7.6	4.8	0.0
福　井	37.4	21.0	11.7
コシヒカリ	11.5	7.6	3.1
ハナエチゼン	19.5	7.2	4.1
岐　阜	5.6	16.3	1.7
ハツシモ	0.0	6.5	0.0
コシヒカリ	2.0	4.9	0.1
あきたこまち	2.6	2.3	1.4
愛　知	9.1	2.5	2.5
あいちのかおり	0.0	0.0	0.0
コシヒカリ	7.0	1.5	1.5
大地の風	0.0	0.0	0.0
三　重	22.3	16.1	3.2
コシヒカリ一般	12.7	8.7	1.8
コシヒカリ伊賀	4.5	3.8	0.3
キヌヒカリ	1.9	1.0	0.0
滋　賀	32.0	34.5	4.6
コシヒカリ	13.4	11.9	2.1
キヌヒカリ	8.2	8.0	0.8
日本晴	2.1	2.1	0.0
京　都	5.3	11.8	0.6
コシヒカリ	3.7	6.9	0.5
キヌヒカリ	1.4	2.7	0.1
大　阪	－	－	－
兵　庫	11.9	13.7	1.5
コシヒカリ	8.8	1.3	1.1
キヌヒカリ	1.6	0.1	0.1
ヒノヒカリ	－	－	－
奈　良	1.2	1.2	0.1
ヒノヒカリ	0.0	0.0	0.0
コシヒカリ	0.4	0.4	0.1
和歌山	0.8	1.4	0.0
鳥　取	5.0	7.4	0.8
コシヒカリ	2.2	2.4	0.4
ひとめぼれ	2.6	3.8	0.4
島　根	15.3	12.0	1.3
コシヒカリ	11.1	6.1	0.8
きぬむすめ	0.5	3.7	0.0
ハナエチゼン	1.7	0.6	0.4

	集荷数量 ①	契約数量 ②	販売数量 ③
	（玄米千トン）	（玄米千トン）	（玄米千トン）
岡　山	2.0	12.5	0.5
アケボノ	0.0	2.8	0.0
あきたこまち	0.9	1.1	0.2
ヒノヒカリ	0.0	1.5	0.0
広　島	12.4	6.1	1.1
コシヒカリ	8.7	1.7	0.8
あきろまん	0.0	0.0	0.0
ヒノヒカリ	0.0	0.0	0.0
山　口	10.9	20.5	1.0
コシヒカリ	6.1	6.7	0.9
ひとめぼれ	4.3	5.1	0.1
ヒノヒカリ	0.0	4.4	0.0
徳　島	9.9	2.8	2.1
コシヒカリ	7.2	1.8	1.3
キヌヒカリ	1.9	0.3	0.1
香　川	4.3	13.2	0.6
ヒノヒカリ	0.0	6.7	0.0
コシヒカリ	4.0	4.4	0.6
愛　媛	4.8	1.1	1.0
コシヒカリ	3.6	0.8	0.8
ヒノヒカリ	0.0	0.0	0.0
あきたこまち	1.0	0.3	0.3
高　知	7.3	4.2	2.7
コシヒカリ	6.0	3.3	2.0
ヒノヒカリ	0.0	0.0	0.0
福　岡	4.5	26.1	1.0
ヒノヒカリ	0.0	0.0	0.0
夢つくし	3.8	6.8	0.9
佐　賀	3.9	1.7	1.5
夢しずく	0.7	0.5	0.3
さがびより	－	－	－
ヒノヒカリ	－	－	－
長　崎	1.5	0.4	0.4
にこまる	0.0	0.0	0.0
ヒノヒカリ	0.0	0.0	0.0
コシヒカリ	1.3	0.4	0.4
熊　本	5.8	2.5	2.5
ヒノヒカリ	0.1	0.0	0.0
コシヒカリ	4.7	1.8	1.8
森のくまさん	0.0	0.0	0.0
大　分	0.9	0.6	0.4
ヒノヒカリ	－	－	－
ひとめぼれ	0.1	0.0	0.0
宮　崎	13.7	12.6	11.9
コシヒカリ	13.3	12.2	11.5
ヒノヒカリ	－	－	－
鹿児島	7.5	7.5	6.4
ヒノヒカリ	－	－	－
コシヒカリ	4.8	4.8	4.0
あきほなみ	－	－	－
沖　縄	1.5	1.5	1.4
全　国	1,043	1,073	138

注：本表の注意点は前頁の脚注を参照

- 今月号から、平成２６年産米の集荷数量・事前契約数量を掲載します。
- 平成２６年９月末の集荷数量は１０４万トン程度であり、今後、本格的な集荷が行われます。
- 事前契約数量は８８万トン程度となっています。

（事前契約数量は、複数年契約、は種前契約、収穫前契約といった米の収穫時期の前にあらかじめ契約されたものをいいます。）

（２）産地別事前契約数量

平成24から26年産米の産地別事前契約数量（累計、うるち米、平成26年9月末現在）（速報）

26年産米については、これから本格的に集荷されることから、「事前契約比率」（集荷数量に対する事前契約数量の比率）については、集荷が一定程度進んだ段階で掲載します。

単位：玄米千トン

	24年産			25年産			26年産(平成26年9月末現在)	
	集荷数量 ①	うち事前契約分 ②	事前契約比率 ②/①	集荷数量 ③	うち事前契約分 ④	事前契約比率 ④/③	集荷数量 ⑤	事前契約数量 ⑥
北海道	407.4	226.1	56%	389.9	206.4	53%	75.1	189.5
青森	123.6	43.3	35%	164.9	46.9	28%	21.0	26.1
岩手	163.3	85.3	52%	148.8	82.3	55%	13.6	45.7
宮城	203.8	105.6	52%	196.2	141.7	72%	46.7	111.0
秋田	297.7	148.7	50%	319.4	102.6	32%	61.5	58.0
山形	235.0	75.5	32%	259.9	56.9	22%	34.4	25.1
福島	157.4	50.4	32%	173.9	27.9	16%	11.7	20.0
茨城	98.0	60.1	61%	107.8	39.0	36%	67.1	35.2
栃木	164.7	59.0	36%	190.7	43.1	23%	82.1	13.5
群馬	27.9	–	–	26.9	–	–	0.3	–
埼玉	19.7	6.7	34%	23.1	5.9	25%	6.1	3.2
千葉	104.9	33.6	32%	111.0	20.0	18%	109.3	5.2
東京	–	–	–	–	–	–	–	–
神奈川	2.2	–	–	2.1	–	–	0.2	–
山梨	6.1	–	–	6.3	–	–	0.6	–
長野	74.8	39.1	52%	77.8	42.0	54%	14.7	22.0
静岡	9.6	–	–	7.9	–	–	6.6	–
新潟	345.0	190.8	55%	306.0	144.4	47%	159.6	122.8
富山	103.0	48.3	47%	111.6	53.8	48%	68.1	29.2
石川	38.2	31.1	82%	38.2	29.4	77%	26.8	12.6
福井	71.7	41.9	58%	71.7	56.3	78%	37.4	7.4
岐阜	38.9	18.8	48%	39.6	17.0	43%	5.6	15.2
愛知	40.3	7.9	20%	43.5	7.8	18%	9.1	–
三重	31.0	19.1	62%	39.0	20.0	51%	22.3	16.0
滋賀	73.2	41.7	57%	77.2	40.6	53%	32.0	25.8
京都	17.7	10.6	60%	17.2	8.0	46%	5.3	8.2
大阪	–	–	–	–	–	–	–	–
兵庫	42.4	–	–	42.6	–	–	11.9	–
奈良	8.4	–	–	8.6	–	–	1.2	–
和歌山	1.4	1.4	98%	1.3	1.3	98%	0.8	1.4
鳥取	29.3	7.5	25%	28.9	10.6	37%	5.0	6.8
島根	48.2	19.9	41%	39.3	21.8	56%	15.3	11.4
岡山	31.5	–	–	31.9	–	–	2.0	10.0
広島	45.3	–	–	41.6	1.9	5%	12.4	1.9
山口	47.1	22.1	47%	42.9	22.9	53%	10.9	20.4
徳島	15.0	–	–	14.3	–	–	9.9	–
香川	32.1	19.3	60%	31.6	19.1	60%	4.3	13.2
愛媛	15.6	–	–	15.2	–	–	4.8	–
高知	9.2	–	–	8.8	–	–	7.3	–
福岡	54.1	23.7	44%	54.1	25.7	47%	4.5	24.2
佐賀	42.4	–	–	40.8	–	–	3.9	–
長崎	11.2	–	–	11.6	–	–	1.5	–
熊本	49.1	25.7	52%	48.8	23.9	49%	5.8	0.2
大分	18.0	1.1	6%	18.3	1.6	9%	0.9	–
宮崎	23.0	–	–	23.0	–	–	13.7	–
鹿児島	19.8	–	–	21.9	–	–	7.5	–
沖縄	1.7	–	–	1.7	–	–	1.5	–
全国	**3,400**	**1,464**	**43%**	**3,515**	**1,321**	**38%**	**1,043**	**881**

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1　報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

2　報告対象米穀は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）である。

3　24年産は、25年産の報告対象業者から26年2月末時点で聞き取った数量、25年産は「米穀の取引に関する報告」による。

4　集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

5　事前契約分とは、３の集荷数量のうち、は種前・収穫前契約及び複数年の契約による数量（確認書等により数量のみが決定した契約を含む。）である。

6　全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

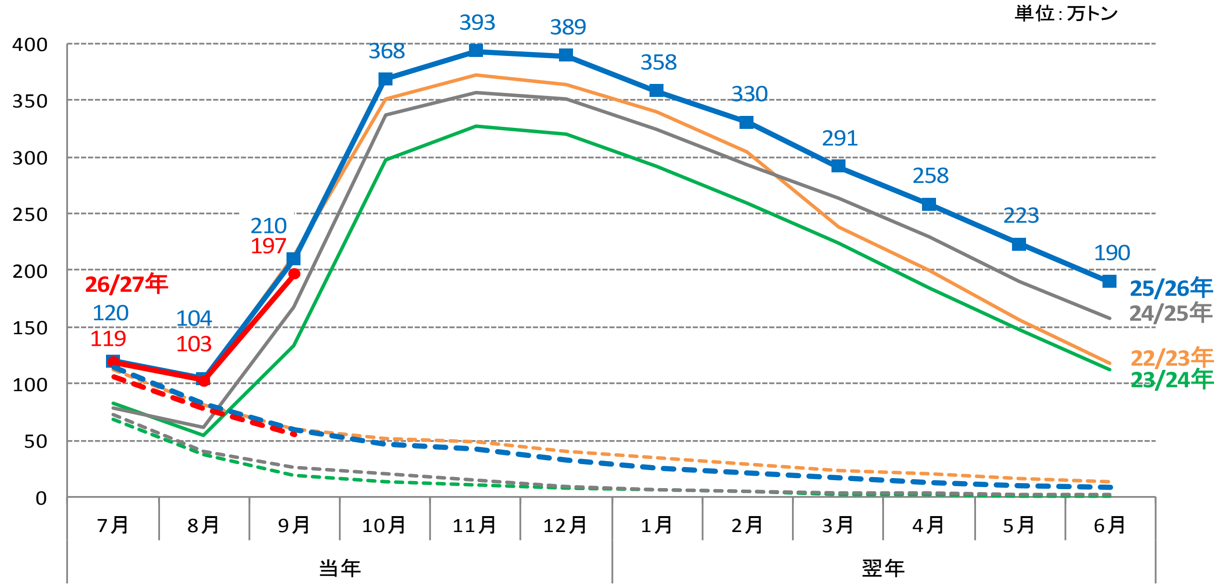
7　「－」は、集荷数量や事前契約に該当がないもの。

・　平成26年9月の出荷及び販売段階における民間在庫は、前年同期との比較では12万トン程度減少しています。
・　このうち、1年古米は55万トン程度あり、前年同期との比較では4万トン減少しています。

3　在庫情報

（1）全国段階の民間在庫の推移（うるち米、平成20年７月末～平成26年９月末）（速報）

【出荷＋販売段階】



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【出荷+販売段階】　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：玄米万トン）

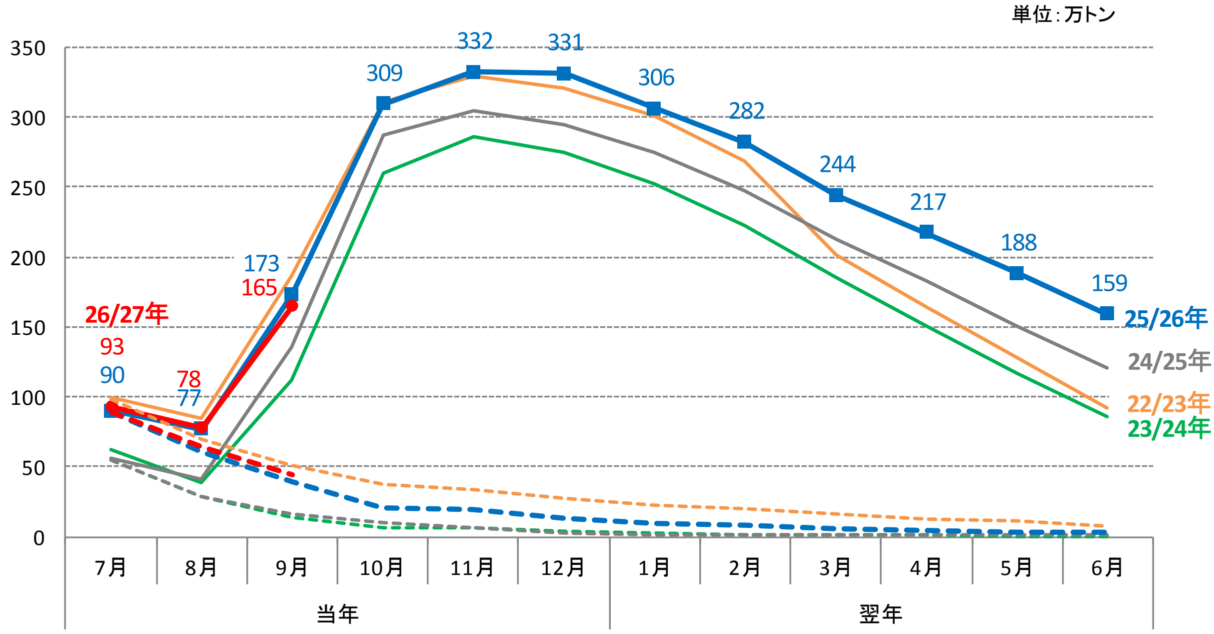
	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	66	48	134	325	351	346	322	293	257	221	195	148
対前年差	▲16	▲17	▲17	▲3	▲2	+9	+10	+17	+51	+51	+63	+50
20年産米	1	11	114	307	333	330	308	281	246	212	187	142
1年古米（19年産）	60	33	15	8	6	4	3	2	2	1	1	1
21/22年	113	93	164	349	380	372	347	320	267	228	191	154
対前年差	+47	+44	+30	+24	+29	+26	+25	+26	+10	+7	▲4	+6
21年産米	2	14	107	297	333	335	316	293	246	213	180	146
1年古米（20年産）	106	76	52	42	35	27	22	18	12	8	6	4
22/23年	118	102	212	351	372	363	339	304	238	200	156	118
対前年差	+5	+9	+48	+1	▲8	▲8	▲8	▲15	▲29	▲29	▲34	▲36
22年産米	0	16	145	290	314	315	297	268	208	174	135	99
1年古米（21年産）	112	81	60	52	49	41	35	29	24	20	16	13
23/24年	83	55	134	298	327	320	291	259	224	185	147	113
対前年差	▲36	▲47	▲78	▲53	▲46	▲43	▲48	▲46	▲14	▲14	▲9	▲5
23年産米	0	8	106	273	304	300	275	246	214	177	141	108
1年古米（22年産）	69	37	19	13	11	8	6	5	2	2	1	1
24/25年	78	62	167	337	357	351	324	293	264	229	190	157
対前年差	▲5	+8	+33	+39	+30	+30	+33	+34	+40	+43	+43	+44
24年産米	0	16	135	306	331	331	307	279	252	219	182	150
1年古米（23年産）	73	41	26	20	15	9	7	5	4	3	2	2
25/26年	120	104	210	368	393	389	358	330	291	258	223	190
対前年差	+42	+42	+43	+32	+36	+39	+34	+37	+27	+29	+33	+33
25年産米	1	19	145	310	337	345	320	297	264	236	205	175
1年古米（24年産）	114	82	59	47	43	32	25	22	17	13	10	8
26/27年	119	103	197									
対前年差	▲1	▲1	▲12									
26年産米	0	14	131									
1年古米（25年産）	106	78	55									

資料：　農林水産省「米麦の出荷又は販売の事業を行う者等の流通状況調査」（～20年７月）
　　　　農林水産省「米穀の取引に関する報告」（20年８月～）

注：１　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　　２　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　　３　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
　　４　期間については、26/27年であれば、26年７月～27年６月である。
　　５　年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と１年古米の計と一致しない。
　　６　米穀機構の買入数量（35万トン）は、26/27年７月以降の在庫に含まれていない。

- 平成２６年９月の出荷段階における民間在庫は、前年同期との比較では8万トン程度減少しています。
- １年古米は４４万トン程度あり、前年同期との比較では4万トン程度増加しています。

【出荷段階】



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

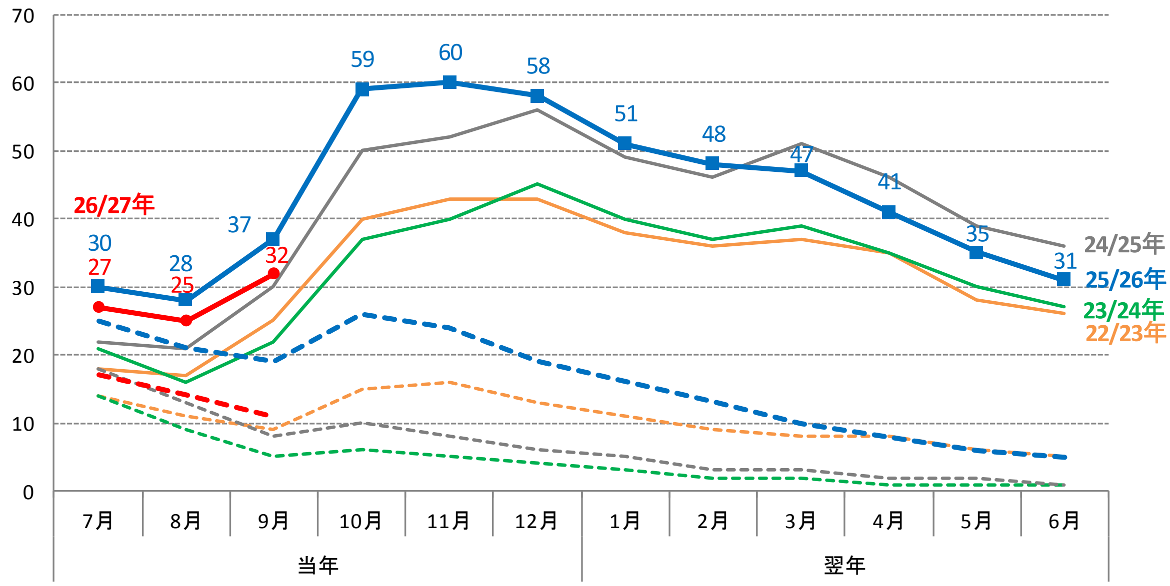
【出荷段階】（単位：玄米万トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	47	32	111	285	308	296	277	251	214	182	163	121
対前年差	▲16	▲16	▲19	▲7	▲5	+7	+8	+15	+47	+47	+57	+47
20 年 産 米	1	8	101	281	305	293	275	249	212	181	162	121
1 年古米（19年産）	46	23	9	1	1	1	0	0	0	0	0	0
21/22年	91	73	133	299	328	321	303	279	232	197	165	132
対前年差	+44	+41	+22	+14	+20	+25	+26	+28	+18	+15	+2	+11
21 年 産 米	1	11	96	275	309	308	291	271	225	191	162	130
1 年古米（20年産）	90	61	36	21	15	11	9	7	5	3	2	2
22/23年	100	85	187	311	329	321	301	268	201	164	128	92
対前年差	+9	+12	+54	+12	+1	▲0	▲1	▲11	▲31	▲32	▲37	▲40
22 年 産 米	0	13	134	271	294	291	276	247	184	151	117	82
1 年古米（21年産）	99	70	51	37	34	28	23	20	16	13	11	8
23/24年	62	39	112	260	286	275	252	222	185	150	117	86
対前年差	▲38	▲46	▲75	▲50	▲43	▲45	▲49	▲46	▲16	▲15	▲11	▲6
23 年 産 米	0	5	94	249	276	266	245	217	182	148	116	85
1 年古米（22年産）	55	29	14	7	6	4	3	2	1	1	0	0
24/25年	56	41	136	287	305	295	275	247	213	183	151	121
対前年差	▲6	+2	+24	+26	+19	+20	+23	+25	+28	+33	+34	+35
24 年 産 米	0	12	118	274	296	290	271	243	210	181	150	120
1 年古米（23年産）	55	29	17	10	7	3	2	2	1	1	1	1
25/26年	90	77	173	309	332	331	306	282	244	217	188	159
対前年差	+34	+35	+37	+23	+27	+36	+31	+35	+31	+34	+37	+38
25 年 産 米	1	16	132	285	310	316	294	271	236	210	183	155
1 年古米（24年産）	89	61	40	21	19	13	10	8	6	5	4	3
26/27年	93	78	165									
対前年差	+2	+2	▲8									
26 年 産 米	0	12	118									
1 年古米（25年産）	89	64	44									

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

- 平成２６年９月の販売段階における民間在庫は、前年同期との比較では４万トン程度減少しています。
- １年古米は11万トン程度あり、前年同期との比較では8万トン程度減少しています。

【販売段階】



注：グラフ中の実線は総在庫数量。破線は1年古米在庫数量である。

【販売段階】 （単位：玄米万トン）

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
20/21年	19	17	23	41	43	50	45	42	43	39	32	26
対前年差	▲0	▲1	+2	+4	+3	+2	+2	+2	+5	+4	+6	+3
20年産米	0	3	12	26	28	36	34	32	34	32	26	21
1年古米(19年産)	14	10	6	6	5	3	3	2	1	1	1	0
21/22年	22	20	31	51	52	51	45	40	35	32	26	22
対前年差	+3	+4	+8	+10	+9	+1	▲0	▲2	▲8	▲7	▲6	▲5
21年産米	0	3	11	22	24	27	24	23	22	22	18	16
1年古米(20年産)	17	14	16	21	20	15	13	11	7	5	4	3
22/23年	18	17	25	40	43	43	38	36	37	35	28	26
対前年差	▲3	▲3	▲6	▲11	▲9	▲8	▲7	▲4	+2	+3	+3	+4
22年産米	0	3	12	19	21	23	21	22	24	23	19	17
1年古米(21年産)	14	11	9	15	16	13	11	9	8	8	6	5
23/24年	21	16	22	37	40	45	40	37	39	35	30	27
対前年差	+2	▲1	▲3	▲3	▲3	+2	+2	+1	+2	+0	+2	+1
23年産米	0	3	13	24	28	34	30	29	32	30	25	23
1年古米(22年産)	14	9	5	6	5	4	3	2	2	1	1	1
24/25年	22	21	30	50	52	56	49	46	51	46	39	36
対前年差	+1	+5	+8	+13	+11	+11	+9	+9	+12	+10	+8	+9
24年産米	0	4	17	32	35	41	37	36	42	38	32	31
1年古米(23年産)	18	13	8	10	8	6	5	3	3	2	2	1
25/26年	30	28	37	59	60	58	51	48	47	41	35	31
対前年差	+8	+7	+6	+9	+9	+3	+2	+1	▲4	▲4	▲4	▲5
25年産米	0	3	13	25	27	29	27	25	29	26	21	20
1年古米(24年産)	25	21	19	26	24	19	16	13	10	8	6	5
26/27年	27	25	32									
対前年差	▲3	▲3	▲4									
26年産米	0	3	13									
1年古米(25年産)	17	14	11									

※本表の注意点は前々頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

（２）産地別民間在庫の推移（うるち米、平成26年9月末現在）（速報）

（北海道から三重まで）

（単位：玄米千トン）

		26年7月	8月	9月
北海道	出荷＋販売段階	100.7	67.7	129.7
	26年産米	0.0	0.0	87.7
	1年古米(25年産)	97.4	65.3	40.4
	出荷段階	75.0	47.8	104.0
	26年産米	0.0	0.0	75.1
	1年古米(25年産)	74.1	47.2	28.7
	販売段階	25.7	19.9	25.6
	26年産米	0.0	0.0	12.6
	1年古米(25年産)	23.3	18.1	11.7
青森	出荷＋販売段階	69.2	55.2	68.1
	26年産米	0.0	0.0	27.2
	1年古米(25年産)	67.4	53.8	39.2
	出荷段階	51.3	41.3	56.0
	26年産米	0.0	0.0	26.6
	1年古米(25年産)	51.2	41.3	28.6
	販売段階	18.0	13.9	12.2
	26年産米	0.0	0.0	0.6
	1年古米(25年産)	16.2	12.6	10.6
岩手	出荷＋販売段階	45.6	33.1	33.8
	26年産米	0.0	0.0	10.8
	1年古米(25年産)	44.7	32.5	22.5
	出荷段階	39.9	28.8	29.9
	26年産米	0.0	0.0	10.4
	1年古米(25年産)	39.7	28.7	19.5
	販売段階	5.7	4.3	3.8
	26年産米	0.0	0.0	0.5
	1年古米(25年産)	5.0	3.8	3.0
宮城	出荷＋販売段階	74.3	57.9	96.8
	26年産米	0.0	0.0	55.0
	1年古米(25年産)	72.2	56.1	40.2
	出荷段階	63.5	47.5	85.4
	26年産米	0.0	0.0	53.4
	1年古米(25年産)	62.9	47.0	31.6
	販売段階	10.8	10.4	11.4
	26年産米	0.0	0.0	1.6
	1年古米(25年産)	9.3	9.2	8.6
秋田	出荷＋販売段階	91.4	68.6	128.2
	26年産米	0.0	0.0	74.0
	1年古米(25年産)	82.9	61.0	47.7
	出荷段階	81.8	60.3	119.5
	26年産米	0.0	0.0	71.7
	1年古米(25年産)	75.7	54.6	42.8
	販売段階	9.6	8.3	8.7
	26年産米	0.0	0.0	2.2
	1年古米(25年産)	7.2	6.3	4.9
山形	出荷＋販売段階	101.7	83.6	94.5
	26年産米	0.0	0.0	42.0
	1年古米(25年産)	96.3	79.0	48.5
	出荷段階	88.1	71.0	81.2
	26年産米	0.0	0.0	41.3
	1年古米(25年産)	85.3	68.6	37.7
	販売段階	13.7	12.7	13.4
	26年産米	0.0	0.0	0.7
	1年古米(25年産)	10.9	10.4	10.8

（単位：玄米千トン）

		26年7月	8月	9月
福島	出荷＋販売段階	56.7	41.5	50.4
	26年産米	0.0	0.0	17.7
	1年古米(25年産)	44.7	30.8	22.8
	出荷段階	39.3	27.4	36.9
	26年産米	0.0	0.0	16.4
	1年古米(25年産)	35.6	24.0	17.4
	販売段階	17.5	14.1	13.6
	26年産米	0.0	0.0	1.3
	1年古米(25年産)	9.1	6.7	5.4
茨城	出荷＋販売段階	47.6	51.3	150.0
	26年産米	0.0	18.5	126.9
	1年古米(25年産)	45.6	31.1	22.0
	出荷段階	33.8	35.8	111.6
	26年産米	0.0	13.0	96.7
	1年古米(25年産)	33.6	22.6	14.7
	販売段階	13.8	15.5	38.4
	26年産米	0.0	5.6	30.1
	1年古米(25年産)	12.0	8.5	7.3
栃木	出荷＋販売段階	89.9	75.2	146.4
	26年産米	0.0	0.0	87.1
	1年古米(25年産)	88.1	74.0	58.6
	出荷段階	81.4	68.0	134.2
	26年産米	0.0	0.0	81.1
	1年古米(25年産)	80.8	67.6	53.0
	販売段階	8.5	7.2	12.2
	26年産米	0.0	0.0	5.9
	1年古米(25年産)	7.3	6.3	5.7
群馬	出荷＋販売段階	14.9	12.9	10.6
	26年産米	0.0	0.0	0.4
	1年古米(25年産)	14.1	12.2	9.6
	出荷段階	12.1	10.5	8.6
	26年産米	0.0	0.0	0.3
	1年古米(25年産)	12.1	10.5	8.3
	販売段階	2.9	2.4	2.0
	26年産米	0.0	0.0	0.1
	1年古米(25年産)	2.0	1.7	1.3
埼玉	出荷＋販売段階	5.7	4.0	12.6
	26年産米	0.0	0.2	10.1
	1年古米(25年産)	5.4	3.6	2.4
	出荷段階	4.2	2.7	10.9
	26年産米	0.0	0.1	9.3
	1年古米(25年産)	4.2	2.5	1.6
	販売段階	1.4	1.3	1.7
	26年産米	0.0	0.1	0.8
	1年古米(25年産)	1.3	1.1	0.8
千葉	出荷＋販売段階	33.4	95.6	179.4
	26年産米	0.0	73.4	162.8
	1年古米(25年産)	32.5	21.3	15.8
	出荷段階	27.2	87.0	167.8
	26年産米	0.0	70.1	155.0
	1年古米(25年産)	27.2	16.9	12.8
	販売段階	6.2	8.6	11.6
	26年産米	0.0	3.3	7.8
	1年古米(25年産)	5.3	4.5	3.1

（単位：玄米千トン）

		26年7月	8月	9月
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0
神奈川	出荷＋販売段階	0.4	0.3	0.4
	26年産米	0.0	0.0	0.2
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.1
	出荷段階	0.4	0.3	0.3
	26年産米	0.0	0.0	0.2
	1年古米(25年産)	0.4	0.3	0.1
	販売段階	0.0	0.0	0.0
	26年産米	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.0	0.0	0.0
山梨	出荷＋販売段階	2.6	2.1	2.3
	26年産米	0.0	0.0	0.6
	1年古米(25年産)	2.5	2.0	1.6
	出荷段階	2.3	1.9	2.1
	26年産米	0.0	0.0	0.6
	1年古米(25年産)	2.2	1.8	1.4
	販売段階	0.3	0.3	0.2
	26年産米	0.0	0.0	0.0
	1年古米(25年産)	0.2	0.3	0.2
長野	出荷＋販売段階	23.3	16.6	27.2
	26年産米	0.0	0.0	15.8
	1年古米(25年産)	21.7	15.4	10.7
	出荷段階	18.5	12.7	22.9
	26年産米	0.0	0.0	14.8
	1年古米(25年産)	18.5	12.7	8.1
	販売段階	4.7	3.9	4.3
	26年産米	0.0	0.0	1.0
	1年古米(25年産)	3.2	2.7	2.6
静岡	出荷＋販売段階	2.7	3.6	14.7
	26年産米	0.0	1.9	13.6
	1年古米(25年産)	2.6	1.7	1.0
	出荷段階	1.9	2.4	10.4
	26年産米	0.0	1.2	9.8
	1年古米(25年産)	1.9	1.2	0.6
	販売段階	0.7	1.3	4.3
	26年産米	0.0	0.7	3.8
	1年古米(25年産)	0.6	0.5	0.4
新潟	出荷＋販売段階	58.7	32.8	206.5
	26年産米	0.0	0.2	187.6
	1年古米(25年産)	49.6	25.3	12.9
	出荷段階	45.3	23.2	191.4
	26年産米	0.0	0.2	178.2
	1年古米(25年産)	40.1	18.6	9.4
	販売段階	13.4	9.6	15.1
	26年産米	0.0	0.0	9.4
	1年古米(25年産)	9.6	6.7	3.6

（単位：玄米千トン）

		26年7月	8月	9月
富山	出荷＋販売段階	28.0	19.1	86.1
	26年産米	0.0	0.2	72.1
	1年古米(25年産)	27.1	18.1	13.4
	出荷段階	23.2	15.4	80.9
	26年産米	0.0	0.1	69.5
	1年古米(25年産)	23.0	15.2	11.3
	販売段階	4.8	3.7	5.2
	26年産米	0.0	0.1	2.6
	1年古米(25年産)	4.1	2.9	2.1
石川	出荷＋販売段階	13.2	10.3	56.8
	26年産米	0.0	1.9	51.0
	1年古米(25年産)	13.0	8.3	5.7
	出荷段階	11.2	7.9	40.8
	26年産米	0.0	0.9	35.9
	1年古米(25年産)	11.1	6.9	4.9
	販売段階	1.9	2.4	16.0
	26年産米	0.0	0.9	15.1
	1年古米(25年産)	1.9	1.4	0.9
福井	出荷＋販売段階	18.3	16.3	44.8
	26年産米	0.0	2.6	34.4
	1年古米(25年産)	17.5	13.2	10.0
	出荷段階	14.5	11.8	38.4
	26年産米	0.0	1.5	30.6
	1年古米(25年産)	14.5	10.3	7.8
	販売段階	3.8	4.5	6.4
	26年産米	0.0	1.1	3.7
	1年古米(25年産)	3.0	2.8	2.2
岐阜	出荷＋販売段階	16.2	13.4	14.9
	26年産米	0.0	0.4	4.5
	1年古米(25年産)	14.6	11.8	9.6
	出荷段階	12.5	10.2	11.6
	26年産米	0.0	0.2	4.0
	1年古米(25年産)	11.9	9.6	7.6
	販売段階	3.7	3.2	3.3
	26年産米	0.0	0.2	0.5
	1年古米(25年産)	2.7	2.2	2.0
愛知	出荷＋販売段階	16.2	13.9	19.5
	26年産米	0.0	1.3	9.8
	1年古米(25年産)	15.0	11.7	9.0
	出荷段階	13.4	11.4	17.1
	26年産米	0.0	1.0	9.1
	1年古米(25年産)	13.3	10.4	7.9
	販売段階	2.8	2.5	2.4
	26年産米	0.0	0.3	0.8
	1年古米(25年産)	1.7	1.3	1.1
三重	出荷＋販売段階	7.4	11.0	42.6
	26年産米	0.0	6.5	38.9
	1年古米(25年産)	6.8	4.0	3.4
	出荷段階	4.9	6.9	36.7
	26年産米	0.0	4.3	34.5
	1年古米(25年産)	4.8	2.6	2.2
	販売段階	2.5	4.1	5.9
	26年産米	0.0	2.3	4.4
	1年古米(25年産)	2.0	1.4	1.2

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
　　2　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
　　3　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
　　4　在庫数量は、年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、内訳（26年産米と１年古米（25年産））の計と一致しない場合がある。
　　6　米穀機構の買入数量（35万トン）は、26年７月以降の在庫に含まれていない。

（滋賀から沖縄まで）

（単位：玄米千トン）

			26年 7月	8月	9月
滋賀	出荷＋販売段階		23.7	18.9	53.8
		26年産米	0.0	0.7	39.6
		1年古米（25年産）	22.7	17.4	13.5
	出荷段階		19.9	14.8	47.4
		26年産米	0.0	0.5	37.6
		1年古米（25年産）	19.7	14.1	9.7
	販売段階		3.8	4.1	6.4
		26年産米	0.0	0.2	2.0
		1年古米（25年産）	3.0	3.3	3.9
京都	出荷＋販売段階		3.4	2.3	7.8
		26年産米	0.0	0.0	6.4
		1年古米（25年産）	3.2	2.1	1.3
	出荷段階		2.7	1.7	6.8
		26年産米	0.0	0.0	5.8
		1年古米（25年産）	2.7	1.6	0.9
	販売段階		0.8	0.7	1.1
		26年産米	0.0	0.0	0.5
		1年古米（25年産）	0.6	0.5	0.4
大阪	出荷＋販売段階		0.6	0.5	0.5
		26年産米	0.0	0.0	0.2
		1年古米（25年産）	0.4	0.3	0.2
	出荷段階		0.5	0.4	0.4
		26年産米	0.0	0.0	0.2
		1年古米（25年産）	0.3	0.2	0.1
	販売段階		0.1	0.1	0.1
		26年産米	0.0	0.0	0.0
		1年古米（25年産）	0.1	0.1	0.1
兵庫	出荷＋販売段階		11.5	7.8	17.8
		26年産米	0.0	0.0	13.2
		1年古米（25年産）	11.2	7.5	4.4
	出荷段階		9.0	5.7	15.5
		26年産米	0.0	0.0	12.3
		1年古米（25年産）	9.0	5.7	3.2
	販売段階		2.5	2.1	2.3
		26年産米	0.0	0.0	0.9
		1年古米（25年産）	2.2	1.9	1.2
奈良	出荷＋販売段階		4.5	3.8	3.7
		26年産米	0.0	0.0	1.1
		1年古米（25年産）	4.2	3.5	2.5
	出荷段階		3.8	3.3	3.2
		26年産米	0.0	0.0	1.1
		1年古米（25年産）	3.8	3.3	2.1
	販売段階		0.6	0.4	0.5
		26年産米	0.0	0.0	0.0
		1年古米（25年産）	0.4	0.2	0.4
和歌山	出荷＋販売段階		0.7	0.6	0.5
		26年産米	0.0	0.0	0.0
		1年古米（25年産）	0.7	0.5	0.4
	出荷段階		0.5	0.5	0.4
		26年産米	0.0	0.0	0.0
		1年古米（25年産）	0.5	0.5	0.4
	販売段階		0.2	0.1	0.1
		26年産米	0.0	0.0	0.0
		1年古米（25年産）	0.1	0.1	0.1
鳥取	出荷＋販売段階		11.6	7.4	13.3
		26年産米	0.0	0.0	8.0
		1年古米（25年産）	11.5	7.4	5.2
	出荷段階		9.4	5.5	11.6
		26年産米	0.0	0.0	7.6
		1年古米（25年産）	9.4	5.5	4.0
	販売段階		2.2	1.9	1.6
		26年産米	0.0	0.0	0.4
		1年古米（25年産）	2.1	1.8	1.1

（単位：玄米千トン）

			26年 7月	8月	9月
島根	出荷＋販売段階		12.5	9.8	23.2
		26年産米	0.0	0.2	15.2
		1年古米（25年産）	11.5	8.9	7.4
	出荷段階		10.3	7.9	20.8
		26年産米	0.0	0.1	14.5
		1年古米（25年産）	10.3	7.7	6.3
	販売段階		2.2	2.0	2.4
		26年産米	0.0	0.0	0.8
		1年古米（25年産）	1.2	1.1	1.0
岡山	出荷＋販売段階		21.9	15.9	18.8
		26年産米	0.0	0.0	6.9
		1年古米（25年産）	21.6	15.6	11.7
	出荷段階		19.3	14.1	16.7
		26年産米	0.0	0.0	6.4
		1年古米（25年産）	19.2	14.0	10.1
	販売段階		2.7	1.8	2.1
		26年産米	0.0	0.0	0.5
		1年古米（25年産）	2.4	1.7	1.5
広島	出荷＋販売段階		11.9	8.5	19.3
		26年産米	0.0	0.1	14.4
		1年古米（25年産）	11.6	8.3	4.7
	出荷段階		8.5	5.3	16.0
		26年産米	0.0	0.1	13.4
		1年古米（25年産）	8.4	5.2	2.6
	販売段階		3.4	3.2	3.3
		26年産米	0.0	0.0	1.0
		1年古米（25年産）	3.2	3.1	2.1
山口	出荷＋販売段階		13.9	10.6	18.4
		26年産米	0.0	0.4	11.3
		1年古米（25年産）	13.4	10.0	6.9
	出荷段階		12.4	9.3	17.4
		26年産米	0.0	0.2	11.0
		1年古米（25年産）	12.3	9.0	6.3
	販売段階		1.5	1.2	1.0
		26年産米	0.0	0.1	0.3
		1年古米（25年産）	1.2	1.0	0.7
徳島	出荷＋販売段階		3.3	9.2	14.6
		26年産米	0.0	7.3	13.4
		1年古米（25年産）	2.7	1.5	0.9
	出荷段階		1.5	7.1	11.4
		26年産米	0.0	6.4	11.0
		1年古米（25年産）	1.5	0.7	0.4
	販売段階		1.9	2.1	3.3
		26年産米	0.0	0.9	2.5
		1年古米（25年産）	1.3	0.8	0.5
香川	出荷＋販売段階		9.9	8.1	10.2
		26年産米	0.0	0.2	3.8
		1年古米（25年産）	9.1	7.1	5.7
	出荷段階		8.2	6.3	8.2
		26年産米	0.0	0.2	3.6
		1年古米（25年産）	8.2	6.2	4.6
	販売段階		1.8	1.8	2.0
		26年産米	0.0	0.0	0.2
		1年古米（25年産）	0.9	0.9	1.2
愛媛	出荷＋販売段階		5.4	5.8	8.6
		26年産米	0.0	1.8	5.2
		1年古米（25年産）	5.4	4.0	3.4
	出荷段階		5.1	5.4	8.1
		26年産米	0.0	1.8	5.0
		1年古米（25年産）	5.1	3.7	3.1
	販売段階		0.4	0.4	0.4
		26年産米	0.0	0.1	0.1
		1年古米（25年産）	0.3	0.3	0.3

（単位：玄米千トン）

			26年 7月	8月	9月
高知	出荷＋販売段階		4.3	11.2	10.6
		26年産米	0.7	8.2	8.1
		1年古米（25年産）	2.8	2.2	1.8
	出荷段階		2.4	7.2	6.8
		26年産米	0.5	5.7	5.6
		1年古米（25年産）	1.8	1.4	1.1
	販売段階		1.9	4.0	3.8
		26年産米	0.1	2.5	2.5
		1年古米（25年産）	0.9	0.7	0.7
福岡	出荷＋販売段階		17.4	12.2	18.2
		26年産米	0.0	0.1	10.4
		1年古米（25年産）	16.9	11.7	7.5
	出荷段階		15.3	10.5	14.3
		26年産米	0.0	0.1	7.6
		1年古米（25年産）	15.2	10.4	6.5
	販売段階		2.1	1.7	4.0
		26年産米	0.0	0.0	2.7
		1年古米（25年産）	1.7	1.4	0.9
佐賀	出荷＋販売段階		10.3	7.9	7.8
		26年産米	0.0	0.4	2.9
		1年古米（25年産）	10.1	7.3	4.7
	出荷段階		8.8	6.5	6.4
		26年産米	0.0	0.3	2.6
		1年古米（25年産）	8.8	6.2	3.8
	販売段階		1.4	1.4	1.3
		26年産米	0.0	0.1	0.3
		1年古米（25年産）	1.3	1.1	0.9
長崎	出荷＋販売段階		3.4	2.9	3.2
		26年産米	0.0	0.3	1.6
		1年古米（25年産）	3.4	2.6	1.6
	出荷段階		3.2	2.6	2.8
		26年産米	0.0	0.2	1.4
		1年古米（25年産）	3.2	2.4	1.4
	販売段階		0.3	0.3	0.4
		26年産米	0.0	0.0	0.2
		1年古米（25年産）	0.2	0.2	0.2
熊本	出荷＋販売段階		17.9	16.5	14.6
		26年産米	0.0	3.4	6.4
		1年古米（25年産）	17.1	12.6	7.8
	出荷段階		13.7	12.1	10.1
		26年産米	0.0	2.3	4.4
		1年古米（25年産）	13.6	9.8	5.7
	販売段階		4.2	4.4	4.5
		26年産米	0.0	1.1	2.0
		1年古米（25年産）	3.5	2.7	2.2
大分	出荷＋販売段階		8.6	7.0	5.5
		26年産米	0.0	0.4	1.0
		1年古米（25年産）	7.6	5.6	3.7
	出荷段階		6.7	5.2	3.7
		26年産米	0.0	0.3	0.7
		1年古米（25年産）	6.0	4.3	2.6
	販売段階		1.9	1.8	1.8
		26年産米	0.0	0.1	0.3
		1年古米（25年産）	1.5	1.3	1.1
宮崎	出荷＋販売段階		8.0	8.5	5.5
		26年産米	2.8	4.8	2.9
		1年古米（25年産）	4.2	3.0	2.2
	出荷段階		5.9	5.8	3.7
		26年産米	2.4	3.3	1.9
		1年古米（25年産）	3.3	2.4	1.8
	販売段階		2.1	2.6	1.9
		26年産米	0.4	1.5	1.0
		1年古米（25年産）	0.8	0.6	0.4

（単位：玄米千トン）

			26年 7月	8月	9月
鹿児島	出荷＋販売段階		10.4	14.8	11.2
		26年産米	0.6	6.7	4.8
		1年古米（25年産）	8.8	7.2	5.6
	出荷段階		7.0	8.5	6.0
		26年産米	0.3	3.0	1.9
		1年古米（25年産）	6.6	5.4	4.1
	販売段階		3.4	6.3	5.1
		26年産米	0.3	3.7	2.9
		1年古米（25年産）	2.2	1.7	1.4
沖縄	出荷＋販売段階		0.3	0.3	0.2
		26年産米	0.3	0.3	0.2
		1年古米（25年産）	0.0	0.0	0.0
	出荷段階		0.2	0.2	0.1
		26年産米	0.2	0.2	0.1
		1年古米（25年産）	0.0	0.0	0.0
	販売段階		0.1	0.1	0.0
		26年産米	0.1	0.1	0.0
		1年古米（25年産）	0.0	0.0	0.0

※本表の注意点については、前頁の脚注を参照

（３）産地別民間在庫の推移（うるち米、平成26年６月末まで）（速報）

（北海道から埼玉まで）

（単位：玄米千トン）

産地	区分	26年2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	320.1	273.0	235.6	197.2	160.6
	25年産米	305.2	262.7	227.7	190.9	155.8
	1年古米(24年産)	14.8	10.3	7.9	6.3	4.7
	出荷段階	266.2	225.3	194.2	161.8	129.4
	25年産米	261.8	222.3	191.9	159.9	128.0
	1年古米(24年産)	4.5	3.0	2.4	1.9	1.4
	販売段階	53.9	47.8	41.4	35.4	31.2
	25年産米	43.5	40.5	35.8	31.0	27.8
	1年古米(24年産)	10.3	7.3	5.5	4.4	3.3
青森	出荷＋販売段階	159.8	128.1	121.5	109.3	101.3
	25年産米	152.4	122.7	117.6	106.3	98.9
	1年古米(24年産)	7.2	5.3	4.0	3.0	2.4
	出荷段階	145.6	103.5	97.1	88.7	79.1
	25年産米	145.3	103.3	96.9	88.6	79.0
	1年古米(24年産)	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
	販売段階	14.1	24.6	24.5	20.6	22.3
	25年産米	7.1	19.4	20.6	17.7	19.9
	1年古米(24年産)	6.9	5.1	3.8	2.9	2.3
岩手	出荷＋販売段階	127.7	120.4	104.5	90.1	77.3
	25年産米	122.1	116.3	101.6	87.8	75.8
	1年古米(24年産)	5.5	4.0	3.0	2.3	1.6
	出荷段階	118.4	105.3	92.2	80.8	70.0
	25年産米	116.3	103.9	91.1	80.0	69.5
	1年古米(24年産)	2.1	1.4	1.0	0.8	0.5
	販売段階	9.3	15.1	12.4	9.4	7.3
	25年産米	5.8	12.5	10.4	7.8	6.2
	1年古米(24年産)	3.4	2.6	1.9	1.5	1.1
宮城	出荷＋販売段階	178.4	179.5	159.8	139.1	120.4
	25年産米	168.6	173.5	155.2	135.6	117.7
	1年古米(24年産)	9.7	6.0	4.5	3.5	2.6
	出荷段階	164.7	157.6	141.3	125.6	108.7
	25年産米	161.0	155.8	139.9	124.6	107.9
	1年古米(24年産)	3.7	1.8	1.3	1.0	0.8
	販売段階	13.7	21.9	18.5	13.5	11.7
	25年産米	7.6	17.7	15.2	10.9	9.8
	1年古米(24年産)	6.0	4.2	3.2	2.5	1.9
秋田	出荷＋販売段階	259.5	235.0	209.8	185.2	161.4
	25年産米	238.1	218.5	196.5	173.9	151.8
	1年古米(24年産)	21.1	16.2	13.1	11.1	9.5
	出荷段階	241.3	214.1	192.4	171.7	149.9
	25年産米	228.4	204.3	184.1	164.3	143.2
	1年古米(24年産)	12.8	9.8	8.2	7.3	6.7
	販売段階	18.2	21.0	17.4	13.5	11.5
	25年産米	9.7	14.2	12.4	9.6	8.6
	1年古米(24年産)	8.3	6.5	4.9	3.8	2.7

資料：　農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：１　水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

２　出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上若しくは年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

３　販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

４　各月の在庫数量は、年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、内訳（各年産米と１年古米）の計と一致しない場合がある。

（単位：玄米千トン）

産地	区分	26年2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	246.7	206.8	184.0	169.2	153.2
	25年産米	230.9	194.4	173.8	160.9	146.4
	1年古米(24年産)	15.4	12.1	9.9	8.0	6.6
	出荷段階	230.9	189.9	168.6	156.2	137.9
	25年産米	223.6	184.2	163.9	152.3	134.7
	1年古米(24年産)	7.3	5.7	4.7	3.8	3.2
	販売段階	15.8	16.9	15.4	13.1	15.3
	25年産米	7.3	10.2	9.8	8.6	11.7
	1年古米(24年産)	8.1	6.4	5.3	4.2	3.4
福島	出荷＋販売段階	200.5	184.5	168.7	145.5	122.6
	25年産米	171.2	161.8	150.6	130.8	110.8
	1年古米(24年産)	28.7	22.3	17.7	14.5	11.7
	出荷段階	169.2	157.5	144.4	125.3	104.4
	25年産米	152.1	145.2	135.5	118.3	99.9
	1年古米(24年産)	16.9	12.2	8.9	6.9	4.5
	販売段階	31.3	27.0	24.3	20.2	18.2
	25年産米	19.1	16.6	15.2	12.5	10.9
	1年古米(24年産)	11.8	10.1	8.9	7.5	7.2
茨城	出荷＋販売段階	126.9	112.1	98.6	82.9	65.7
	25年産米	120.8	107.3	94.9	79.7	63.1
	1年古米(24年産)	6.0	4.7	3.7	3.2	2.5
	出荷段階	97.0	82.4	73.0	61.9	48.5
	25年産米	96.3	81.9	72.6	61.6	48.2
	1年古米(24年産)	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3
	販売段階	29.9	29.7	25.5	21.0	17.2
	25年産米	24.5	25.4	22.3	18.1	14.9
	1年古米(24年産)	5.3	4.2	3.2	2.8	2.2
栃木	出荷＋販売段階	195.1	175.9	163.4	147.5	132.2
	25年産米	186.8	170.3	159.5	144.8	130.1
	1年古米(24年産)	8.3	5.6	3.8	2.7	2.1
	出荷段階	176.7	159.7	149.0	135.3	122.4
	25年産米	173.7	157.9	147.7	134.5	121.8
	1年古米(24年産)	2.9	1.9	1.3	0.8	0.6
	販売段階	18.4	16.2	14.4	12.2	9.8
	25年産米	13.0	12.4	11.8	10.3	8.3
	1年古米(24年産)	5.4	3.7	2.5	1.9	1.5
群馬	出荷＋販売段階	36.9	33.2	27.9	25.1	23.1
	25年産米	34.5	31.2	26.2	23.7	22.0
	1年古米(24年産)	2.4	1.9	1.7	1.5	1.1
	出荷段階	31.7	28.2	23.6	21.2	19.7
	25年産米	31.7	28.1	23.6	21.2	19.7
	1年古米(24年産)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	5.2	5.0	4.3	3.9	3.4
	25年産米	2.8	3.1	2.6	2.4	2.2
	1年古米(24年産)	2.4	1.9	1.7	1.5	1.1
埼玉	出荷＋販売段階	27.5	24.8	21.5	18.5	16.6
	25年産米	25.2	23.4	20.7	17.8	16.1
	1年古米(24年産)	2.3	1.4	0.8	0.7	0.4
	出荷段階	24.1	21.7	19.1	16.4	14.9
	25年産米	23.4	21.3	18.9	16.3	14.8
	1年古米(24年産)	0.7	0.4	0.2	0.2	0.1
	販売段階	3.4	3.1	2.4	2.0	1.7
	25年産米	1.8	2.1	1.8	1.5	1.4
	1年古米(24年産)	1.6	0.9	0.6	0.5	0.3

（千葉から愛知まで）

（単位：玄米千トン）

		26年2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	117.9	100.7	85.4	69.9	54.4
	25年産米	113.1	97.3	83.4	68.3	53.2
	1年古米（24年産）	4.8	3.4	2.0	1.5	1.2
	出荷段階	101.7	85.1	73.0	59.9	46.4
	25年産米	100.4	84.3	72.8	59.8	46.4
	1年古米（24年産）	1.3	0.7	0.2	0.1	0.1
	販売段階	16.2	15.6	12.4	10.0	7.9
	25年産米	12.7	12.9	10.6	8.6	6.8
	1年古米（24年産）	3.5	2.7	1.8	1.4	1.1
東京	出荷＋販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
神奈川	出荷＋販売段階	1.2	1.0	0.8	0.7	0.5
	25年産米	1.1	1.0	0.8	0.7	0.5
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階	1.2	1.0	0.8	0.7	0.5
	25年産米	1.1	1.0	0.8	0.7	0.5
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山梨	出荷＋販売段階	5.0	4.5	4.0	3.5	3.0
	25年産米	4.7	4.2	3.8	3.3	2.9
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	出荷段階	4.5	4.0	3.6	3.2	2.7
	25年産米	4.3	3.8	3.4	3.0	2.6
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	販売段階	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3
	25年産米	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長野	出荷＋販売段階	66.2	57.8	51.8	45.3	39.6
	25年産米	62.5	54.9	49.3	43.2	37.7
	1年古米（24年産）	3.6	2.8	2.3	1.9	1.8
	出荷段階	57.5	49.9	44.7	39.5	34.1
	25年産米	57.3	49.7	44.6	39.4	34.0
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
	販売段階	8.7	7.9	7.1	5.8	5.5
	25年産米	5.2	5.2	4.8	3.8	3.7
	1年古米（24年産）	3.4	2.6	2.2	1.8	1.7
静岡	出荷＋販売段階	11.6	9.8	8.3	6.6	4.6
	25年産米	11.4	9.7	8.2	6.4	4.5
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	9.1	8.1	6.9	5.5	3.8
	25年産米	9.1	8.1	6.9	5.5	3.8
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	2.5	1.7	1.4	1.0	0.8
	25年産米	2.3	1.5	1.2	0.9	0.7
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1

※本表の注意点については、前頁の脚注を参照

（単位：玄米千トン）

		26年2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	254.6	212.6	183.4	153.2	125.5
	25年産米	221.4	185.6	163.0	138.5	114.0
	1年古米（24年産）	31.2	25.7	19.8	14.3	11.1
	出荷段階	225.9	187.5	162.3	136.3	110.5
	25年産米	208.7	173.3	151.3	128.1	103.8
	1年古米（24年産）	16.6	13.8	10.9	8.1	6.7
	販売段階	28.7	25.1	21.1	16.9	15.0
	25年産米	12.7	12.2	11.7	10.3	10.1
	1年古米（24年産）	14.7	11.9	9.0	6.2	4.5
富山	出荷＋販売段階	85.0	74.6	65.2	54.7	44.8
	25年産米	81.8	72.1	63.0	53.1	43.4
	1年古米（24年産）	3.2	2.5	2.1	1.6	1.3
	出荷段階	79.0	65.6	56.9	47.9	39.4
	25年産米	77.8	64.8	56.3	47.5	39.1
	1年古米（24年産）	1.2	0.8	0.6	0.4	0.3
	販売段階	6.1	9.0	8.2	6.8	5.4
	25年産米	4.0	7.2	6.7	5.6	4.4
	1年古米（24年産）	2.0	1.7	1.5	1.2	1.0
石川	出荷＋販売段階	48.7	42.1	36.1	30.0	23.4
	25年産米	47.5	41.2	35.6	29.8	23.2
	1年古米（24年産）	1.2	0.8	0.4	0.3	0.2
	出荷段階	40.9	37.0	32.4	27.1	21.0
	25年産米	40.3	36.5	32.3	27.0	20.9
	1年古米（24年産）	0.6	0.4	0.2	0.1	0.1
	販売段階	7.8	5.1	3.6	2.9	2.4
	25年産米	7.2	4.7	3.4	2.8	2.3
	1年古米（24年産）	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1
福井	出荷＋販売段階	52.1	45.8	40.4	34.4	29.4
	25年産米	49.0	43.4	38.6	33.0	28.3
	1年古米（24年産）	3.0	2.4	1.7	1.4	1.1
	出荷段階	43.9	38.9	35.0	29.9	25.2
	25年産米	43.8	38.8	35.0	29.9	25.2
	1年古米（24年産）	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
	販売段階	8.2	6.9	5.4	4.5	4.2
	25年産米	5.2	4.6	3.7	3.1	3.1
	1年古米（24年産）	2.9	2.3	1.7	1.4	1.1
岐阜	出荷＋販売段階	38.4	36.1	32.1	28.4	26.5
	25年産米	31.7	30.6	28.0	25.5	24.2
	1年古米（24年産）	6.7	5.5	4.0	2.9	2.3
	出荷段階	31.4	29.2	27.0	24.3	21.9
	25年産米	28.2	26.6	25.1	23.1	20.9
	1年古米（24年産）	3.2	2.6	1.9	1.3	1.0
	販売段階	6.9	6.9	5.1	4.0	4.6
	25年産米	3.4	4.0	3.0	2.5	3.3
	1年古米（24年産）	3.5	2.9	2.1	1.6	1.3
愛知	出荷＋販売段階	37.5	33.7	30.9	27.0	23.5
	25年産米	34.3	30.9	28.6	25.1	21.9
	1年古米（24年産）	3.2	2.8	2.3	1.8	1.5
	出荷段階	32.2	28.8	26.7	23.5	20.2
	25年産米	32.0	28.6	26.5	23.3	20.1
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1
	販売段階	5.3	4.9	4.2	3.5	3.3
	25年産米	2.3	2.3	2.0	1.8	1.9
	1年古米（24年産）	3.1	2.7	2.1	1.7	1.4

（三重から山口まで）

（単位：玄米千トン）

		26年2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	40.5	32.6	28.1	22.8	16.8
	25年産米	38.3	30.5	26.5	21.6	16.1
	1年古米（24年産）	2.3	2.2	1.5	1.1	0.7
	出荷段階	35.0	27.6	23.7	19.1	14.0
	25年産米	33.9	26.9	23.2	18.8	13.9
	1年古米（24年産）	1.1	0.8	0.5	0.3	0.2
	販売段階	5.6	5.0	4.4	3.6	2.8
	25年産米	4.4	3.6	3.3	2.8	2.2
	1年古米（24年産）	1.2	1.4	1.1	0.8	0.6
滋賀	出荷＋販売段階	55.1	55.0	49.5	43.4	37.2
	25年産米	52.5	52.9	47.8	42.0	35.9
	1年古米（24年産）	2.6	2.1	1.7	1.4	1.2
	出荷段階	49.1	49.5	44.7	39.3	32.7
	25年産米	48.2	48.8	44.2	38.9	32.4
	1年古米（24年産）	0.9	0.7	0.5	0.3	0.3
	販売段階	6.0	5.5	4.9	4.2	4.4
	25年産米	4.3	4.1	3.6	3.1	3.5
	1年古米（24年産）	1.7	1.4	1.3	1.1	0.9
京都	出荷＋販売段階	12.9	11.1	9.5	7.3	5.5
	25年産米	12.2	10.5	9.0	6.9	5.2
	1年古米（24年産）	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3
	出荷段階	11.2	9.6	8.1	6.2	4.4
	25年産米	11.2	9.6	8.1	6.2	4.4
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.6	1.5	1.4	1.1	1.1
	25年産米	1.0	1.0	0.9	0.7	0.8
	1年古米（24年産）	0.6	0.5	0.4	0.4	0.3
大阪	出荷＋販売段階	1.5	1.2	1.0	0.9	0.7
	25年産米	1.3	1.0	0.8	0.7	0.5
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	出荷段階	1.4	1.1	1.0	0.8	0.6
	25年産米	1.1	0.9	0.8	0.6	0.4
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	販売段階	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
	25年産米	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
兵庫	出荷＋販売段階	29.4	25.7	22.6	19.0	15.8
	25年産米	28.6	25.2	22.2	18.7	15.4
	1年古米（24年産）	0.8	0.4	0.3	0.3	0.4
	出荷段階	25.8	23.1	19.8	16.5	13.0
	25年産米	25.7	23.0	19.7	16.4	13.0
	1年古米（24年産）	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	3.5	2.6	2.8	2.5	2.8
	25年産米	2.9	2.2	2.5	2.3	2.4
	1年古米（24年産）	0.7	0.4	0.3	0.2	0.4
奈良	出荷＋販売段階	7.9	7.0	6.4	5.7	5.1
	25年産米	7.2	6.4	5.9	5.3	4.8
	1年古米（24年産）	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4
	出荷段階	6.5	5.8	5.3	4.8	4.4
	25年産米	6.5	5.8	5.3	4.8	4.4
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	1.4	1.2	1.0	0.9	0.8
	25年産米	0.7	0.7	0.6	0.6	0.4
	1年古米（24年産）	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4

（単位：玄米千トン）

		26年2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	1.4	1.3	1.2	1.0	0.9
	25年産米	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
	出荷段階	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6
	25年産米	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	0.5	0.5	0.4	0.4	0.3
	25年産米	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
鳥取	出荷＋販売段階	32.1	27.2	23.2	19.7	16.6
	25年産米	30.7	26.1	22.5	19.3	16.4
	1年古米（24年産）	1.4	1.0	0.7	0.3	0.2
	出荷段階	27.3	23.2	20.1	17.0	14.2
	25年産米	27.1	23.1	20.0	16.9	14.2
	1年古米（24年産）	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
	販売段階	4.8	3.9	3.1	2.7	2.3
	25年産米	3.6	3.0	2.5	2.4	2.2
	1年古米（24年産）	1.1	0.9	0.6	0.3	0.2
島根	出荷＋販売段階	34.7	31.3	28.4	26.0	22.6
	25年産米	31.8	28.9	26.2	24.3	21.2
	1年古米（24年産）	2.9	2.4	2.2	1.7	1.4
	出荷段階	30.7	27.3	24.8	22.7	19.7
	25年産米	30.5	27.1	24.6	22.7	19.7
	1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
	販売段階	4.0	4.1	3.6	3.3	2.9
	25年産米	1.2	1.8	1.5	1.6	1.5
	1年古米（24年産）	2.7	2.3	2.0	1.6	1.4
岡山	出荷＋販売段階	45.7	41.5	37.3	32.6	28.0
	25年産米	43.5	40.1	36.4	32.1	27.6
	1年古米（24年産）	2.2	1.3	0.9	0.5	0.4
	出荷段階	39.7	36.1	32.7	28.9	24.9
	25年産米	38.7	35.5	32.4	28.8	24.8
	1年古米（24年産）	1.0	0.5	0.3	0.1	0.1
	販売段階	6.1	5.4	4.6	3.7	3.1
	25年産米	4.8	4.6	4.0	3.3	2.8
	1年古米（24年産）	1.3	0.8	0.5	0.3	0.3
広島	出荷＋販売段階	31.6	27.6	24.3	20.6	16.6
	25年産米	29.7	26.4	23.5	20.1	16.3
	1年古米（24年産）	1.9	1.2	0.8	0.5	0.3
	出荷段階	26.8	20.9	18.3	15.6	12.9
	25年産米	26.8	20.9	18.3	15.5	12.9
	1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階	4.8	6.6	5.9	5.0	3.7
	25年産米	2.9	5.5	5.2	4.5	3.4
	1年古米（24年産）	1.9	1.1	0.7	0.5	0.3
山口	出荷＋販売段階	33.8	31.4	27.7	24.2	20.7
	25年産米	31.7	29.8	26.5	23.4	20.2
	1年古米（24年産）	2.1	1.5	1.3	0.8	0.6
	出荷段階	30.9	28.0	25.0	22.5	19.1
	25年産米	30.1	27.4	24.5	22.2	18.9
	1年古米（24年産）	0.8	0.6	0.5	0.3	0.2
	販売段階	2.9	3.3	2.8	1.7	1.6
	25年産米	1.6	2.4	2.0	1.2	1.2
	1年古米（24年産）	1.3	0.9	0.8	0.5	0.4

※本表の注意点については、前々頁の脚注を参照

（徳島から沖縄まで）

（単位：玄米千トン）

			26年2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階		15.1	12.2	10.1	7.9	6.1
		25年産米	13.7	11.0	9.0	7.0	5.3
		1年古米（24年産）	1.4	1.2	1.1	0.9	0.8
	出荷段階		10.8	7.1	5.8	4.8	3.7
		25年産米	10.6	6.9	5.7	4.6	3.6
		1年古米（24年産）	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	販売段階		4.3	5.1	4.2	3.2	2.4
		25年産米	3.1	4.1	3.3	2.4	1.7
		1年古米（24年産）	1.2	1.1	0.9	0.8	0.7
香川	出荷＋販売段階		23.2	21.1	18.8	16.5	14.3
		25年産米	21.6	19.7	17.5	15.5	13.4
		1年古米（24年産）	1.6	1.4	1.2	1.0	0.9
	出荷段階		21.1	18.8	16.7	14.6	12.5
		25年産米	21.1	18.8	16.7	14.6	12.5
		1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階		2.1	2.3	2.1	1.9	1.9
		25年産米	0.6	0.8	0.8	0.9	1.0
		1年古米（24年産）	1.6	1.4	1.2	1.0	0.9
愛媛	出荷＋販売段階		12.8	11.1	9.7	8.3	7.0
		25年産米	11.6	10.2	9.0	7.8	6.8
		1年古米（24年産）	1.3	0.9	0.7	0.5	0.3
	出荷段階		11.3	9.9	8.7	7.5	6.5
		25年産米	11.3	9.9	8.7	7.5	6.5
		1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階		1.6	1.2	1.0	0.8	0.5
		25年産米	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3
		1年古米（24年産）	1.2	0.9	0.7	0.5	0.3
高知	出荷＋販売段階		8.0	7.3	6.5	5.5	4.6
		25年産米	6.4	6.2	5.4	4.5	3.7
		1年古米（24年産）	1.5	1.1	1.1	1.0	0.9
	出荷段階		4.3	4.4	3.8	3.2	2.5
		25年産米	4.2	4.3	3.7	3.1	2.4
		1年古米（24年産）	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	販売段階		3.7	2.9	2.7	2.4	2.1
		25年産米	2.3	1.9	1.7	1.5	1.3
		1年古米（24年産）	1.5	1.0	1.0	0.9	0.9
福岡	出荷＋販売段階		51.3	43.8	37.6	30.5	23.7
		25年産米	49.9	42.7	36.8	29.9	23.2
		1年古米（24年産）	1.3	1.1	0.8	0.6	0.5
	出荷段階		46.8	40.2	34.0	27.7	21.2
		25年産米	46.3	39.9	33.8	27.6	21.1
		1年古米（24年産）	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1
	販売段階		4.5	3.6	3.6	2.8	2.4
		25年産米	3.6	2.8	3.0	2.3	2.1
		1年古米（24年産）	0.9	0.8	0.6	0.4	0.3
佐賀	出荷＋販売段階		29.4	24.7	21.5	17.7	14.2
		25年産米	28.7	24.1	21.0	17.4	14.0
		1年古米（24年産）	0.7	0.5	0.5	0.3	0.2
	出荷段階		27.0	22.5	19.2	15.7	12.6
		25年産米	27.0	22.5	19.2	15.7	12.6
		1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階		2.4	2.2	2.2	2.0	1.6
		25年産米	1.7	1.6	1.8	1.6	1.4
		1年古米（24年産）	0.7	0.5	0.5	0.3	0.2

（単位：玄米千トン）

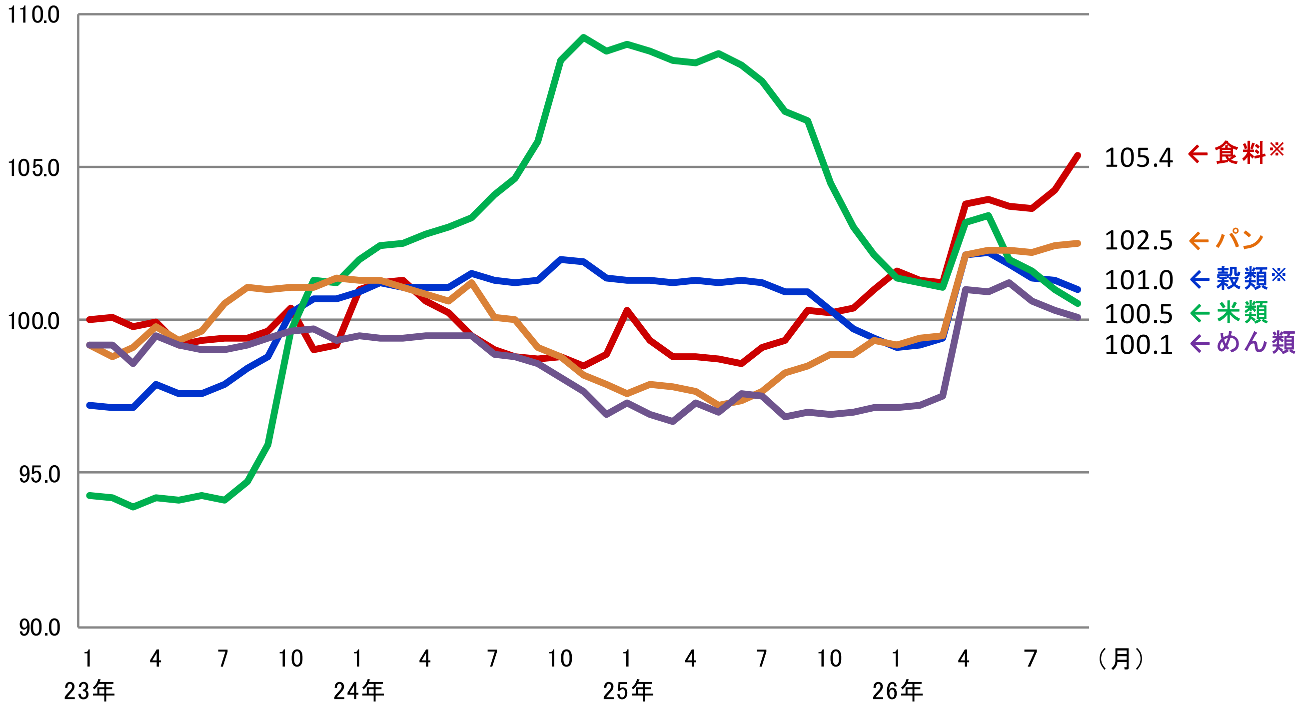
			26年2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階		9.3	7.9	6.9	5.9	4.8
		25年産米	8.9	7.8	6.8	5.9	4.8
		1年古米（24年産）	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0
	出荷段階		8.9	7.6	6.6	5.6	4.6
		25年産米	8.7	7.6	6.6	5.6	4.6
		1年古米（24年産）	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階		0.5	0.3	0.3	0.3	0.3
		25年産米	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2
		1年古米（24年産）	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0
熊本	出荷＋販売段階		49.7	42.6	37.6	30.8	25.3
		25年産米	46.2	39.9	35.4	29.1	24.2
		1年古米（24年産）	3.5	2.7	2.2	1.7	1.2
	出荷段階		39.2	33.6	29.6	24.5	20.1
		25年産米	38.9	33.5	29.5	24.3	20.1
		1年古米（24年産）	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0
	販売段階		10.5	9.0	7.9	6.3	5.2
		25年産米	7.2	6.5	5.9	4.8	4.1
		1年古米（24年産）	3.2	2.5	2.0	1.6	1.2
大分	出荷＋販売段階		21.4	18.3	16.0	13.7	11.3
		25年産米	19.1	16.5	14.4	12.3	10.1
		1年古米（24年産）	2.1	1.6	1.4	1.2	1.1
	出荷段階		17.4	14.9	13.0	11.2	9.2
		25年産米	16.0	13.8	12.1	10.3	8.4
		1年古米（24年産）	1.3	1.0	0.9	0.8	0.7
	販売段階		4.0	3.3	2.9	2.4	2.2
		25年産米	3.1	2.6	2.3	1.9	1.7
		1年古米（24年産）	0.8	0.6	0.5	0.4	0.4
宮崎	出荷＋販売段階		18.5	15.9	13.7	10.3	7.9
		25年産米	14.7	12.6	10.9	8.3	6.7
		1年古米（24年産）	3.8	3.3	2.8	2.0	1.2
	出荷段階		15.1	12.8	10.7	7.6	5.9
		25年産米	13.3	11.4	9.7	7.0	5.6
		1年古米（24年産）	1.7	1.4	1.0	0.6	0.3
	販売段階		3.4	3.1	3.0	2.7	2.0
		25年産米	1.3	1.3	1.3	1.3	1.1
		1年古米（24年産）	2.1	1.9	1.7	1.4	0.9
鹿児島	出荷＋販売段階		22.1	19.4	17.3	14.8	12.3
		25年産米	20.2	17.6	15.7	13.4	11.2
		1年古米（24年産）	1.9	1.8	1.6	1.4	1.1
	出荷段階		16.8	14.4	12.8	10.3	8.4
		25年産米	16.0	14.0	12.6	10.1	8.3
		1年古米（24年産）	0.8	0.4	0.3	0.2	0.1
	販売段階		5.3	5.0	4.4	4.5	3.9
		25年産米	4.2	3.6	3.1	3.3	2.9
		1年古米（24年産）	1.1	1.4	1.3	1.1	1.1
沖縄	出荷＋販売段階		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	出荷段階		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売段階		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		25年産米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		1年古米（24年産）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※本表の注意点については、前々々頁の脚注を参照

Ⅲ 小売・消費段階の動向

（１） 消費者物価指数の推移

（図）消費者物価指数の推移



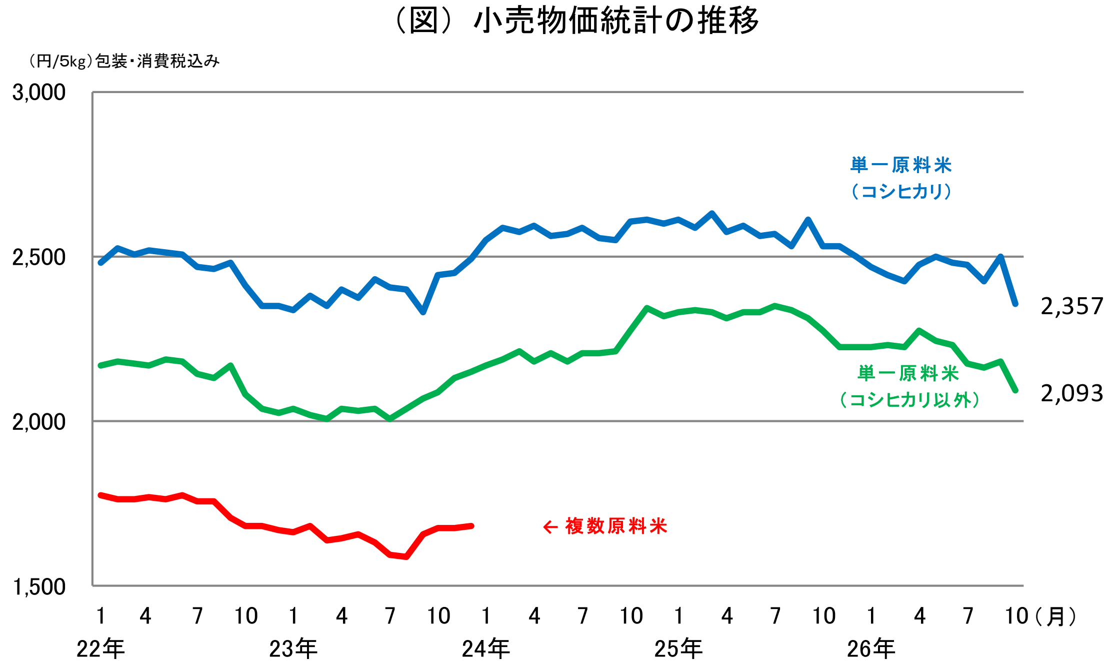
注：１ 図中の実線は、平成22年の平均価格を100とした数値となる。
２ 図中の数値は、平成26年9月の消費者物価指数となる。
３ 図中の食料とは穀類、魚介類、肉類等を、穀類とは米類、パン、めん類、他の穀類をいう。

（表）消費者物価指数の推移（対前年同月比）

	食料	対前年同月比	穀類	対前年同月比	米類	対前年同月比	うるち米	対前年同月比	パン	対前年同月比	めん類	対前年同月比
平成17年	96.8	▲0.9%	98.5	▲6.6%	109.8	▲13.3%	109.8	▲12.9%	91.6	▲1.1%	91.2	▲0.9%
平成18年	97.3	0.5%	96.8	▲1.7%	106.4	▲3.1%	106.5	▲3.0%	91.5	▲0.1%	90.1	▲1.2%
平成19年	97.6	0.3%	96.4	▲0.4%	104.5	▲1.8%	104.7	▲1.7%	92.1	0.7%	89.7	▲0.4%
平成20年	100.1	2.6%	102.6	6.4%	103.2	▲1.2%	103.4	▲1.2%	103.8	12.7%	100.2	11.7%
平成21年	100.3	0.2%	103.3	0.7%	103.6	0.4%	103.6	0.2%	104.0	0.2%	101.9	1.7%
平成22年	100.0	▲0.3%	100.0	▲3.2%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.5%	100.0	▲3.8%	100.0	▲1.9%
平成23年	99.6	▲0.4%	98.4	▲1.6%	96.0	▲4.0%	95.9	▲4.1%	100.2	0.2%	99.2	▲0.8%
平成24年	99.7	0.1%	101.3	2.9%	104.8	9.2%	105.1	9.6%	100.0	▲0.2%	98.8	▲0.4%
平成25年	99.6	▲0.1%	100.8	▲0.5%	106.9	2.0%	107.3	2.1%	98.1	▲1.9%	97.1	▲1.7%
平成25年1月	100.3	▲0.7%	101.3	0.4%	109.0	6.9%	109.6	7.1%	97.6	▲3.7%	97.3	▲2.2%
2月	99.3	▲1.9%	101.3	0.1%	108.8	6.3%	109.3	6.4%	97.9	▲3.4%	96.9	▲2.5%
3月	98.8	▲2.5%	101.2	0.1%	108.5	5.9%	109.1	6.1%	97.8	▲3.3%	96.7	▲2.7%
4月	98.8	▲1.8%	101.3	0.2%	108.4	5.4%	108.9	5.7%	97.7	▲3.1%	97.3	▲2.2%
5月	98.7	▲1.5%	101.2	0.1%	108.7	5.5%	109.2	5.8%	97.2	▲3.4%	97.0	▲2.5%
6月	98.6	▲0.9%	101.3	▲0.2%	108.3	4.8%	108.8	5.0%	97.4	▲3.8%	97.6	▲1.9%
7月	99.1	0.1%	101.2	▲0.1%	107.8	3.6%	108.3	3.7%	97.7	▲2.4%	97.5	▲1.4%
8月	99.3	0.5%	100.9	▲0.3%	106.8	2.1%	107.3	2.3%	98.3	▲1.7%	96.8	▲2.0%
9月	100.3	1.6%	100.9	▲0.4%	106.5	0.7%	107.0	0.7%	98.5	▲0.6%	97.0	▲1.6%
10月	100.2	1.4%	100.3	▲1.7%	104.5	▲3.7%	104.8	▲3.9%	98.9	0.1%	96.9	▲1.2%
11月	100.4	1.9%	99.7	▲2.2%	103.0	▲5.7%	103.3	▲5.8%	98.9	0.7%	97.0	▲0.7%
12月	101.0	2.1%	99.4	▲2.0%	102.1	▲6.2%	102.5	▲6.4%	99.3	1.4%	97.1	0.2%
平成26年1月	101.6	1.3%	99.1	▲2.2%	101.4	▲7.0%	101.7	▲7.2%	99.2	1.6%	97.1	▲0.2%
2月	101.3	2.0%	99.2	▲2.1%	101.2	▲7.0%	101.3	▲7.3%	99.4	1.5%	97.2	0.3%
3月	101.2	2.4%	99.4	▲1.8%	101.1	▲6.8%	101.3	▲7.1%	99.5	1.7%	97.5	0.8%
4月	103.8	5.1%	102.1	0.8%	103.2	▲4.8%	103.3	▲5.1%	102.1	4.5%	101.0	3.8%
5月	103.9	5.3%	102.2	1.0%	103.4	▲4.9%	103.5	▲5.2%	102.3	5.2%	100.9	4.0%
6月	103.7	5.2%	101.8	0.5%	102.0	▲5.8%	102.0	▲6.3%	102.3	5.0%	101.2	3.7%
7月	103.6	4.5%	101.4	0.2%	101.6	▲5.8%	101.7	▲6.1%	102.2	4.6%	100.6	3.2%
8月	104.2	4.9%	101.3	0.4%	101.0	▲5.4%	101.1	▲5.8%	102.4	4.2%	100.3	3.6%
9月	105.4	5.1%	101.0	0.1%	100.5	▲5.6%	100.5	▲6.1%	102.5	4.1%	100.1	3.2%

資料： 総務省「消費者物価指数」（平成22年基準）
注：１ 表中の数値は、平成22年の平均価格を100として指数化したものである。
２ 食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
３ 穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
４ 平成17年から平成25年のデータは年平均、平成25年1月以降は月次データを用いている。

（２）　小売物価統計の推移



（表）小売物価統計の推移

（単位：円/5kg　包装・消費税込み）

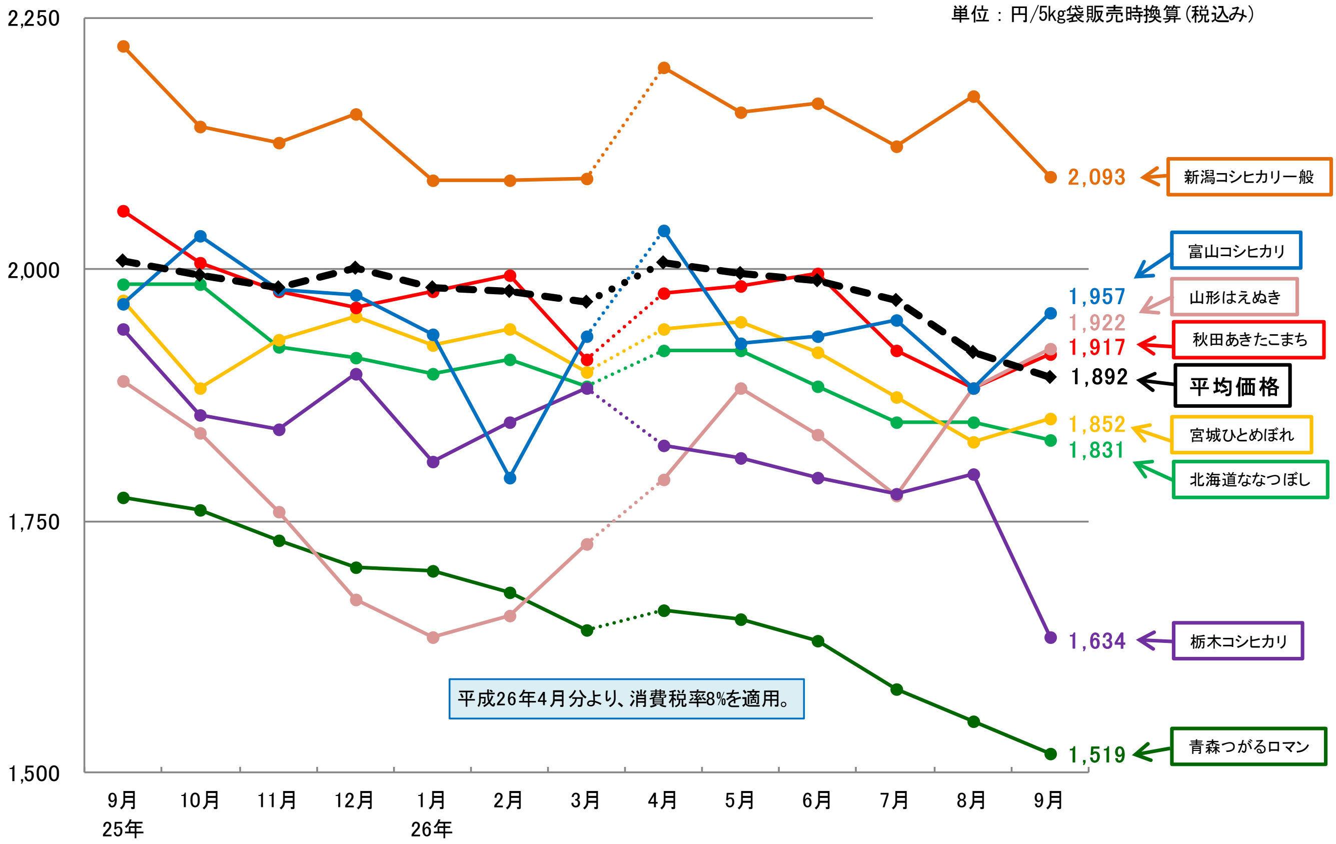
	うるち米				
	単一原料米（コシヒカリ）	対前年同月比	単一原料米（コシヒカリ以外）	対前年同月比	複数原料米
平成17年	2,804	－	2,375	－	2,040
平成18年	2,744	▲2.1%	2,341	▲1.4%	1,996
平成19年	2,670	▲2.7%	2,288	▲2.3%	1,950
平成20年	2,610	▲2.2%	2,270	▲0.8%	1,832
平成21年	2,531	▲3.0%	2,201	▲3.0%	1,812
平成22年	2,462	▲2.7%	2,136	▲3.0%	1,739
平成23年	2,399	▲2.5%	2,053	▲3.9%	1,649
平成24年	2,577	7.4%	2,223	8.3%	－
平成25年	2,567	▲0.4%	2,307	3.8%	－
平成25年1月	2,608	2.5%	2,330	7.6%	－
2月	2,585	0.0%	2,336	6.8%	－
3月	2,627	2.0%	2,331	5.5%	－
4月	2,573	▲0.7%	2,313	6.2%	－
5月	2,593	1.3%	2,331	5.7%	－
6月	2,559	▲0.4%	2,331	7.1%	－
7月	2,566	▲0.7%	2,347	6.4%	－
8月	2,530	▲1.1%	2,333	5.9%	－
9月	2,609	2.3%	2,313	4.7%	－
10月	2,532	▲2.8%	2,276	0.0%	－
11月	2,532	▲3.0%	2,224	▲5.2%	－
12月	2,496	▲4.0%	2,223	▲4.0%	－
平成26年1月	2,466	▲5.4%	2,223	▲4.6%	－
2月	2,440	▲5.6%	2,228	▲4.6%	－
3月	2,422	▲7.8%	2,221	▲4.7%	－
4月	2,474	▲3.8%	2,276	▲1.6%	－
5月	2,498	▲3.7%	2,241	▲3.9%	－
6月	2,481	▲3.0%	2,232	▲4.2%	－
7月	2,473	▲3.6%	2,176	▲7.3%	－
8月	2,421	▲4.3%	2,161	▲7.4%	－
9月	2,496	▲4.3%	2,177	▲5.9%	－
10月	2,357	▲6.9%	2,093	▲8.0%	－

資料：総務省「小売物価統計」
注１：東京都区部の数値である。
　２：特売を除いた価格である。
　３：精米ベースである。
　４：複数原料米については、平成23年12月をもって調査が終了した。

平成26年９月の小売価格（POSデータ）は、前年同期との比較では一部の銘柄で上昇していますが、総じて安値で販売されており、平均価格は前月に比べ1.4%低下しています。

（３）　小売価格の推移（ＰＯＳデータ）

（図）小売価格の推移



（表）小売価格の推移

単位：円/5kg袋販売時換算（消費税込み）

	品種銘柄								
	北海道 ななつぼし	青森 つがるロマン	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	栃木 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	富山 コシヒカリ	全POS取引 平均価格
25年9月	1,984	1,773	1,970	2,059	1,889	1,940	2,222	1,966	2,009
10月	1,984	1,762	1,882	2,007	1,838	1,856	2,142	2,034	1,994
11月	1,923	1,731	1,930	1,978	1,760	1,841	2,126	1,980	1,982
12月	1,912	1,705	1,953	1,963	1,672	1,896	2,154	1,974	2,001
26年1月	1,897	1,701	1,925	1,979	1,635	1,809	2,088	1,935	1,981
2月	1,910	1,680	1,940	1,994	1,656	1,849	2,089	1,793	1,978
3月	1,884	1,641	1,898	1,910	1,727	1,882	2,091	1,933	1,967
4月	1,919	1,662	1,941	1,977	1,791	1,826	2,201	2,039	2,007
5月	1,919	1,652	1,948	1,984	1,883	1,813	2,157	1,926	1,996
6月	1,884	1,632	1,918	1,996	1,836	1,793	2,165	1,934	1,989
7月	1,849	1,583	1,874	1,920	1,775	1,778	2,123	1,950	1,970
8月	1,848	1,551	1,828	1,882	1,882	1,797	2,171	1,882	1,918
9月	**1,831**	**1,519**	**1,852**	**1,917**	**1,922**	**1,634**	**2,093**	**1,957**	**1,892**
対前月比	▲ 0.9%	▲ 2.1%	1.3%	1.8%	2.1%	▲ 9.1%	▲ 3.6%	4.0%	▲ 1.4%
対前年同月比	▲ 7.7%	▲ 14.3%	▲ 6.0%	▲ 6.9%	1.7%	▲ 15.8%	▲ 5.8%	▲ 0.4%	▲ 5.8%

資料：　（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータに基づいて農林水産省が作成

注：１　（株）KSP-SPが提供するＰＯＳデータは、全国約900店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

２　POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

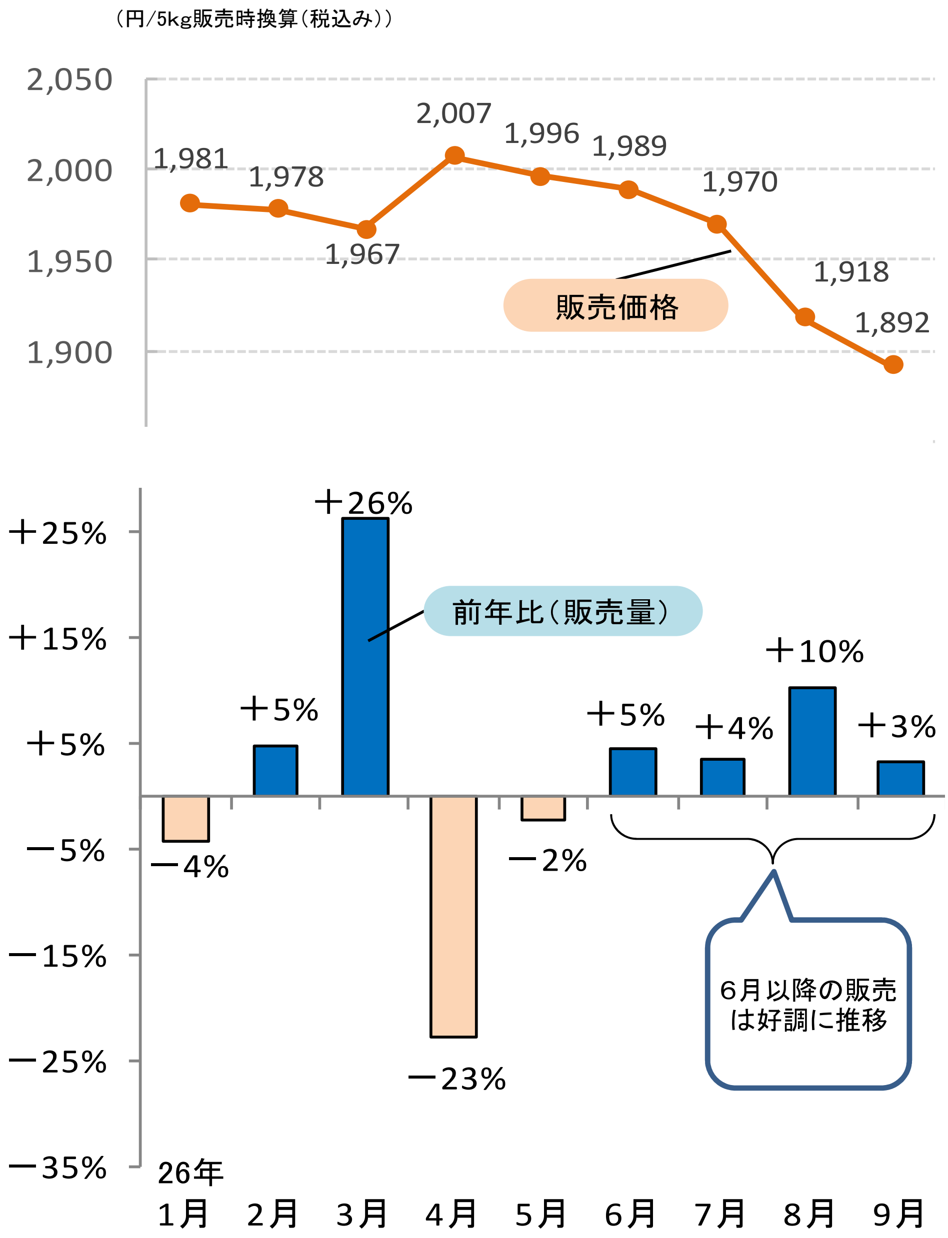
３　POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

４　平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について５kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

５　平成26年4月分から、消費税率8%を適用した価格に変更している。

小売店における精米の販売数量は、消費税率の変更に伴う仮需要の影響が解消された6月以降、前年同月を上回る水準で推移しています。

（参考） 小売店における精米販売の状況（POSデータ）

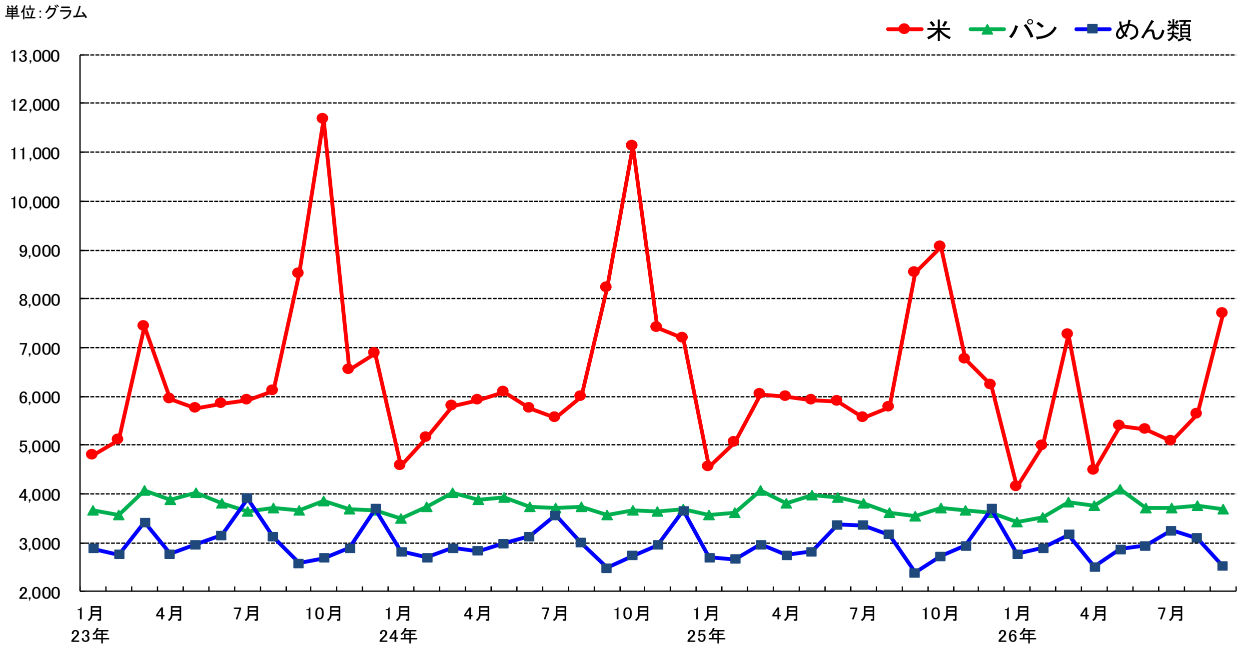


注：1　各月の全POS取引の平均価格及び数量の前年比である。
　　2　留意点は前頁の表脚注を参照。

平成26年9月の米の購入数量については、前年同月との比較で90%となっています。また、パンについては同104%、めん類については同105%となっています。

（4） 購入数量の推移（家計調査）

（図）購入数量の推移



（表）購入数量の推移

（単位:グラム）

	米		パン		めん類	
	購入数量	対前年同月比	購入数量	対前年同月比	購入数量	対前年同月比
平成20年	88,550	103.8%	44,445	98.2%	35,899	101.2%
平成21年	85,110	96.1%	45,599	102.6%	36,615	102.0%
平成22年	83,010	97.5%	45,443	99.7%	37,000	101.1%
平成23年	80,580	97.1%	45,255	99.6%	36,931	99.8%
平成24年	78,780	97.8%	44,808	99.0%	35,819	97.0%
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
平成25年1月	4,550	99.3%	3,572	101.9%	2,695	95.5%
2月	5,060	98.3%	3,625	96.8%	2,665	98.7%
3月	6,030	103.8%	4,076	101.0%	2,965	102.6%
4月	5,980	100.8%	3,802	98.2%	2,752	97.2%
5月	5,920	97.2%	3,972	101.4%	2,816	94.3%
6月	5,900	102.6%	3,929	105.0%	3,365	107.4%
7月	5,550	99.8%	3,803	102.7%	3,363	94.5%
8月	5,770	96.3%	3,607	96.5%	3,164	105.6%
9月	8,540	103.9%	3,536	99.2%	2,391	96.5%
10月	9,060	81.4%	3,721	101.2%	2,722	99.4%
11月	6,750	91.2%	3,672	100.9%	2,940	99.5%
12月	6,240	86.8%	3,620	98.2%	3,696	101.1%
平成26年1月	4,150	91.2%	3,427	95.9%	2,767	102.7%
2月	4,980	98.4%	3,531	97.4%	2,889	108.4%
3月	7,260	120.4%	3,828	93.9%	3,166	106.8%
4月	4,470	74.7%	3,772	99.2%	2,503	91.0%
5月	5,380	90.9%	4,106	103.4%	2,866	101.8%
6月	5,330	90.3%	3,706	94.3%	2,935	87.2%
7月	5,080	91.5%	3,706	97.4%	3,251	96.7%
8月	5,630	97.6%	3,772	104.6%	3,093	97.8%
9月	7,690	90.0%	3,689	104.3%	2,515	105.2%

資料： 総務省「家計調査」
注：1 二人以上の世帯の数値である。
2 平成20年から平成25年については、年間の購入数量を示す。
3 精米ベースである。

- 平成２６年９月の家庭内消費量は、前年同月との比較で6.5%上昇しており、６ヶ月連続で前年同月の消費量を上回っていますが、中・外食は前年同月との比較で6.9%減少しています。
- 家庭全体での消費量は前年同月との比較で2.2%上昇しています。

（５） 米の消費動向（米穀機構による調査）

〇 本調査は、調査実施機関（(株)マクロミル）のモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

① １人１ヵ月当たり精米消費量の推移

（上段：対前年同月比、下段：実数(精米g/人)）

	平成24年10月	内訳	平成24年11月	内訳	平成24年12月	内訳	平成25年1月	内訳	平成25年2月	内訳	平成25年3月	内訳
合計	+3.1%		+1.2%		+6.9%		+1.8%		+4.7%		▲1.8%	
	4,931	100.0%	4,916	100.0%	4,914	100.0%	4,746	100.0%	4,866	100.0%	4,664	100.0%
家庭内	+5.9%		+4.8%		+13.5%		+7.2%		+8.4%		+1.1%	
	3,420	69.4%	3,406	69.3%	3,384	68.9%	3,318	69.9%	3,431	70.5%	3,195	68.5%
中・外食	▲2.8%		▲5.9%		▲5.2%		▲8.8%		▲3.2%		▲7.5%	
	1,511	30.6%	1,510	30.7%	1,530	31.1%	1,429	30.1%	1,435	29.5%	1,469	31.5%
中食	▲2.1%		▲5.1%		▲1.5%		▲1.5%		+1.6%		▲7.1%	
	873	17.7%	857	17.4%	877	17.8%	836	17.6%	847	17.4%	827	17.7%
外食	▲3.6%		▲7.1%		▲9.7%		▲17.5%		▲9.2%		▲8.0%	
	638	12.9%	652	13.3%	654	13.3%	592	12.5%	589	12.1%	642	13.8%

	平成25年4月	内訳	平成25年5月	内訳	平成25年6月	内訳	平成25年7月	内訳	平成25年8月	内訳	平成25年9月	内訳
合計	▲11.4%		▲10.4%		▲10.9%		▲8.7%		▲8.6%		▲8.7%	
	4,779	100.0%	4,574	100.0%	4,575	100.0%	4,373	100.0%	4,233	100.0%	4,400	100.0%
家庭内	▲13.0%		▲9.0%		▲11.5%		▲8.9%		▲11.1%		▲9.0%	
	3,169	66.3%	3,086	67.5%	3,048	66.6%	2,889	66.1%	2,779	65.7%	2,990	68.0%
中・外食	▲8.2%		▲13.1%		▲9.6%		▲8.2%		▲3.3%		▲8.2%	
	1,610	33.7%	1,489	32.6%	1,527	33.4%	1,485	34.0%	1,454	34.3%	1,409	32.0%
中食	▲7.8%		▲10.8%		▲11.1%		▲8.4%		▲6.2%		▲7.9%	
	931	19.5%	881	19.3%	893	19.5%	863	19.7%	798	18.9%	812	18.5%
外食	▲8.7%		▲16.1%		▲7.6%		▲8.0%		+0.6%		▲8.4%	
	679	14.2%	608	13.3%	634	13.9%	622	14.2%	656	15.5%	598	13.6%

	平成25年10月	内訳	平成25年11月	内訳	平成25年12月	内訳	平成26年1月	内訳	平成26年2月	内訳	平成26年3月	内訳
合計	▲8.2%		▲9.6%		▲11.2%		▲7.4%		▲5.7%		▲7.0%	
	4,528	100.0%	4,443	100.0%	4,363	100.0%	4,396	100.0%	4,587	100.0%	4,338	100.0%
家庭内	▲10.9%		▲12.7%		▲15.4%		▲10.3%		▲6.8%		▲9.4%	
	3,048	67.3%	2,972	66.9%	2,863	65.6%	2,977	67.7%	3,196	69.7%	2,896	66.8%
中・外食	▲2.0%		▲2.6%		▲2.0%		▲0.7%		▲3.1%		▲1.8%	
	1,481	32.7%	1,471	33.1%	1,500	34.4%	1,419	32.3%	1,391	30.3%	1,442	33.2%
中食	▲0.8%		▲3.3%		▲3.1%		▲1.6%		▲6.3%		▲1.7%	
	866	19.1%	829	18.7%	850	19.5%	823	18.7%	794	17.3%	813	18.7%
外食	▲3.6%		▲1.4%		▲0.8%		+0.7%		+1.2%		▲2.0%	
	615	13.6%	643	14.5%	649	14.9%	596	13.6%	596	13.0%	629	14.5%

	平成26年4月	内訳	平成26年5月	内訳	平成26年6月	内訳	平成26年7月	内訳	平成26年8月	内訳	平成26年9月	内訳
合計	+4.3%		+5.7%		+1.5%		+2.9%		+3.6%		+2.2%	
	4,986	100%	4,834	100%	4,643	100.0%	4,500	100.0%	4,387	100.0%	4,495	100.0%
家庭内	+11.4%		+9.3%		+6.0%		+9.5%		+9.9%		+6.5%	
	3,529	70.8%	3,374	69.8%	3,232	69.6%	3,163	70.3%	3,053	69.6%	3,183	70.8%
中・外食	▲9.5%		▲1.9%		▲7.6%		▲10.0%		▲8.3%		▲6.9%	
	1,457	29.2%	1,460	30.2%	1,411	30.4%	1,337	29.7%	1,334	30.4%	1,312	29.2%
中食	▲7.1%		▲4.5%		▲9.3%		▲11.4%		▲7.3%		▲6.3%	
	865	17.3%	841	17.4%	810	17.4%	765	17.0%	740	16.9%	761	16.9%
外食	▲12.8%		+1.8%		▲5.2%		▲8.0%		▲9.5%		▲7.9%	
	592	11.9%	619	12.8%	601	12.9%	572	12.7%	594	13.5%	551	12.3%

出典： 米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注：１ 26年9月分の有効調査世帯数は1,914世帯。
２ 家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯類の概量から推計。
３ 集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。
４ 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

② 精米購入時の動向

（ア） 入手経路（複数回答）

（%）

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協（店舗・共同購入含む）	農協（店舗・共同購入含む）	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他
平成23年度	0.7	45.9	3.7	4.2	0.4	8.6	1.4	3.8	1.3	6.8	6.4	23.5	2.2
平成24年度	1.0	45.1	4.3	3.4	0.3	7.8	1.8	4.2	1.8	7.0	7.4	22.9	2.0
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6
平成26年4月	1.2	47.5	4.5	3.9	0.7	7.6	1.6	3.7	1.6	7.8	6.4	18.6	1.9
5月	1.6	50.0	4.7	2.3	0.02	8.0	1.4	2.6	1.7	7.3	9.4	17.1	1.8
6月	1.0	50.8	4.4	2.9	0.3	8.2	2.1	3.4	1.9	6.9	7.5	17.2	2.6
7月	1.3	51.4	4.1	2.7	0.1	6.7	1.2	3.3	1.7	5.3	10.0	18.1	2.3
8月	1.7	50.2	3.5	3.1	0.1	8.3	1.5	4.1	1.5	5.5	8.4	19.5	1.9
9月	0.9	47.8	3.8	2.8	0.4	9.3	1.4	4.2	1.9	5.4	8.7	20.8	2.1

出典： 米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注：1 平成23・24・25年度は各年4月から翌年3月までの平均値。
　　2 26年9月分の有効調査世帯数は1,293世帯。

（イ） 入手経路別の購入数量

（kg、%）

	25年12月(n=1508)			26年1月(n=1692)			26年2月(n=1631)			26年3月(n=1678)		
	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量
デパート	92	0.6	5.6	72	0.4	6.8	131	0.8	6.0	66	0.3	6.9
スーパーマーケット	5,670	36.8	8.3	5,860	35.3	7.6	6,152	37.8	8.2	7,719	40.1	9.6
ドラッグストア	456	3.0	9.4	394	2.4	7.3	506	3.1	7.1	682	3.5	9.5
ディスカウントストア	356	2.3	10.9	417	2.5	9.1	427	2.6	8.3	756	3.9	11.2
コンビニエンスストア	27	0.2	3.9	25	0.1	5.3	22	0.1	5.7	20	0.1	7.7
生協(店舗・共同購入含む)	872	5.7	7.9	860	5.2	8.0	917	5.6	7.5	1,046	5.4	9.2
農協(店舗・共同購入含む)	236	1.5	11.0	281	1.7	10.1	321	2.0	9.7	326	1.7	11.4
米穀専門店	458	3.0	9.1	539	3.2	9.8	471	2.9	9.4	576	3.0	12.7
産地直売所	316	2.0	10.4	224	1.4	9.8	215	1.3	9.8	340	1.8	9.0
生産者から直接購入	1,943	12.6	18.1	2,260	13.6	18.6	2,424	14.9	19.8	1,971	10.2	18.9
インターネットショップ	1,479	9.6	10.3	1,672	10.1	9.4	1,638	10.1	9.5	2,636	13.7	12.3
家族・知人などから無償で入手	3,502	22.7	10.0	3,981	24.0	10.2	3,033	18.7	9.4	3,119	16.2	10.4

	26年4月(n=1204)			26年5月(n=1395)			26年6月(n=1297)			26年7月(n=1405)		
	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量
デパート	72	0.6	4.8	83	0.6	4.7	90	0.7	6.6	121	0.9	6.8
スーパーマーケット	4,529	36.5	8.0	5,629	39.5	8.1	5,423	41.0	8.3	5,732	42.2	8.0
ドラッグストア	576	4.6	10.6	592	4.2	9.0	463	3.5	8.1	445	3.3	7.8
ディスカウントストア	405	3.3	8.6	322	2.3	10.2	377	2.9	10.2	342	2.5	9.2
コンビニエンスストア	359	2.9	7.7	3	0.02	8.7	12	0.1	2.9	8	0.1	7.4
生協(店舗・共同購入含む)	443	3.6	8.2	874	6.1	8.2	934	7.1	8.8	812	6.0	8.7
農協(店舗・共同購入含む)	218	1.8	11.3	272	1.9	14.1	291	2.2	10.9	211	1.6	12.1
米穀専門店	565	4.6	12.6	348	2.4	9.6	459	3.5	10.5	501	3.7	10.9
産地直売所	215	1.7	11.0	285	2.0	12.3	224	1.7	8.9	226	1.7	9.8
生産者から直接購入	1,839	14.8	19.6	1,954	13.7	19.1	1,770	13.4	19.8	1,381	10.2	18.7
インターネットショップ	931	7.5	12.0	1,386	9.7	10.6	1,106	8.4	11.3	1,387	10.2	9.9
家族・知人などから無償で入手	2,247	18.1	10.0	2,512	17.6	10.5	2,076	15.7	9.3	2,429	17.9	9.6

	26年8月(n=1342)			26年9月(n=1293)		
	購入数量	比率	世帯平均購入数量	購入数量	比率	世帯平均購入数量
デパート	196	1.4	8.7	125	0.9	10.6
スーパーマーケット	5,604	40.6	8.4	5,141	38.4	8.4
ドラッグストア	432	3.1	9.2	349	2.6	7.1
ディスカウントストア	326	2.4	7.9	314	2.3	8.5
コンビニエンスストア	5	0.04	2.4	12	0.1	2.0
生協(店舗・共同購入含む)	854	6.2	8.0	969	7.2	8.1
農協(店舗・共同購入含む)	216	1.6	10.7	172	1.3	9.5
米穀専門店	524	3.8	9.5	527	3.9	9.8
産地直売所	185	1.3	9.2	202	1.5	8.2
生産者から直接購入	1,551	11.2	20.9	1,327	9.9	18.9
インターネットショップ	1,249	9.0	11.1	1,356	10.1	12.1
家族・知人などから無償で入手	2,669	19.3	10.2	2,894	21.6	10.8

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注　：世帯平均購入数量は、精米を購入した世帯の平均購入数量である。

（ウ） 重視する点（複数回答）

（%）

	産地	品種	年産	価格	食味（おいしさ）	適量感	安全性	無洗米	精米年月日	栽培方法	製造販売事業者	販売店	その他
平成23年度	49.8	51.4	36.6	77.8	48.8	9.0	31.1	－	27.4	4.5	7.7	4.6	5.0
平成24年度	53.8	51.4	36.8	74.5	49.0	9.0	32.4	11.4	23.9	5.2	8	4.6	2.5
平成25年度	56.7	54.2	38.7	76.6	47.3	8.6	31.6	11.9	24.0	4.6	8.1	4.1	2.1
平成26年4月	55.4	55.3	34.8	76.1	48.4	8.1	31.0	12.7	24.6	5.1	7.3	4.8	2.2
5月	57.1	56.5	37.5	76.1	47.5	7.1	31.0	11.9	26.1	4.5	7.0	3.9	2.1
6月	57.6	58.0	38.9	74.5	50.1	6.9	32.7	12.3	25.9	4.2	8.5	5.0	1.3
7月	61.1	56.4	39.4	78.1	47.6	7.0	33.7	11.3	26.9	4.2	7.7	5.4	1.7
8月	63.1	57.3	41.5	76.9	50.7	8.8	33.7	11.5	27.2	5.0	9.3	5.9	1.3
9月	61.0	59.0	43.8	74.8	51.4	7.3	33.7	10.8	27.2	4.9	8.0	5.1	1.3

出典： 米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注：1 平成23・24・25年度は各年4月から翌年3月までの平均値。
2 「無洗米」は平成24年度から選択肢に加えた。
3 26年9月分の有効調査世帯数は1,914世帯。

（エ） 家庭内の月末在庫数量

（kg/世帯）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23年度	月末在庫数量	6.8	7.0	7.0	6.7	6.9	6.9	8.3	7.9	8.3	7.6	7.5	7.2
	平均世帯人員	2.51	2.51	2.54	2.53	2.54	2.53	2.53	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
24年度	月末在庫数量	6.1	6.1	6.3	6.2	6.1	6.5	7.3	7.2	7.4	7.1	6.8	6.8
	平均世帯人員	2.42	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
25年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.3	6.2	6.4	6.6	7.1	7.1	7.2	6.8	6.7	7.7
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41
26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8						
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41						

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注 ：平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

平成２６年産水稲における青死米等の発生状況については、P.41をご覧ください。

Ⅳ　生産段階の動向

（１）　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

－　水稲の10ａ当たり予想収量は536kg（作況指数101）の見込み　－

【調査結果の概要】

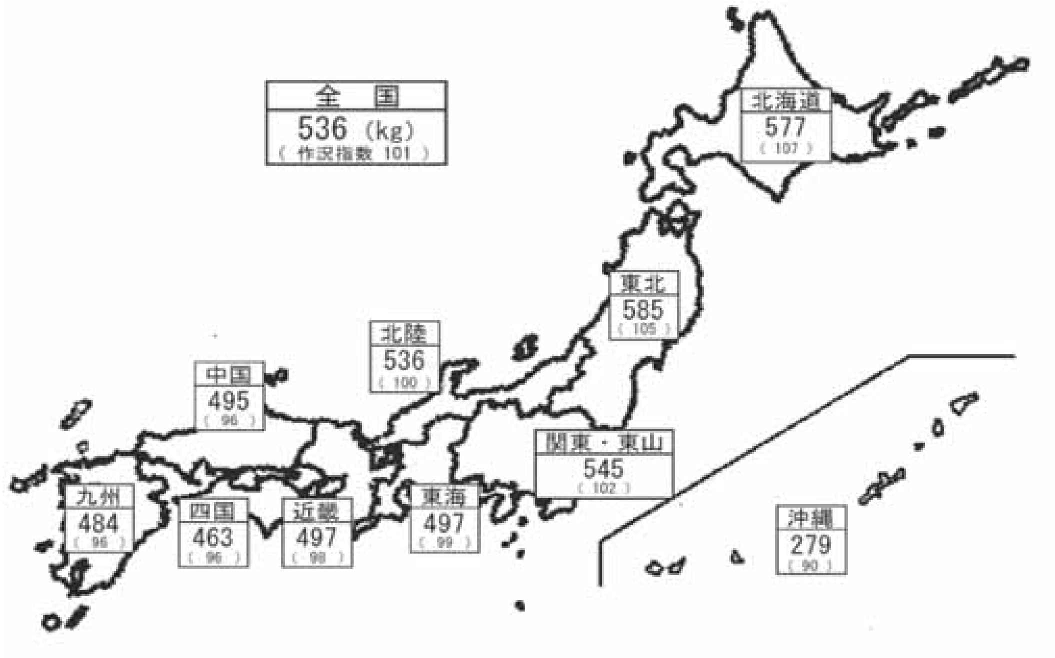
１　平成26年産水稲の作付面積（子実用）は157万3,000haで、うち主食用作付見込面積は147万4,000haが見込まれる。

２　全国の10ａ当たり予想収量は536kg（作況指数101）が見込まれる。
　これは、北海道から関東･東山では、登熟が総じて平年を下回っているものの、全もみ数が総じて多くなっていることから作柄がおおむね平年並み以上と見込まれる一方、東海以西では、日照不足・低温や一部地域での病虫害等の影響で全もみ数及び登熟が平年を下回っていると見込まれるためである。

３　以上の結果、予想収穫量（子実用）は843万8,000ｔが見込まれる。
　また、主食用作付見込面積に10ａ当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は788万5,000ｔが見込まれる。

４　ふるい目幅別重量分布について全国平均でみると、1.85㎜のふるい目より下に選別される玄米の重量割合は4.2%と見込まれ、過去５か年平均値と比べて0.4%多くなっている。

図１　全国農業地域別10a当たり予想収量(10月15日現在)



○　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
○　主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
○　作況指数とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり予想収量の比率である。
○　この調査は、収穫を終えた地域では刈取り実測により行ったが、一部収穫を終えていない地域ではもみ数、登熟状況等を実測し、その後の登熟については気象が平年並みに推移するものとして推定する方法により行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

○　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）は、「農林水産統計」（平成26年10月30日公表）からの抜粋。詳しくは、下記にて御覧いただけます。
ホーム ＞ 組織・政策 ＞ 統計情報 ＞ 分野別分類/作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など ＞ 作物統計 ＞ 作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼肥料作物、工芸農作物）
【　http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html　】

【調査結果】

1　平成26年産水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から青刈り用の面積を除いた子実用作付面積は157万3,000haで、前年産に比べて２万4,000ha減少した。
　また、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた主食用作付見込面積は147万4,000haで、前年産に比べて４万8,000haの減少が見込まれる。

2　10月15日現在における水稲の地域別の作柄は、北海道では、生育期間を通して天候に恵まれたことにより、全もみ数がやや多く、病害虫等の被害が少なかったことから、10ａ当たり予想収量は577kg（作況指数107）が見込まれる。
　東北から関東・東山では、田植期以降７月にかけておおむね天候に恵まれ、全もみ数が総じて多いないしやや多いとなっていることから、８月の日照不足等により登熟が平年を下回っている地域がみられるものの、東北の10ａ当たり予想収量は585kg（同105）、北陸は536kg（同100）、関東・東山は545kg（同102）が見込まれる。
　東海以西では、６月以降断続的に低温・日照不足傾向となったこと等により、全もみ数が総じて平年並みないしやや少ないとなっていることに加えて、病害虫等の被害が拡大している地域もみられ登熟が総じて平年を下回って推移していることから、東海の10ａ当たり予想収量は497kg（同99）、近畿は497kg（同98）、中国は495kg（同96）、四国は463kg（同96）、九州は484kg（同96）が見込まれる。
　この結果、全国の10ａ当たり予想収量は536kg（同101）が見込まれる。

3　以上の結果、予想収穫量（子実用）は843万8,000ｔが見込まれる。
　また、主食用作付見込面積に10ａ当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は788万5,000ｔが見込まれる。

4　ふるい目幅別重量分布状況を地域別にみると、北海道、東北及び北陸では、総じて全もみ数が多かったことにより登熟が平年を下回っていると見込まれることから、1.85mmのふるい目より下に選別される玄米の割合（以下「1.85mm下の割合」という。）が過去５か年平均値（以下「平均値」という。）に比べて、それぞれ0.2%、0.5%、0.2%多くなっている。
　関東・東山では、登熟が平年並みに推移した地域があり、1.85mm下の割合が平均値に比べて0.4%少なくなっている。
　一方、東海以西では、日照不足・低温等により登熟が平年を下回っていると見込まれることから、東海で1.85mm下の割合が平均値に比べて1.1%、近畿は同0.4%、中国は同1.0%、四国は同1.1%、九州は同1.4%多くなっている。

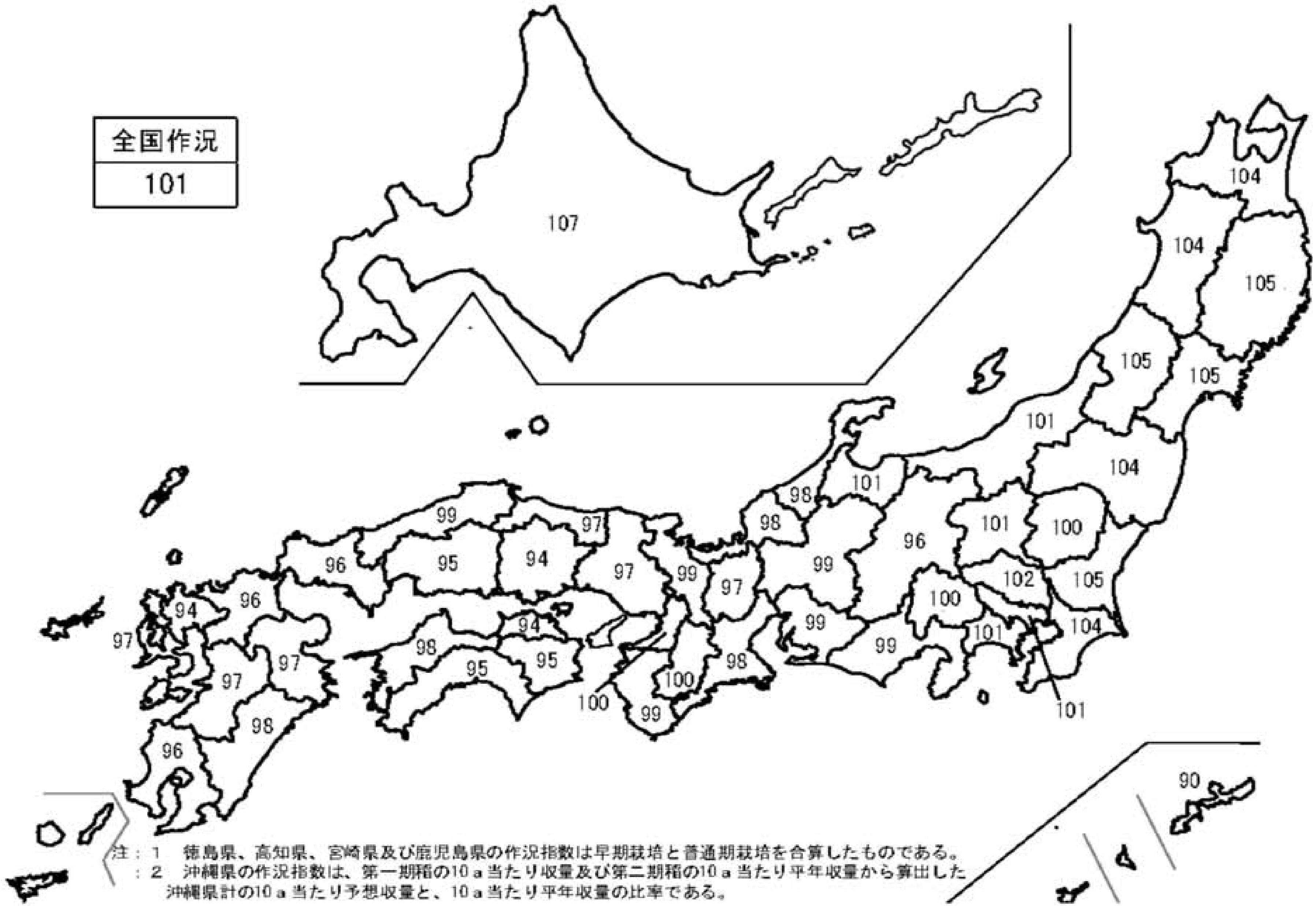
表１　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在、全国農業地域別）

全国農業地域	作付面積（子実用） 実数 ①	10ａ当たり予想収量 ②	10ａ当たり平年収量 ③	作況指数 ④＝②／③	予想収穫量（子実用） 実数 ⑤＝①×②	参考 主食用作付見込面積 ⑥	参考 予想収穫量（主食用） ⑦＝⑥×②
	ha	kg	kg		t	ha	t
全国	1,573,000	536	530	101	8,438,000	1,474,000	7,885,000
北海道	111,000	577	537	107	640,500	103,500	597,200
東北	402,500	585	559	105	2,354,000	361,100	2,109,000
北陸	212,500	536	534	100	1,139,000	190,000	1,019,000
関東・東山	292,800	545	535	102	1,595,000	279,800	1,524,000
東海	99,700	497	503	99	495,100	97,500	483,600
近畿	108,000	497	509	98	537,100	104,500	519,900
中国	112,600	495	517	96	556,900	108,700	536,600
四国	55,300	463	484	96	256,200	54,500	253,000
九州	178,200	484	502	96	861,900	173,700	840,500
沖縄	860	279	309	90	2,400	860	2,400

注：1　予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
　　2　沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10ａ当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10ａ当たり収量と第二期稲の10ａ当たり平年収量を用いた。

図２　全国・都道府県別作況指数（10月15日現在）

全国作況
101



注：１　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培と普通期栽培を合算したものである。
　：２　沖縄県の作況指数は、第一期稲の10ａ当たり収量及び第二期稲の10ａ当たり平年収量から算出した沖縄県計の10ａ当たり予想収量と、10ａ当たり平年収量の比率である。

表２　平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）

全国・都道府県	作付面積（子実用） 実数 ①	10ａ当たり予想収量 ②	10ａ当たり平年収量 ③	作況指数 ④＝②／③	予想収穫量（子実用） 実数 ⑤＝①×②	参考 主食用作付見込面積 ⑥	参考 予想収穫量（主食用） ⑦＝⑥×②
	ha	kg	kg		t	ha	t
全国	1,573,000	536	530	101	8,438,000	1,474,000	7,885,000
北海道	111,000	577	537	107	640,500	103,500	597,200
青森	48,600	610	584	104	296,500	42,200	257,400
岩手	55,000	562	533	105	309,100	51,200	287,700
宮城	71,100	559	530	105	397,400	67,900	379,600
秋田	91,700	596	573	104	546,500	76,000	453,000
山形	67,900	623	594	105	423,000	61,100	380,700
福島	68,200	560	537	104	381,900	62,600	350,600
茨城	74,700	548	522	105	409,400	72,300	396,200
栃木	63,900	538	540	100	343,800	58,300	313,700
群馬	17,300	501	494	101	86,700	15,900	79,700
埼玉	34,400	501	490	102	172,300	33,900	169,800
千葉	60,200	558	535	104	335,900	58,300	325,300
東京	159	416	411	101	661	159	661
神奈川	3,140	500	493	101	15,700	3,140	15,700
新潟	120,100	547	540	101	656,900	105,300	576,000
富山	39,500	541	537	101	213,700	35,700	193,100
石川	26,600	508	519	98	135,100	24,300	123,400
福井	26,200	510	519	98	133,600	24,700	126,000
山梨	5,090	547	547	100	27,800	5,040	27,600
長野	33,900	597	621	96	202,400	32,800	195,800
岐阜	24,100	482	488	99	116,200	23,500	113,300
静岡	16,800	514	521	99	86,400	16,600	85,300
愛知	29,300	504	507	99	147,700	28,400	143,100
三重	29,500	491	500	98	144,800	28,900	141,900
滋賀	33,000	502	518	97	165,700	31,300	157,100
京都	15,200	507	511	99	77,100	14,900	75,500
大阪	5,550	495	495	100	27,500	5,540	27,400
兵庫	37,900	487	504	97	184,600	36,500	177,800
奈良	9,060	514	513	100	46,600	9,040	46,500
和歌山	7,230	492	495	99	35,600	7,230	35,600
鳥取	13,600	498	514	97	67,700	13,000	64,700
島根	18,600	503	509	99	93,600	18,200	91,500
岡山	32,600	493	526	94	160,700	31,100	153,300
広島	25,600	497	523	95	127,200	24,800	123,300
山口	22,300	483	504	96	107,700	21,500	103,800
徳島	13,200	452	474	95	59,700	12,800	57,900
早期栽培	5,200	448	463	97	23,300	…	…
普通栽培	8,020	454	480	95	36,400	…	…
香川	14,400	468	499	94	67,400	14,200	66,500
愛媛	15,000	490	498	98	73,500	14,900	73,000
高知	12,700	438	460	95	55,600	12,700	55,600
早期栽培	7,400	470	481	98	34,800	…	…
普通栽培	5,330	393	430	91	20,900	…	…
福岡	37,500	477	499	96	178,900	36,900	176,000
佐賀	25,600	490	522	94	125,400	25,300	124,000
長崎	13,200	463	478	97	61,100	13,200	61,100
熊本	37,500	501	515	97	187,900	36,100	180,900
大分	22,900	490	503	97	112,200	22,700	111,200
宮崎	18,600	487	497	98	90,600	17,400	84,700
早期栽培	7,820	488	480	102	38,200	…	…
普通栽培	10,800	486	511	95	52,500	…	…
鹿児島	22,900	462	483	96	105,800	22,200	102,600
早期栽培	5,320	455	443	103	24,200	…	…
普通栽培	17,600	464	495	94	81,700	…	…
沖縄	860	279	309	90	2,400	860	2,400
第一期稲	586	325	370	88	1,900	…	…
第二期稲	274	…	…	…	…	…	…

注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
２　主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、生産数量目標の外数として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積（見込み）である。
３　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付見込面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。
４　沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから「…」で示しており、沖縄県計の10ａ当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10ａ当たり収量と第二期稲の10ａ当たり平年収量を用いた。

表３　平成26年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況（都道府県別概数値）

全国・都道府県	ふるい目幅別重量分布状況							対平均差						
	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm以上	計	1.70mm	1.75mm	1.80mm	1.85mm	1.90mm	2.00mm以上
	%	%	%	%	%	%	%							
全国	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	△ 0.2	△ 0.2
北海道	100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	9.3	85.5	0.0	0.1	0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 3.8	3.8
青森	100.0	0.8	1.1	1.6	1.9	9.9	84.7	0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.0	△ 1.0
岩手	100.0	0.7	1.2	1.4	1.9	11.2	83.6	0.0	0.2	0.5	0.2	0.2	△ 0.3	△ 0.8
宮城	100.0	0.7	0.9	1.4	1.7	11.1	84.2	0.0	0.2	0.1	0.3	0.1	△ 1.4	0.7
秋田	100.0	0.6	1.2	1.6	2.8	12.5	81.3	0.0	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.7	0.8
山形	100.0	0.6	0.9	1.2	2.2	11.7	83.4	0.0	0.0	0.2	△ 0.2	0.1	△ 1.8	1.7
福島	100.0	0.4	1.2	1.6	2.0	11.2	83.6	0.0	0.1	0.3	0.2	0.1	0.2	△ 0.9
茨城	100.0	0.2	1.1	1.7	2.5	15.7	78.8	0.0	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.6	△ 0.7	△ 2.4	4.2
栃木	100.0	0.8	1.2	2.3	2.8	19.7	73.2	0.0	△ 0.1	0.0	0.0	△ 0.2	△ 0.7	1.0
群馬	100.0	1.4	1.6	3.1	6.1	22.7	65.1	0.0	0.1	△ 0.3	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.5
埼玉	100.0	1.1	1.5	2.7	3.7	24.5	66.5	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.1	0.8
千葉	100.0	0.6	0.9	1.9	2.6	17.8	76.2	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 1.7	3.1
東京	100.0	1.6	2.4	3.7	4.9	25.9	61.5	0.0	0.8	1.1	1.3	1.2	7.7	△ 12.1
神奈川	100.0	2.0	1.8	4.0	4.5	23.4	64.3	0.0	0.5	0.4	1.2	0.9	5.3	△ 8.3
新潟	100.0	0.6	1.2	1.5	2.0	11.4	83.3	0.0	0.1	0.2	△ 0.1	0.1	△ 0.8	0.5
富山	100.0	0.5	1.0	1.3	2.1	14.9	80.2	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.2	△ 0.7
石川	100.0	0.7	1.0	1.3	1.9	11.3	83.8	0.0	0.2	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.4	0.2
福井	100.0	0.8	1.5	1.9	2.7	17.3	75.8	0.0	0.1	0.3	0.3	0.0	2.4	△ 3.1
山梨	100.0	1.2	1.8	2.0	3.7	17.7	73.6	0.0	0.3	0.3	△ 0.1	0.6	△ 0.7	△ 0.4
長野	100.0	1.0	1.7	1.8	3.0	15.6	76.9	0.0	0.3	0.5	0.3	0.4	1.7	△ 3.2
岐阜	100.0	1.1	1.7	2.3	2.9	15.8	76.2	0.0	0.2	0.6	0.7	0.1	3.4	△ 5.0
静岡	100.0	0.7	1.4	2.0	2.8	15.0	78.1	0.0	0.3	0.4	0.5	0.8	3.1	△ 5.1
愛知	100.0	0.9	1.4	2.1	2.7	16.4	76.5	0.0	0.2	0.5	0.7	0.6	3.7	△ 5.7
三重	100.0	1.0	1.8	2.4	2.6	13.8	78.4	0.0	△ 0.2	0.4	0.6	△ 0.6	△ 1.1	0.9
滋賀	100.0	1.1	1.8	2.3	2.7	14.1	78.0	0.0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.7	△ 1.6
京都	100.0	0.7	1.5	1.7	1.5	10.5	84.1	0.0	0.1	0.4	0.2	△ 0.3	0.8	△ 1.2
大阪	100.0	1.3	2.1	4.3	3.4	19.6	69.3	0.0	0.1	0.3	0.5	△ 0.4	1.8	△ 2.3
兵庫	100.0	1.1	1.5	2.5	3.0	17.2	74.7	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	2.3	△ 2.6
奈良	100.0	0.6	1.3	1.4	2.0	10.4	84.3	0.0	△ 0.2	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.9	△ 4.2	6.2
和歌山	100.0	0.9	1.6	2.1	2.4	13.9	79.1	0.0	△ 0.1	0.2	0.3	0.0	0.6	△ 1.0
鳥取	100.0	1.0	1.4	1.8	2.8	12.8	80.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.4	2.0	△ 3.0
島根	100.0	0.9	1.3	2.0	2.0	11.4	82.4	0.0	0.3	0.4	0.6	△ 0.1	0.2	△ 1.4
岡山	100.0	1.3	1.8	2.6	2.9	16.5	74.9	0.0	0.5	0.5	0.7	0.5	3.6	△ 5.8
広島	100.0	0.9	1.5	2.0	2.2	12.5	80.9	0.0	0.2	0.3	0.4	0.2	1.1	△ 2.2
山口	100.0	0.9	1.5	2.2	2.6	16.1	76.7	0.0	0.0	0.1	0.3	△ 0.3	1.2	△ 1.3
徳島	100.0	1.6	2.1	3.5	3.6	20.0	69.2	0.0	0.5	0.5	1.2	0.5	6.2	△ 8.9
早期栽培	100.0	1.7	2.3	4.0	4.2	23.7	64.1	0.0	0.7	0.9	2.0	1.6	10.4	△ 15.6
普通栽培	100.0	1.5	2.0	3.2	3.2	17.7	72.4	0.0	0.4	0.2	0.7	△ 0.2	3.6	△ 4.7
香川	100.0	1.5	2.9	3.8	5.5	26.7	59.6	0.0	0.3	0.4	0.1	0.0	1.2	△ 2.0
愛媛	100.0	1.3	2.0	2.8	4.2	20.9	68.8	0.0	0.3	0.4	0.5	0.8	4.0	△ 6.0
高知	100.0	0.8	1.1	1.5	2.7	13.4	80.5	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.3	△ 1.4	2.0
早期栽培	100.0	0.6	0.8	1.1	2.2	11.5	83.8	0.0	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.4	△ 2.5	3.4
普通栽培	100.0	1.1	1.6	2.1	3.4	16.6	75.2	0.0	0.0	0.1	0.0	△ 0.4	0.5	△ 0.2
福岡	100.0	1.6	2.7	3.7	4.5	22.3	65.2	0.0	0.4	0.6	0.9	0.1	3.6	△ 5.6
佐賀	100.0	1.4	2.1	3.4	3.6	19.4	70.1	0.0	0.1	0.2	0.7	0.0	1.3	△ 2.3
長崎	100.0	1.3	2.8	3.6	5.2	25.9	61.2	0.0	0.0	0.8	0.2	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.2
熊本	100.0	1.3	2.4	3.3	4.1	20.9	68.0	0.0	0.2	0.6	0.4	0.0	△ 0.3	△ 0.9
大分	100.0	1.6	3.2	3.6	7.0	25.8	58.8	0.0	0.3	0.5	0.0	0.9	0.9	△ 2.6
宮崎	100.0	1.2	1.8	2.6	4.0	22.6	67.8	0.0	0.2	0.2	0.3	0.3	2.8	△ 3.8
早期栽培	100.0	0.7	1.0	1.4	2.4	19.0	75.5	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	2.6	△ 2.2
普通栽培	100.0	1.5	2.3	3.4	5.1	25.3	62.4	0.0	0.3	0.5	0.6	0.5	3.1	△ 5.0
鹿児島	100.0	1.2	2.1	3.1	4.1	20.5	69.0	0.0	0.3	0.6	0.7	0.2	0.9	△ 2.7
早期栽培	100.0	1.0	1.5	2.4	3.4	20.3	71.4	0.0	0.2	0.3	0.3	△ 0.3	△ 3.0	2.5
普通栽培	100.0	1.3	2.3	3.3	4.3	20.5	68.3	0.0	0.3	0.7	0.8	0.4	1.9	△ 4.1
沖縄	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

注：１　ふるい目幅別重量分布状況は、10月15日現在までに刈取り・調製が終了した作況標本筆のデータにより取りまとめたものであり、収穫期の遅い遅場地帯においては、次回公表において割合が変動することがある。
　　２　沖縄県については、10月15日現在で、第二期稲が収穫前でデータが揃わないため「･･･」で示した。
　　　　12月上旬公表予定の「平成26年産水陸稲の収穫量」に掲載を予定している。
　　３　対平均差に用いた平均値は、直近５か年の重量割合の平均値である。
　　４　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

(2) 国産米(水稲)の作況・収穫量

年産	作付面積（子実用） ha	10a当たり収　量 kg	10a当たり平年収量 kg	作況指数	収 穫 量（子実用） t	（参考） 主 食 用 作付面積 ha	収 穫 量（主食用） t	生産数量目標 t
18	1, 684, 000	507	529	96	8, 546, 000	…	…	8, 330, 000
19	1, 669, 000	522	529	99	8, 705, 000	…	…	8, 280, 000
20	1, 624, 000	543	530	102	8, 815, 000	1, 596, 000	8, 658, 000	8, 150, 000
21	1, 621, 000	522	530	98	8, 466, 000	1, 592, 000	8, 309, 000	8, 150, 000
22	1, 625, 000	522	530	98	8, 478, 000	1, 580, 000	8, 239, 000	8, 130, 000
23	1, 574, 000	533	530	101	8, 397, 000	1, 526, 000	8, 133, 000	7, 950, 000
24	1, 579, 000	540	530	102	8, 519, 000	1, 524, 000	8, 210, 000	7, 930, 000
25	1, 597, 000	539	530	102	8, 603, 000	1, 522, 000	8, 182, 000	7, 910, 000
26(見込み)	1, 573, 000	536	530	101	8, 438, 000	1, 474, 000	7, 885, 000	7, 650, 000

出典：　農林水産省統計部「作物統計」、「米の基本指針」
注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
　　２　主食用作付面積とは、水稲作付面積(青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積である。
　　３　「…」は、事実不詳又は調査を欠くものであることを示す。
　　４　生産数量目標は、食料・農業・農村政策審議会食糧部会で定めた数量目標。

(3) 水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、収穫量(子実用)及び10a当たり収量

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70㎜以上で選別された玄米の重量としている。
農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

① ふるい目幅別重量分布状況

単位：％

区分 / 年産	合　計	ふるい目幅別重量割合 1.70㎜	1.75㎜	1.80㎜	1.85㎜	1.90㎜	2.00㎜以　上
17年産	100.0	1.0	1.4	2.3	3.6	20.5	71.2
18年産	100.0	0.9	1.3	2.2	3.5	19.2	72.9
19年産	100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20年産	100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21年産	100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22年産	100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23年産	100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24年産	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25年産	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26年産(概数値)	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
平均値	100.0	0.7	1.2	1.9	2.7	14.9	78.6
対平年差	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	▲ 0.2	▲ 0.2

資料：　農林水産省統計部「作物統計」
注：　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

② 選別ふるい目幅別収穫量(子実用)及び10a当たり収量

単位：kg（10a当たり収量）、トン（収穫量）

年産	区　分	選別ふるい目幅別収穫量及び10ａ当たり収量 1.70mm選別	1.75mm選別	1.80mm選別	1.85mm選別	1.90mm選別	2.00mm選別
17年産	10ａ当たり収量	532	527	519	507	488	379
18年産	10ａ当たり収量	507	502	496	485	467	370
19年産	10ａ当たり収量	522	518	513	503	488	394
20年産	10ａ当たり収量	543	538	531	520	503	414
21年産	10ａ当たり収量	522	518	511	500	483	393
22年産	10ａ当たり収量	522	519	514	505	493	424
23年産	10ａ当たり収量	533	528	521	509	492	404
24年産	10ａ当たり収量	540	537	531	523	511	441
	収　穫　量	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25年産	10ａ当たり収量	539	535	528	517	503	425
	収　穫　量	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26年産 (概数値)	10ａ当たり収量	536	532	524	513	499	420
	収　穫　量	8,438,000	8,370,000	8,252,000	8,084,000	7,856,000	6,615,000
	対前年比(%)	98	98	98	98	98	98

資料：　農林水産省統計部「作物統計」
注：１　選別ふるい目幅別の収穫量とは、全国の予想収穫量に選別ふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
　　２　選別ふるい目幅別の10a当たり収量とは、表頭のふるい目幅を使用した際に得られる10a当たり収量のことである。
　　３　ふるい目幅別の収穫量については、平成24年産より集計・公表を行っている。

平成２６年産水稲の予想収穫量・青死米等の発生状況を踏まえた需給見通しは、P.51をご覧ください。

(4) 平成26年産水稲における青死米等の発生状況について

本年は、北海道から関東・東山では全もみ数が総じて多いことや、８月以降の天候が低温や日照不足傾向であったことから、登熟にバラツキがみられるとともに、青死米等の混入も多い状況となっている。

このため、平成26年産水稲の青死米等の発生状況の実態を把握するため、10月15日現在の水稲収穫量調査に併せて、緊急に調査を実施した。

表 平成26年産の青死米等の混入割合の過去のデータとの比較

	平成26年産青死米等の混入割合 ①	（参考） 精米工業会調査による過去（平成22～24年産）の青死米等の混入割合 ②	（参考） 26年産と過去の平均との比較 ①－②
	%	%	
全国	6.4	4.3	2.1
北海道	17.3	5.2	12.1
東北	3.9	4.1	△ 0.2
北陸	8.6	2.4	6.2
関東・東山	5.5	3.9	1.6
東海	8.9	8.2	0.7
近畿	9.0	2.8	6.2
中国	4.0	4.5	△ 0.5
四国	5.3	6.5	△ 1.2
九州	2.9	4.9	△ 2.0

注：１　水稲収穫量調査は、農産物規格規程に定める三等の品位以上に相当する玄米の全量を把握することを目的として実施しており、青死米等の割合が一定程度（農産物規格規程に定める三等品位相当）までであれば水稲収穫量調査においては収量として取り扱う。

２　青死米等の混入割合には、青死米のほか、白死米、着色粒、心白・腹白粒が含まれる。

３　参考データの過去の青死米等の混入割合は、一般社団法人日本精米工業会の米質概況調査による過去データ（平成22～24年産）を基にブロック別に集計した。

なお、当該調査におけるサンプル数は390点（22年産米が147点、23年産米が124点、24年産米が119点）である。

○　「平成26年産水稲における青死米等の発生状況について」は、下記にてご覧いただけます。

ホーム ＞ 報道・広報 ＞ 報道発表資料 ＞「平成26年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）」及び「平成26年産水稲における青死米等の発生状況」について
【 http://www.maff.go.jp/j/press/tokei/seiryu/141030.html 】

【平成26年産水稲における青死米等調査の概要】

1　調査の目的

本年は、北海道から関東・東山では全もみ数が総じて多いことや、８月以降の天候が低温や日照不足傾向であったことから、登熟にバラツキがみられるとともに、青死米等の混入も多い状況となっている。

このため、本調査は、平成26年産水稲の青死米等の発生状況の実態を把握するため、緊急に実施したものである。

2　調査サンプル

調査に使用するサンプルは、道府県ごとに10月15日現在で水稲収穫量調査が終了し、地方農政局（北海道農政事務所を含む。以下同じ。）又は地域センターが保管している刈取り試料から選定したものとした。

また、サンプル数については、水稲収穫量調査のために設置している作況標本筆数の約１割の数とし、全国で1,001点である。

なお、作況標本筆の設置のない東京都及び沖縄県は除いた。

3　調査・集計方法

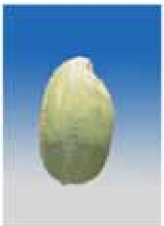
（１）使用サンプルは、地方農政局又は地域センターの作況標本筆から無作為に抽出した筆の刈取り試料について、水稲収穫量調査の算定に用いた1.70mm以上の米を20ｇ程度に縮分したものを用いた。

（２）抽出したサンプルについては、地方農政局生産部局の検査技術指導官の指導の下、各地域センターにおいて縮分サンプルから青死米等（青死米、白死米、着色粒、心白・腹白粒）を仕分け、その重量を計測した。

（３）計測結果については、地方農政局の統計部と生産部局が協力の上集計し、1.70mm以上の重量に占める青死米等の混入割合を算出した。

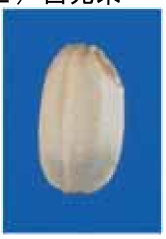
4　調査した青死米等の解説

（１）青死米



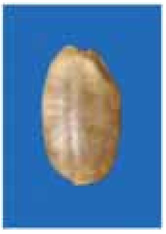
○　粒の大部分が粉状質の粒で光沢のないもののうち緑色のもの。

（２）白死米



○　粒の大部分が粉状質の粒で光沢のないもののうち白色のもの。

（３）着色粒

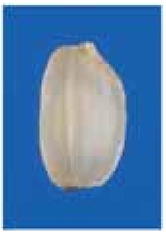


全面着色粒

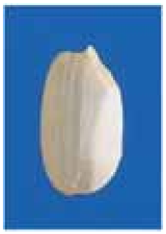
部分着色粒

○　全面着色粒は、着色の濃淡に係わらず、着色が粒表面にあるもの。
○　部分着色粒は、着色の濃淡に係わらず、着色が粒の一部にあるもの。
○　着色粒にはこの他に赤米がある。

（４）心白・腹白粒



心白粒



腹白粒

○　心白粒は、胚乳部の横断面に白色不透明な部分が平板上又は紡錘状となっているもの。
○　腹白粒は、腹部の白色不透明な部分の大きさが、その粒長の３分の２以上でかつ粒幅の３分の１以上のもの。

加工用米は、近年15～20万トン程度で推移してきましたが、26年産米の取組が平成16年産以降で最も多い状況となっています。特に、全国流通、地域流通ともに増加しており、生産者と需要者が結びついた取組が着実に進展している状況です。

（5）加工用米及び新規需要米の取組状況等

① 加工用米の生産量

（単位：トン）

	うるち米	もち米	合計		
				全国流通	地域流通
平成16年産	117,837	4,404	122,241	121,719	522
17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	233,968	34,288	268,256	111,937	156,319

資料： 農林水産省「加工用米生産量」
注：1 平成25年産までは「米穀の需給調整実施要領」の規定により報告された生産集出荷数量。平成26年産は、取組計画の認定を受けた生産予定数量（平成26年9月15日現在）。
2 全国流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が全国生産出荷団体であるものの合計値。
3 地域流通の値は、生産集出荷数量等のうち、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計値。
4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

② 新規需要米の用途別認定状況

（単位：トン、ha）

用途区分	平成20年産		平成21年産		平成22年産		平成23年産		平成24年産		平成25年産		平成26年産	
	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積	計画生産量	作付面積
米粉用米	566	108	13,041	2,401	27,796	4,957	40,311	7,324	34,521	6,437	21,071	3,965	18,161	3,401
飼料用米	8,020	1,410	23,264	4,123	81,237	14,883	183,033	33,955	183,431	34,525	115,350	21,802	178,486	33,881
ＷＣＳ用稲（稲発酵粗飼料用稲）	―	9,089	―	10,203	―	15,939	―	23,086	―	25,672	―	26,600	―	30,929
バイオエタノール用米	2,426	303	2,314	295	2,940	397	2,998	415	2,793	450	2,594	414	2,373	384
輸出用米	391	74	926	164	2,184	388	1,626	287	2,524	454	2,825	507	6,092	1,092
酒造用米	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,354	859
その他（わら専用稲、青刈り用稲等）	982	1,330	1,108	956	694	508	852	501	857	553	659	457	1,074	527
合計	12,386	12,314	40,654	18,142	114,851	37,072	228,820	65,569	224,127	68,091	142,499	53,744	210,540	71,073

資料： 農林水産省「新規需要米の取組計画認定状況」
注：1 ＷＣＳ用稲、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため計画生産量はなし。
2 平成26年産は平成26年9月15日現在の値。
3 「酒造用」は、「需要に応じた米生産の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米を指す。
4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

③ 非主食用米の取組状況（平成25年産）

（単位:トン）

	加工用米			新規需要米			政府備蓄米	合 計
		全国流通	地域流通	飼料用米	輸出用米	その他		
北海道	12,328	468	11,860	2,701	54	850	14,066	29,999
青森	9,180	4,655	4,526	8,840	30	109	20,771	38,930
岩手	3,625	3,138	486	8,177	203	516	7,790	20,310
宮城	1,877	1,393	483	7,450	9	300	7,456	17,091
秋田	52,240	4,949	47,291	3,861	583	868	25,476	83,027
山形	14,548	3,313	11,235	9,821	120	978	13,531	38,998
福島	2,016	1,721	295	2,493		81	11,563	16,153
茨城	10,104	6,188	3,916	6,427	12	548	1,479	18,570
栃木	12,576	8,599	3,977	8,906	6	4,128	11,151	36,767
群馬	4,850	180	4,670	2,128	2	862		7,842
埼玉	1,695	1,430	266	1,612	0	1,694	636	5,638
千葉	4,995	2,823	2,172	3,675	1	121	2,837	11,629
東京						0		0
神奈川				65				65
新潟	31,264	15,851	15,412	3,455	959	7,045	32,328	75,051
富山	4,793	2,594	2,199	1,498	180	659	12,827	19,957
石川	5,044	4,105	939	1,059	99	51	4,021	10,273
福井	4,290		4,290	1,062	15	38	632	6,038
山梨	239		239	14	0	57		311
長野	2,936	1,852	1,083	804	85	232	764	4,822
岐阜	983	966	17	3,559	1	137	735	5,414
静岡	771	762	9	2,251	5	11	99	3,136
愛知	2,161		2,161	2,446	1	230	1,803	6,640
三重	2,257	2,161	96	1,926	29	294	809	5,315
滋賀	4,705	3,658	1,047	1,105	135	274	1,595	7,813
京都	1,106	950	156	360		22		1,488
大阪						28		28
兵庫	3,460	2,424	1,036	482	107	133	554	4,736
奈良				94		165	19	279
和歌山				5				5
鳥取	485	198	287	1,427		12	1,320	3,244
島根	1,196	644	552	2,537	1	125	95	3,954
岡山	2,406	2,127	279	1,493	1	384	3,153	7,438
広島	434	422	12	249	2	609	1,002	2,295
山口	451	448	3	953	0	75	337	1,816
徳島	97		97	462		58	1,528	2,145
香川				127	0	58	522	707
愛媛				436	1	24	336	797
高知	124	124		973		90	76	1,263
福岡	1,834	1,832	2	3,624	22	476	452	6,408
佐賀	635	605	30	1,010		102	830	2,576
長崎	11	3	8	517	0	16	80	624
熊本	2,948	1,796	1,152	3,697	0	760	582	7,987
大分	211	107	104	3,001		137	238	3,587
宮崎	949	49	900	779		212		1,940
鹿児島	2,058		2,058	1,019		54		3,132
沖縄								
合計	207,882	82,534	125,348	108,576	2,665	23,624	183,492	526,238

資料： 農林水産省「加工用米生産量」、「新規需要米生産量」、「政府備蓄米の買入数量」
注：１ 非主食用米で生産された数量等の公表内容をとりまとめたもの。
　　２ ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

２６年産米の９月３０日現在の検査数量は、水稲うるち玄米で179万トンとなっており、１等米比率は79.2%となっています。

（６）　水稲うるち玄米の検査結果

検査数量及び等級比率(年産別)

（単位:トン、%）

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		１等	２等	３等	規格外	１等	２等	３等	規格外
17	5,047,547	3,788,571	1,000,515	168,455	90,006	75.1	19.8	3.3	1.8
18	4,776,481	3,746,166	822,163	112,475	95,677	78.4	17.2	2.4	2.0
19	4,805,870	3,826,432	795,452	95,082	88,903	79.6	16.6	2.0	1.8
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,043,188	3,955,677	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25 ※1	4,792,717	3,785,299	848,018	88,504	70,896	79.0	17.7	1.8	1.5
26 ※2	1,789,140	1,416,685	332,669	27,072	12,714	79.2	18.6	1.5	0.7

資料：　農林水産省とりまとめ

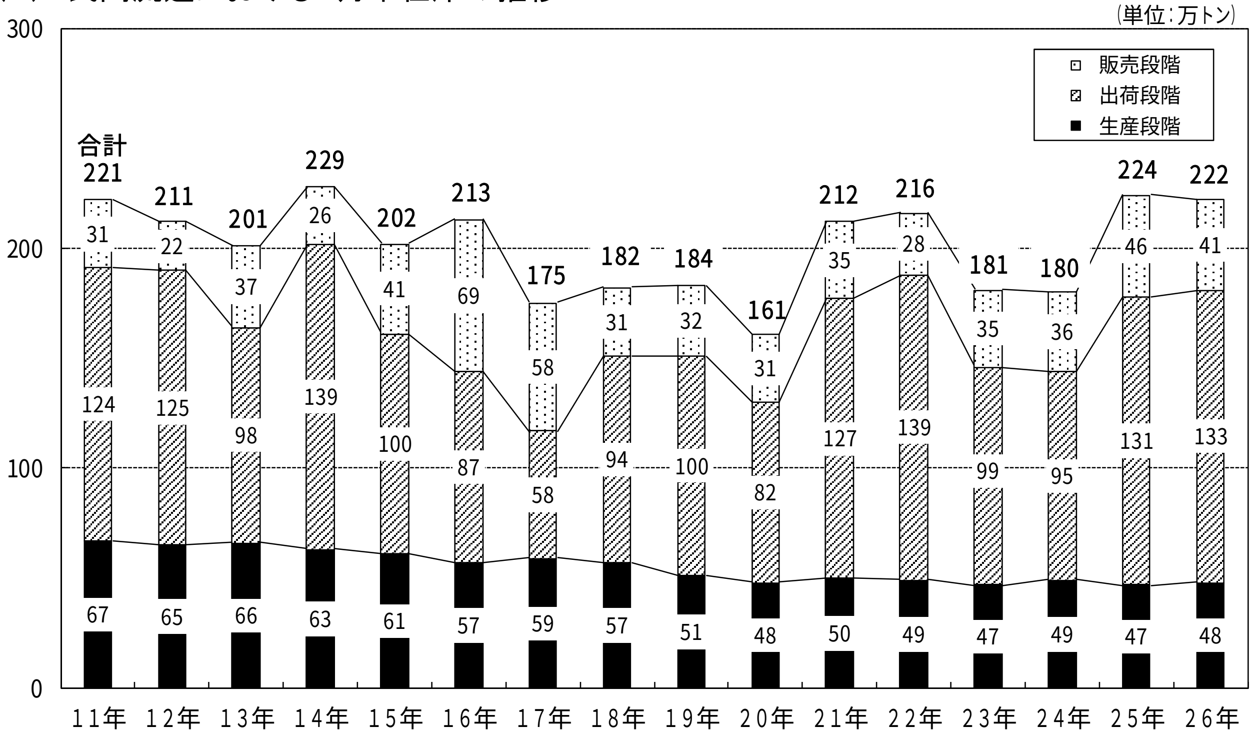
注：１　等級比率は、１等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、１等に格付けされた割合である。

　　２　※1の25年産については、平成26年3月31日現在（速報値）。

　　３　※2の26年産については、平成26年9月30日現在（速報値）。

Ⅴ　主食用米等の需給見通し（平成26年7月の米の基本指針（平成26年7月31日））

（1）民間流通における6月末在庫の推移

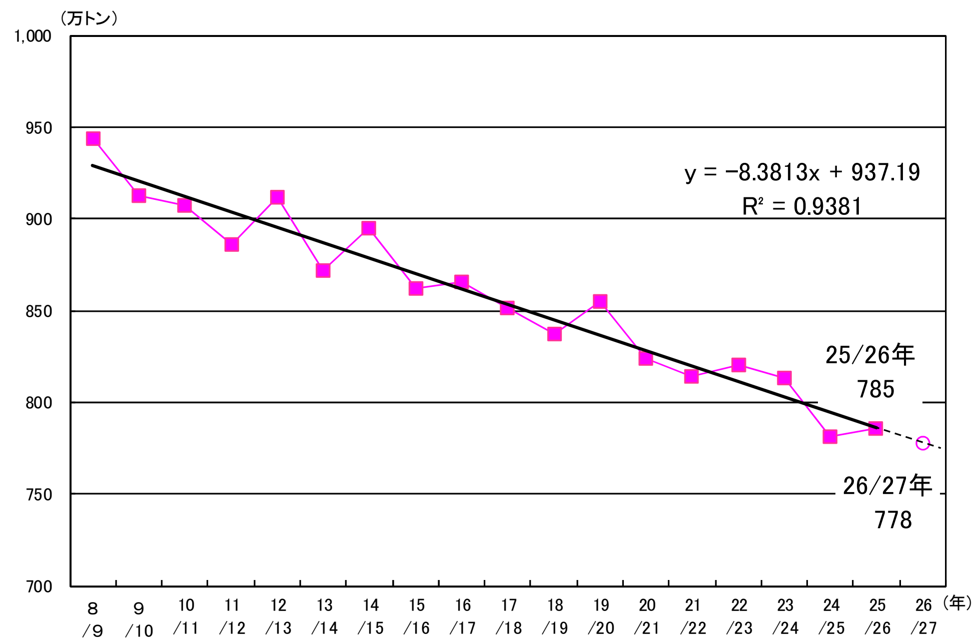


注：1　うるち玄米及びもち玄米の値である。
　　2　各年の民間在庫量において、
　　　①　平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。
　　　②　平成15年については、販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量、出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
　　　③　平成14年以前については推計値であり、販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量、出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。
　　　なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」（平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」）を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量である。
　　3　平成26年の出荷段階の在庫には、米穀機構の買入予定数量35万トンは含まれていない。
　　4　ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

（2）主食用米等の需要実績の推移

(単位：万トン)

年	x	需要量(y)	
8/9	1	943.8	
9/10	2	912.9	
10/11	3	907.3	
11/12	4	885.9	
12/13	5	911.5	
13/14	6	872.1	
14/15	7	894.7	
15/16	8	861.6	
16/17	9	865.4	
17/18	10	851.7	
18/19	11	837.5	
19/20	12	854.5	
20/21	13	823.6	
21/22	14	814.1	
22/23	15	820.0	
23/24	16	813.3	
24/25	17	781.1	
25/26	18	785.3	（速報値）
26/27	19	777.9	（推計値）



平成２６年産水稲の予想収穫量・青死米等の発生状況を踏まえた需給見通しは、P.51をご覧ください。

（3） 平成26年7月から平成27年6月の主食用米等の需給見通し

表　平成26/27年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

		主食用米等	
平成26年６月末民間在庫量	A	222 （35）	（注1）
平成26年産米生産数量目標	B	765	（注2）
平成26/27年主食用米等供給量計	C＝A＋B	987	
平成26/27年主食用米等需要量	D	778	
平成27年６月末民間在庫量	E＝C－D	209	

注：１　平成26年6月末民間在庫量の（　）書きは、米穀機構の買入予定数量であり外数。
　　２　平成26年産米の生産数量目標であり、実際の生産量は作柄等により上下する。
　　３「平成26/27年」とは、平成26年7月から平成27年6月までの１年間を表す。

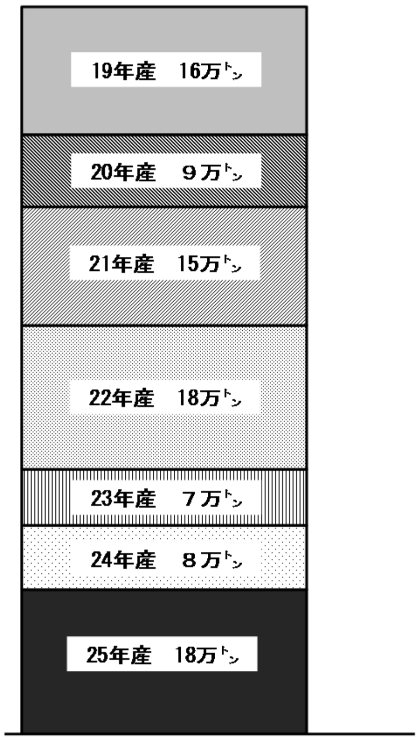
（４）　政府備蓄米の在庫状況

表　平成26/27年の備蓄運営

（単位：万トン）

平成26年6月末備蓄量	A	91
平成26年産米買入契約数量	B	25
平成26/27年非主食用販売量	C	17～25
平成27年6月末備蓄量	D=A+B-C	91～99

在庫量：91万トン



平成26年6月末

資料：農林水産省調べ
注：　うるち玄米の数量である。

【参　考】
米穀の需給に関する詳細は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」に掲載しています。
農林水産省ホーム ＞ 組織・政策 ＞ 審議会 ＞ 食料・農業・農村政策審議会 ＞ 食糧部会 ＞
食料・農業・農村政策審議会食糧部会 資料（26年７月31日開催）
（http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/140731/index.html）

Ⅵ　備蓄米及びMA米の動向

（１）国内産備蓄米の落札結果（平成23～26年産）

（単位:トン）

買入対象米穀の産地	23年産	24年産	25年産	26年産
北海道	7,000	5,768	14,058	14,080
青　森		2,388	20,028	20,450
岩　手	5,683	5,149	7,600	8,000
宮　城	0	3,952	7,428	11,000
秋　田	11,274	9,595	25,411	25,500
山　形	3,900	7,690	12,500	13,530
福　島		52	11,074	20,000
茨　城		90	1,478	1,480
栃　木		1,848	11,163	11,170
群　馬				
埼　玉			600	640
千　葉		99	2,650	2,830
東　京	0			
神奈川				
新　潟		9,614	30,948	32,400
富　山	6,200	7,920	12,831	12,840
石　川		810	4,000	4,020
福　井		1,300	632	640
山　梨				
長　野		93	758	770
岐　阜			735	740
静　岡			62	100
愛　知			1,803	1,380
三　重		699	807	810
滋　賀	0		1,572	1,600
京　都				
大　阪				
兵　庫			554	435
奈　良			30	0
和歌山				
鳥　取			1,320	1,320
島　根			95	100
岡　山		150	2,974	3,170
広　島	1,017	603	1,002	1,010
山　口	3,003	785	336	340
徳　島			1,443	1,520
香　川	585	0	500	530
愛　媛	422	345	336	340
高　知			76	68
福　岡	120	120	454	386
佐　賀	188	190	830	830
長　崎			80	20
熊　本	0	0	583	590
大　分	0		240	240
宮　崎	0			
鹿児島	0			
沖　縄				
都道府県別枠計	39,392	59,260	178,991	194,879
指定なし	28,246	24,130	4,101	55,121
合　計	67,638	83,390	183,092	250,000

注：平成23年産県別優先枠のうち、宮城の5,900トンについては、震災により契約解除となっている。

（２）　ＭＡ米（一般・ＳＢＳ）の動向

①　ＭＡ米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：万玄米トン）

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
米国	19	23	29	32	34	36	36	36	36
タイ	11	14	15	15	16	17	15	15	15
中国	3	4	5	8	9	10	14	11	11
オーストラリア	9	9	9	11	11	12	11	10	9
その他	1	1	2	2	2	2	1	5	5
合計	43	51	60	68	72	77	77	77	76
（うち一般輸入）	42	49	54	55	59	63	66	71	65
（うちSBS輸入）※	1	2	6	12	12	12	10	5	10

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
米国	36	36	36	36	43	36	36	36	36
タイ	19	19	18	25	27	33	35	24	28
中国	10	9	8	8	7	7	2	6	5
オーストラリア	2	2	5	－	－	－	4	7	6
その他	10	11	10	1	0	1	0	4	1
合計	77	77	77	70	77	77	77	77	77
（うち一般輸入）	66	66	66	59	66	66	72	66	66
（うちSBS輸入）※	9	10	10	10	10	10	4	10	10

	平成25年度	平成26年度 （10月末現在）
米国	36	8
タイ	35	11
中国	0	4
オーストラリア	4	－
その他	1	0
合計	77	23
（うち一般輸入）	70	23
（うちSBS輸入）※	6	0

資料：　農林水産省「米をめぐる関係資料」
　　　　※ＳＢＳ輸入数量の単位は万実トン。
注：１　各年度の輸入契約数量の推移。
　　２　ラウンドの関係で合計が一致しないことがある。
　　３　実トンと玄米トンのため合計は一致しないことがある。
（参考）ＭＡ米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

② 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(平成26年度)

（単位：トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
平成26年4～6月分	23,050	平成26年4～7月分	2,839
4月分	521		
5月分	743		
6月分	662		
7～9月分	18,897		
7月分	476		
8月分	853		
9月分	1,160		
小　計	46,362	小　計	2,839
合計	49,201		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

③ SBS輸入米の見積合わせ結果(平成26年度)

（単位:トン）

		アメリカ		タイ		中国		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回（平成26年9月19日）	一般米	0	0	36	0	0	0	0	0	36
	砕精米	0	0	100	144	0	0	0	0	244
第2回（平成26年10月29日）	一般米	204	606	1,160	0	0	0	243	0	2,213
	砕精米	0	108	100	108	300	0	0	0	616
合計	一般米	204	606	1,196	0	0	0	243	0	2,249
	砕精米	0	108	200	252	300	0	0	0	860
平成22年度計（参考）	一般米	2,904	2,228	1,880	120	2,936	0	538	0	10,606
	砕精米	16,438	640	9,010	0	532	0	0	0	26,620
平成23年度計（参考）	一般米	7,490	5,324	2,038	80	50,463	0	17,155	0	82,550
	砕精米	10,124	990	2,320	3,384	632	0	0	0	17,450
平成24年度計（参考）	一般米	34,076	2,290	1,536	72	27,640	0	24,386	0	90,000
	砕精米	4,032	576	2,898	364	524	0	1,606	0	10,000
平成25年度計（参考）	一般米	14,686	4,396	3,346	144	174	0	17,993	0	40,739
	砕精米	576	388	7,375	308	540	0	10,913	0	20,100

資料:農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成22～26年度

（参考１）最近の米をめぐる状況（資料「米をめぐる状況について」（平成26年11月）抜粋）

26年産の作柄概況（10月15日現在）と需給

○ 26年産主食用米については、
①ふるい下米の増加分が3万㌧程度、
②青死米等の発生増加分が17万㌧程度あり、この分、流通量が予想収穫量（主食用）よりも減少する可能性があると考えられる。

○ これらについては、一部、両者の重なり部分があると考えられることから、予想収穫量（主食用）から例年以上に減少する可能性があるのは▲17万㌧～▲20万㌧（▲3万㌧+▲17万㌧）と考えられる。なお、これは、作況指数では2～3ポイントに相当。

26年産米の状況（イメージ）

平成26年産米における青死米等の発生の増加見込みは2.1%。

したがって1.7mmふるい上の青死米等の発生増加分は、

789万㌧×2．1%＝17万㌧

と見込まれる。

平成26/27年の主食用米等の需給見通し　（平成26年10月15日現在）

○ 26年産米の予想収穫量（主食用）については、10月15日現在の作柄概況では前年よりも▲30万㌧減少し、789万㌧となっている。
○ しかしながら、日照不足等の天候不順の影響から、登熟不良等により、例年よりも、ふるい下米の発生量や、青死米等が増加している状況にあり、増加量に相当する▲17万㌧～▲20万㌧分、流通量が予想収穫量（主食用）よりも減少する可能性があると考えられる。（作況指数２～３ポイントに相当）。
○ また、需要量についても、過去のトレンドに基づき前年と比べ▲７万トンの減少を見込んでいるが、９月の相対取引価格が前年よりも低下する中で、今後、需要の回復の有無などその動向を注視する必要。

〔最近において、前年よりも米価が大幅に低下した年産においては、いずれも需要が前年を上回っている。（19年産：＋17万㌧、22年産：＋６万㌧、25年産：＋４万㌧）〕

○平成25年7月～平成26年6月（実績）

		主食用米等
平成25年6月末民間在庫量	A	224
平成25年産生産量	B	818
平成25/26年主食用米等供給量計	C=A+B	1,042
平成25/26年主食用米等需要量	D	785
平成26年6月末民間在庫量	E=C-D	(※) 257

※ 257万トンのうち35万トンについては、米穀機構が既に買い入れ非主食用に販売することを決定。

▲2万トン
▲30万トン
▲7万トン
▲24万トン

○平成26年7月～平成27年6月（見通し）（10月15日作柄概況等を反映）

単位：万トン

		主食用米等
平成26年6月末民間在庫量	A	222
平成26年産主食用米等生産量	B	789
平成26/27年主食用米等供給量計	C=A+B	1,011
平成26/27年主食用米等需要量	D	778
平成27年6月末民間在庫量	E=C-D	233

▲17～▲20

流通量が予想収穫量（主食用）から例年以上に減少する可能性

▲17～▲20

○最近において米の相対取引価格が前年よりも1,000円以上低下した場合の需要実績

	19年産(19/20年)	22年産(22/23年)	25年産(25/26年)
相対取引価格の前年差(60kg当たり)	▲ 1,039円	▲ 1,759円	▲ 2,106円
需要実績の前年差	＋ 17万トン	＋ 6万トン	＋ 4万トン

26年産の概算金・相対取引基準価格・相対取引価格の動向について

（概算金単位：円/60kg、１等）　（相対取引基準価格単位：円/60kg、１等、包装代・税込）（相対取引価格単位：円/60kg、１等、包装代・税込）

産地銘柄		概算金			相対取引基準価格			相対取引価格（９月の価格）			相対基準価格と概算金の差についての26年産と25年産の比較	概算金（26年産）と相対取引価格（26年産）の差
		25年産 ①	26年産 ②	対前年差 ③=②-①	25年産 ④	26年産 ⑤	対前年差 ⑥=⑤-④	25年産 ⑦	26年産 ⑧	対前年差 ⑨=⑧-⑦	⑩=⑥-③	⑪=⑧-②
北海道	ななつぼし	12,000	10,000	▲ 2,000	14,757	13,180	▲ 1,577	15,527	13,422	▲ 2,105	+ 423	+ 3,422
青森	つがるロマン	10,800	7,600	▲ 3,200	14,547	11,830	▲ 2,717	13,250	11,898	▲ 1,352	+ 483	+ 4,298
岩手	ひとめぼれ　Ａ地区	11,200	8,400	▲ 2,800	14,967	13,018	▲ 1,949	14,360	12,271	▲ 2,089	+ 851	+ 3,871
宮城	ひとめぼれ	11,200	8,400	▲ 2,800	15,387	13,342	▲ 2,045	14,717	12,072	▲ 2,645	+ 755	+ 3,672
秋田	あきたこまち	11,500	8,500	▲ 3,000	15,597	13,342	▲ 2,255	14,481	12,216	▲ 2,265	+ 745	+ 3,716
山形	はえぬき	11,000	8,500	▲ 2,500	15,177	13,126	▲ 2,051	13,968	12,176	▲ 1,792	+ 449	+ 3,676
福島	コシヒカリ　会津	12,100	10,000	▲ 2,100	16,227	14,530	▲ 1,697	－	13,882	－	+ 403	+ 3,882
	コシヒカリ　中通り	11,100	7,200	▲ 3,900	15,702	12,586	▲ 3,116	－	－	－	+ 784	－
茨城	コシヒカリ	11,500	9,000	▲ 2,500	16,437	13,666	▲ 2,771	14,555	11,344	▲ 3,211	▲ 271	+ 2,344
栃木	コシヒカリ	11,800	8,000	▲ 3,800	16,437	13,666	▲ 2,771	14,660	11,477	▲ 3,183	+ 1,029	+ 3,477
埼玉	コシヒカリ　Ａ地区	12,100	8,000	▲ 4,100	15,597	13,126	▲ 2,471	15,395	12,168	▲ 3,227	+ 1,629	+ 4,168
千葉	コシヒカリ	11,700	9,000	▲ 2,700	16,437	13,666	▲ 2,771	14,019	11,225	▲ 2,794	▲ 71	+ 2,225
神奈川	キヌヒカリ	11,300	10,200	▲ 1,100	14,232	13,126	▲ 1,106	－	－	－	▲ 6	－
新潟	コシヒカリ　一般	13,700	12,000	▲ 1,700	17,277	16,366	▲ 911	16,646	15,523	▲ 1,123	+ 789	+ 3,523
	こしいぶき	11,700	9,000	▲ 2,700	14,862	12,586	▲ 2,276	14,199	11,698	▲ 2,501	+ 424	+ 2,698
富山	コシヒカリ	12,300	10,500	▲ 1,800	15,912	14,530	▲ 1,382	15,368	13,409	▲ 1,959	+ 418	+ 2,909
石川	コシヒカリ	12,000	10,000	▲ 2,000	15,912	14,206	▲ 1,706	15,278	13,702	▲ 1,576	+ 294	+ 3,702
岐阜	コシヒカリ　特Ａ	12,200	9,700	▲ 2,500	16,380	13,932	▲ 2,448	15,326	12,096	▲ 3,230	+ 52	+ 2,396
福井	コシヒカリ	12,000	10,000	▲ 2,000	16,437	14,206	▲ 2,231	15,609	13,218	▲ 2,391	▲ 231	+ 3,218
三重	コシヒカリ　一般	11,700	9,000	▲ 2,700	16,437	13,666	▲ 2,771	15,054	12,746	▲ 2,308	▲ 71	+ 3,746
静岡	コシヒカリ	12,060	9,300	▲ 2,760	16,542	13,450	▲ 3,092	15,795	13,309	▲ 2,486	▲ 332	+ 4,009
愛知	コシヒカリ	12,400	9,100	▲ 3,300	15,923	13,462	▲ 2,461	14,936	12,189	▲ 2,747	+ 839	+ 3,089
滋賀	コシヒカリ	12,300	9,200	▲ 3,100	15,912	13,666	▲ 2,246	15,236	12,439	▲ 2,797	+ 854	+ 3,239
鳥取	コシヒカリ	12,000	9,200	▲ 2,800	15,912	13,666	▲ 2,246	15,301	12,802	▲ 2,499	+ 554	+ 3,602
島根	コシヒカリ	12,200	9,000	▲ 3,200	16,437	13,666	▲ 2,771	15,814	12,216	▲ 3,598	+ 429	+ 3,216
岡山	ヒノヒカリ	10,822	8,300	▲ 2,522	14,967	12,154	▲ 2,813	－	－	－	▲ 291	－
広島	コシヒカリ	12,000	9,400	▲ 2,600	15,540	13,176	▲ 2,364	14,964	12,546	▲ 2,418	+ 236	+ 3,146
山口	コシヒカリ	12,240	9,000	▲ 3,240	16,437	13,666	▲ 2,771	15,053	12,994	▲ 2,059	+ 469	+ 3,994
福岡	夢つくし	12,600	10,620	▲ 1,980	16,962	15,286	▲ 1,676	16,832	14,970	▲ 1,862	+ 304	+ 4,350
佐賀	夢しずく	10,000	8,000	▲ 2,000	15,492	13,342	▲ 2,150	14,897	12,821	▲ 2,076	▲ 150	+ 4,821
長崎	コシヒカリ	12,300	10,400	▲ 1,900	16,962	14,206	▲ 2,756	15,804	14,296	▲ 1,508	▲ 856	+ 3,896
熊本	コシヒカリ	12,240	10,740	▲ 1,500	16,962	14,530	▲ 2,432	14,702	12,946	▲ 1,756	▲ 932	+ 2,206

注1：相対取引価格は、各年9月分の価格である。
　2：消費税率は、26年産については8%、25年産については5%を適用している。
　3：農林水産省が調査・公表している相対取引価格の調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者が対象（年間の販売数量5,000トン以上等）。

資料「米をめぐる状況について」（平成26年11月）の全体版は、

農林水産省ホームページに掲載しています。

［　ホーム＞組織・政策＞生産＞米と麦＞米をめぐる参考資料　］

（参考２）ナラシ対策の情報

26年産米のナラシ対策の
「標準的収入額の相対取引価格換算値」(60kg当たり)
を公表しています！

ホーム＞注目情報＞平成26年産米の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）について

【26年産米のナラシ対策について】

【都道府県ごとの一覧表】

平成26年産米の標準的収入額の相対取引価格換算値

都道府県・地域等区分	平成26年産米の標準的収入額（10a当たり。包装代、消費税は含まない。）①	平成26年産米の平年収量 ②	（参考値）標準的収入額の60kg当たり換算値（60kg当たり。包装代、消費税は含まない。）③ ①÷②×60	（参考値）標準的収入額の相対取引価格換算値（60kg当たり。包装代（154円）、消費税（8%）を含む。）④ （③＋154）×1.08
	(円/10a)	(kg/10a)	(円/60kg)	(円/60kg)
北海道	別紙1を参照			
青森県	別紙2を参照			
青森地域	122,804	570	12,927	14,127
津軽地域	131,038	609	12,910	14,109
南部・下北地域	116,595	540	12,955	14,158
岩手県	121,249	533	13,649	14,907
宮城県	123,419	530	13,972	15,256
秋田県	130,754	573	13,692	14,954
山形県	134,487	594	13,585	14,838
福島県	123,219	537	13,767	15,035
茨城県	120,602	522	13,862	15,137
栃木県	124,199	540	13,800	15,070
≈				≈
宮崎県	別紙13を参照			
広域沿海・早期栽培	116,769	480	14,596	15,930
広域沿海・普通期栽培	114,728	473	14,553	15,884
広域霧島・普通期栽培	128,205	531	14,486	15,811
西北山間・普通期栽培	116,430	490	14,257	15,564
鹿児島県	別紙14を参照			
早期栽培	104,285	443	14,124	15,420
普通期栽培	115,917	495	14,051	15,341
沖縄県	65,598	309	12,737	13,922

【各道府県ごとのイメージ図】